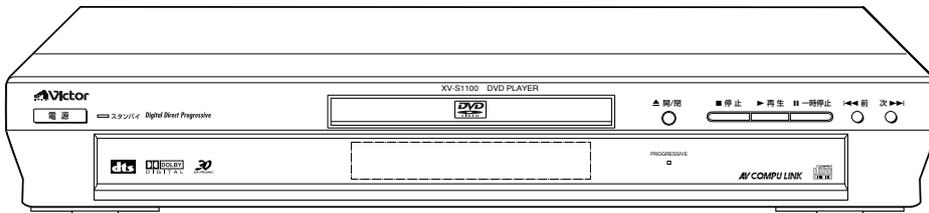
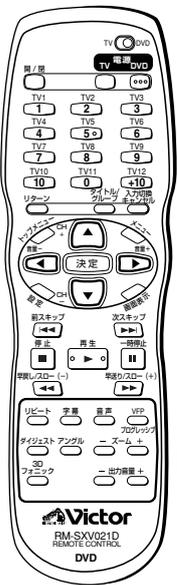


DVDプレーヤー

型名 XV-S1100



Digital Direct Progressive AVCOMPULINK

お使いになる前に **3**

接続と準備 **10**

すぐ試してみる **18**

いろいろな再生のしかた **25**

MP3 ディスクの再生 **42**

JPEG ディスクの再生 **45**

初期設定を変更する **50**

ご参考に **60**

お買い上げありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に**3**～**5**ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

お使いになる前に

ページ

- 安全上のご注意 3~5
- 使用上のご注意 6
- 付属品 6
- ディスクの予備知識 7
 - ・再生できるディスク 7
 - ・再生できないディスク 7
 - ・リージョン番号(ローカル番号)について 7
 - ・テレビ方式について 7
- ディスクについて 8~9
 - ・ディスクの構成 8
 - ・ビデオCDのプレイバックコントロール(PBC)機能 8
 - ・オーディオフォーマット 9
 - ・ディスクの使用上のご注意・お手入れ 9

接続と準備

ページ

- テレビと接続する 10~12
 - ・テレビと接続する 10~11
 - ・スキャンモードの切り換えについて 11
 - ・リモコンでスキャンモードを切り換える 12
- 他の機器と接続する 13
 - ・ステレオアンプやレシーバーと接続する 13
 - ・デジタル入力端子付きの機器と接続する 13
- 電源コードを接続する 14
- リモコンの準備 15~16
 - ・リモコンに電池を入れる 15
 - ・リモコンの操作 15
 - ・リモコンでテレビを操作できるように設定する 16
 - ・リモコンでテレビを操作する 16
- 本機の再生条件を設定する[簡単セットアップ] 17

すぐ使ってみる

ページ

- 基本操作 18~19
 - ・再生する 19
 - ・停止する 19
 - ・一時停止する 19
- いろいろな速さで再生する 20
 - ・早送り / 早戻し再生をする 20
 - ・画像を1コマずつ送る 20
 - ・スローモーション再生する[スロー] 20
- 見たい場面や聴きたい曲を素早く選ぶ 21
 - ・▶▶または◀◀ボタンを使って頭出しをする 21
 - ・数字ボタンを使って頭出しをする 21
- あとで続きを再生する[リジューム] 22~23
 - ・リジュームの種類について 22
 - ・リジュームモードを選ぶ 23
 - ・通常のリジューム再生をする 23
 - ・ディスクリジューム再生をする 23
- 便利な機能 24
 - ・ちょっと見バック 24
 - ・表示窓の明るさを変える 24
 - ・時間表示や再生についての情報を見る 24
 - ・アナログ音声の音量を調節する 24

いろいろな再生のしかた

ページ

- 再生するところを選ぶ 25~29
 - ・DVDビデオのメニューから選ぶ 25
 - ・ビデオCDのメニューから選ぶ 26
 - ・数字ボタンでDVDビデオのタイトルを選ぶ 27
 - ・指定した時間から再生する[タイムサーチ] 28
 - ・ダイジェスト画面から選ぶ[ダイジェスト] 29

- 順番を変えて再生する 30~31
 - ・順番を決めて再生する[プログラム再生] 30~31
 - ・無作為な順番で再生する[ランダム再生] 31
- くり返し再生する 32~33
 - ・タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返す[リピート] 32
 - ・指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート] 33
- 字幕/音声やカメラアングルを切り換える 34~35
 - ・字幕を切り換える[字幕言語] 34
 - ・音声を選ぶ[音声言語/音声] 34
 - ・カメラアングルを切り換える[アングル] 35
- 画像や音声にアレンジを加える 36~38
 - ・連続写真のように表示する[ストロボ] 36
 - ・画面を拡大/縮小する[ズーム] 36
 - ・画質を調節する[VFP] 37
 - ・サラウンド感を出す[3Dフォニック] 38
- メニューバーで操作する 39~41
 - ・メニューバーの表示と基本操作 39
 - ・DVDビデオのメニューバーでの操作 40
 - ・オーディオCD/ビデオCDのメニューバーでの操作 41

MP3ディスクの再生

ページ

- MP3 ディスクの操作 42~44
 - ・MP3ディスクについて 42
 - ・基本操作 42
 - ・再生するグループやトラックを指定する 43
 - ・グループを直接選ぶ 44
 - ・リピート再生 44

JPEGディスクの再生

ページ

- JPEGディスクの操作 45~49
 - ・JPEGディスクについて 45
 - ・ファイルを再生する 46
 - ・ファイルを続けて再生する[スライドショー再生] 47~49
 - ・画面を拡大/縮小する[ズーム] 49

初期設定を変更する

ページ

- 初期設定を変更する 50~55
 - ・初期設定画面について 50
 - ・基本操作 50
 - ・言語設定画面 51
 - ・映像設定画面 52~53
 - ・音声設定画面 54
 - ・その他設定画面 55
- 視聴制限を設定する 56~59
 - ・はじめに設定する 56
 - ・設定を変更する 57~58
 - ・パレンタルロックを一時解除する 58
 - ・カントリーコード一覧 59

ご参考に

ページ

- 各部の名称 60~61
 - ・本体前面 60
 - ・表示窓 60
 - ・本体背面 60
 - ・リモコン (RM-SXV021D) 61
- AVコンピュリンクの活用 62
 - ・接続と設定をする 62
- Q & A(よくあるご質問) 63
- 故障かな?と思う前に 64~65
- 保証とアフターサービス 66
- ビクターサービス窓口案内 67
- 用語集 68~69
- 用語索引 70
- 主な仕様 71

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

前に
お
使
い
に
な
る

警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

● 絵表示の説明

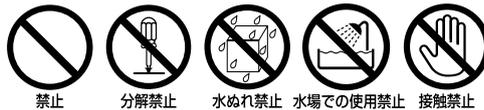
注意をうながす記号



一般的注意

感電

行為を禁止する記号



禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号



一般的指示

電源プラグを抜く

警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグを抜く



本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



電源コードを傷つけない。

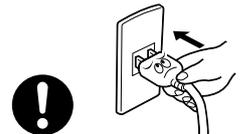
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

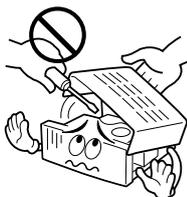


分解や改造をしない。 カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止



風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。



水場での使用禁止



電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

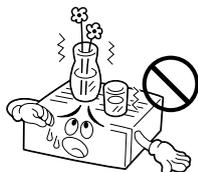


安全上のご注意 (つづき) —はじめにお読みください—

⚠ 警告

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。



交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。



接触禁止



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。



⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。



置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。



電源プラグを抜く



⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

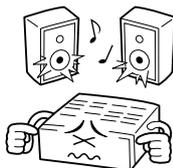
内部にほこりがたまったらそのまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。



はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。



電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく



もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機の置き場所について

- 本機は5℃から35℃までの温度で使用できるように設計されています。これを超える温度の環境で使用すると、誤作動したり、故障の原因となります。特に、次のような環境は避けてください。
 - ・ 湿気やほこりの多い所
 - ・ 極端に寒い所
 - ・ 直射日光が当たる所や暖房器のそば
 - ・ 磁気を発生する所
 - ・ 振動の激しい所
 - ・ OA機器やけい光灯のすぐそば
 - ・ 寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

露がいたら

次のような場合、本機のレンズに露(水滴)が付いてディスクが正しく再生できない場合があります。

- ・ 暖房を始めた直後
- ・ 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- ・ 冷えた所から急に暖かい部屋へ移動したとき

電源を入れたまま、1～2時間待ってからお使いください。

本体の掃除

- パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとから**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

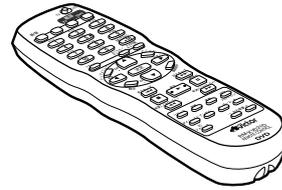
商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ社。不許複製。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。、DTSおよびDTS Digital Surroundは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。著作権1996年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバーシエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。

付属品

本機には、次の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。

リモコン：RM-SXV021D(1個)

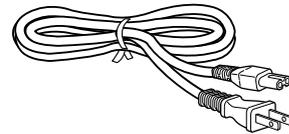


オーディオ/ビデオコード(1本)

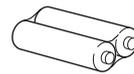


[白赤黄]

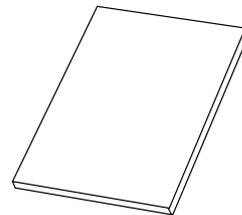
電源コード(1本)



単3形乾電池(2本)…リモコン動作確認用



取扱説明書(1冊)



ディスクの予備知識

再生できるディスク

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ 	音声 + 映像	12 センチ
		8 センチ
ビデオ CD 	音声 + 映像	12 センチ 8 センチ
オーディオ CD 	音声	12 センチ 8 センチ

- DVDビデオのフォーマットで記録されたDVD-Rディスク、または音楽用のCDフォーマットあるいはMP3フォーマット、JPEGフォーマットで記録したCD-R、CD-RWディスクも再生できます。ただし記録状態やディスクの特性により再生できない場合や読み取りに時間がかかることもあります。またファイナライズ処理をしていないディスクは再生できません。
- 上記のディスクでも、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は再生できません。
- 2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換えるとき、映像か音声が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。

再生できないディスク

- DVD-ROM • DVD-RAM • DVD-RW • DVD オーディオ • CD-ROM
- フォトCD • SACD • MIX-MODE CD

- これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。
- CD-G、CD-EXTRA、CD TEXT、およびMIX-MODE CDの場合、音声のみ再生できます。

リージョン番号(ローカル番号)について

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号がついています。この番号がDVDビデオプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」ですので、DVDビデオのディスク上に「ALL」または「2」という番号が表示されているディスクに限り再生することができます。

・本機で再生できるDVDビデオの表示例



テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のTV方式(PAL等)用のDVD/ビデオCDは、NTSC方式に変換して再生します。

〈お知らせ〉

- DVDビデオ、およびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- NTSC以外のTV方式で収録されたDVDビデオやビデオCDを再生する場合、本機のスキャンモードをプログレッシブスキャンに設定しても、プログレッシブ再生機能が動きません。📖 **11**~**12** ページ

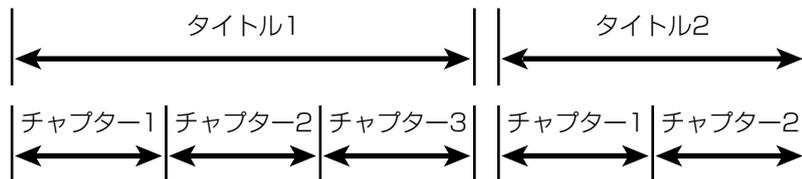
ディスクについて

ディスクの構成

DVDビデオ

一般的にDVDビデオは、タイトルと呼ばれる大きな単位で構成されています。それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付いていて、希望のタイトルが選べるようになっています。またタイトルはさらにチャプター(章)という小さな単位で構成されています。それぞれのチャプターには番号(チャプター番号)が付いていて、希望のチャプターが選べるようになっています。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

• DVDビデオの構成の例



オーディオCD/ビデオCD

一般的にオーディオCDやビデオCDは、トラックという呼び名で1曲ごとに区切られ、番号(トラック番号)が付けられています。たとえば2曲目を指す場合には、「トラック2」となります。ビデオCDのカラオケなども同様です。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

• オーディオCDの例



ビデオCDのプレイバックコントロール(PBC)機能

ビデオCDのプレイバックコントロール機能(以下PBC)には、「高精細静止画機能」と「メニュー再生機能」があります。

高精細静止画機能

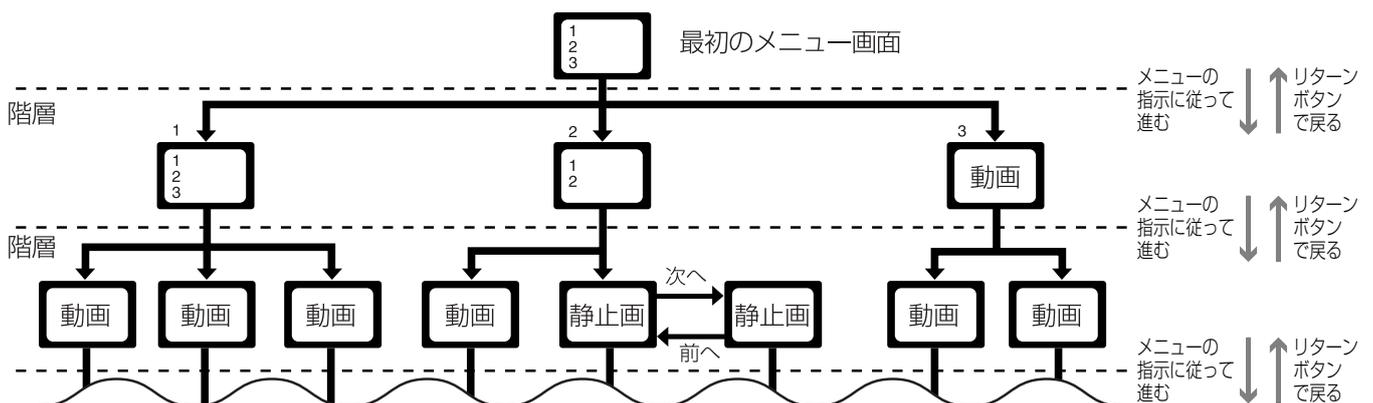
ディスクの中に高精細な静止画が収録されている場合、動画の4倍以上の解像度で静止画像を再生します。

メニュー再生機能

ディスクの内容をいくつかの階層に分けて収録し、画面の指示にしたがって階層を進みながら再生していきます。PBC対応のディスクを再生すると、通常の場合は最初にメニュー画面を表示します。画面に表示された項目や番号を選んで次の画面に進んでいきます。

PBC対応のディスクでも、PBCを機能させずに収録されているトラックを連続して再生することもできます。

メニュー再生機能の基本的な操作の流れを下図に示します。



オーディオフォーマット

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声の信号には、次の3種類のフォーマットがあります。

ドルビーデジタル

サラウンド方式の一つで、音質を損なうことなく音声データを圧縮し、最大フロント3ch、リア2ch およびサブウーハー0.1chの5.1chまで対応しています。ただし、全てのドルビーデジタルディスクが6(5.1)chで収録されているとは限りません。

DTS (Digital Theater System)

サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じく最大で5.1chです。音声データの圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのある再生が可能です。ただし、全てのDTS対応のディスクが6(5.1)chで収録されているとは限りません。

リニアPCM

アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全く行いません。

上記のいずれかのフォーマットで記録されているディスクを再生すると、本体の表示窓に以下の表示が点灯します。

表示	オーディオフォーマット
LPCM	リニアPCM
DOLBY DIGITAL	ドルビーデジタル
DTS	DTS (Digital Theater System)

〈お知らせ〉

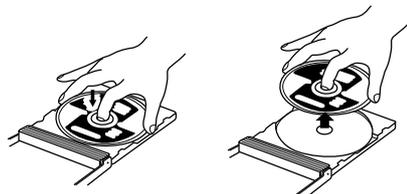
- フォーマット、および本機と接続するデジタル音声機器に応じて、初期設定の「音声設定画面」で[デジタルOUT]の設定を変更する必要があります。
📖 **54** ページ

ディスクの使用上のご注意・お手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のようなことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押し、そのままディスクを持ち上げてください。



- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面(文字の書かれていない面)を汚したり、ラベル面(文字の書かれている面)に紙やセロハンテープなどを貼らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

ご注意

- 壊れたディスクや特殊形状のディスクは入れないでください。ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は本機に入れしないでください。故障の原因となることがあります。

ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器のそばや車の中など

ディスクのクリーニング

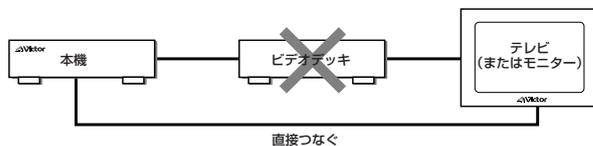
- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。
- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。



テレビと接続する

接続にあたってのご注意

- すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 各プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音や音が出ないなどの原因となります。
- 接続コード(ピンコード)の黄色いプラグはVIDEO端子へ、白いプラグは音声のLEFT(左)端子へ、赤いプラグはRIGHT(右)端子につなぎます。
- 本機の映像出力は、テレビ(またはモニター)と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、本機のコピープロテクションシステムにより、再生中に画像が乱れることがあります。



- ビデオデッキ内蔵のテレビ(テレビデオ)につないだ場合も、再生中に画像が乱れる場合があります。

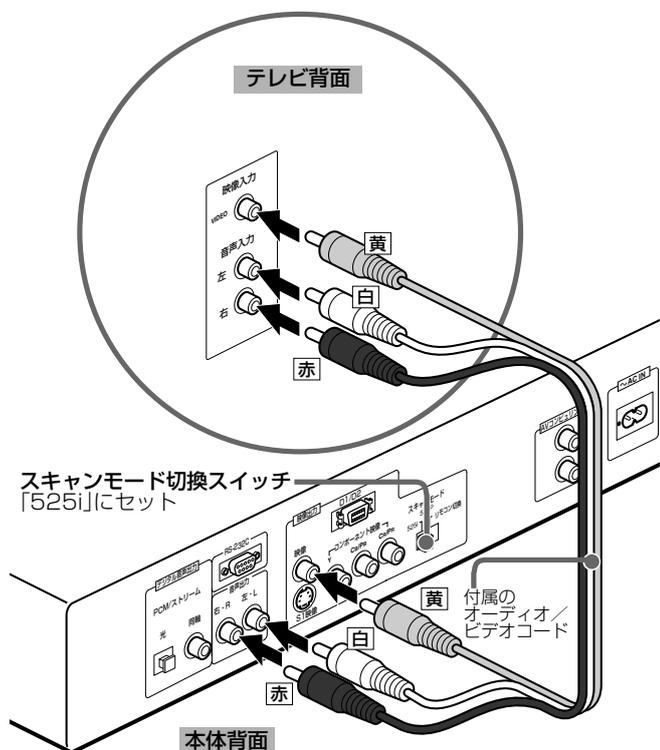
テレビと接続する

本機はテレビと接続するだけでお使いいただけます。

本機の音声を、より本格的にお楽しみになりたい場合は、オーディオ専用機器とも接続できます。➡ 13 ページ

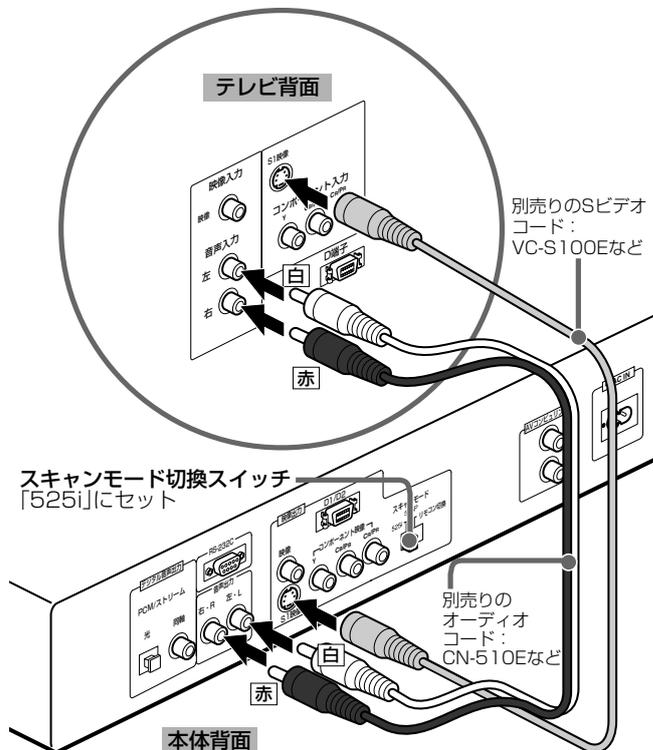
従来のテレビと接続する

映像入力端子、および音声入力端子が付いているテレビと接続します。



S映像入力端子付きのテレビと接続する

S映像入力端子(用語集 ➡ 68 ページ)が付いているテレビをお使いの場合、黄色の映像コードで接続する代わりに、Sビデオコード(別売り)を使用して接続すると、さらに鮮明な映像がお楽しみいただけます。



ご注意

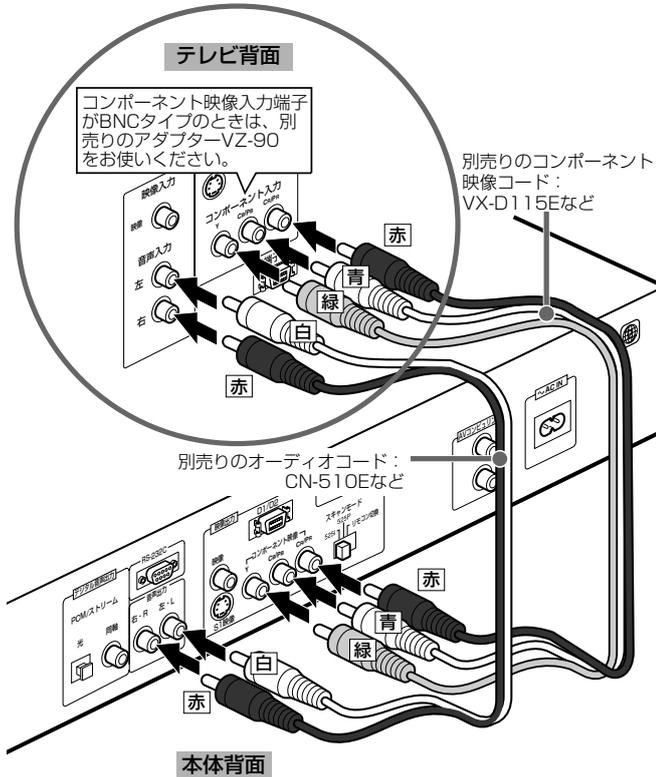
- テレビの音声入力端子とつなぐ場合は、初期設定の「音声設定画面」で[アナログダウンミックス]の設定を[ステレオ]にしてください。➡ 54 ページ
- 従来のテレビやS映像入力端子付きのテレビと接続する場合、スキャンモード切替スイッチを「525p」に設定すると、テレビに映像が映りません。「525i」でお使いください。➡ 11 ページ
- ワイドテレビに接続するときは、別売りのSビデオコードで接続してください。Sビデオコードで接続しないと、ワイドテレビに合った画面サイズへの自動切替機能がや2画面機能が正常に作動しないことがあります。

〈お知らせ〉

- アンプにつないだスピーカーから音を出すときは、「ステレオアンプやレシーバーと接続する」をご覧ください。➡ 13 ページ
- お持ちのテレビがビクター製で、AVコンピュリンクII端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」をご覧ください。➡ 62 ページ
- テレビやモニターの映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りのアダプター:VZ-90を使用してください。

コンポーネント映像入力端子付きのテレビと接続する

コンポーネント映像入力端子(用語集 68 ページ)を使って本機とテレビを接続することで、より高画質の映像が楽しめます。

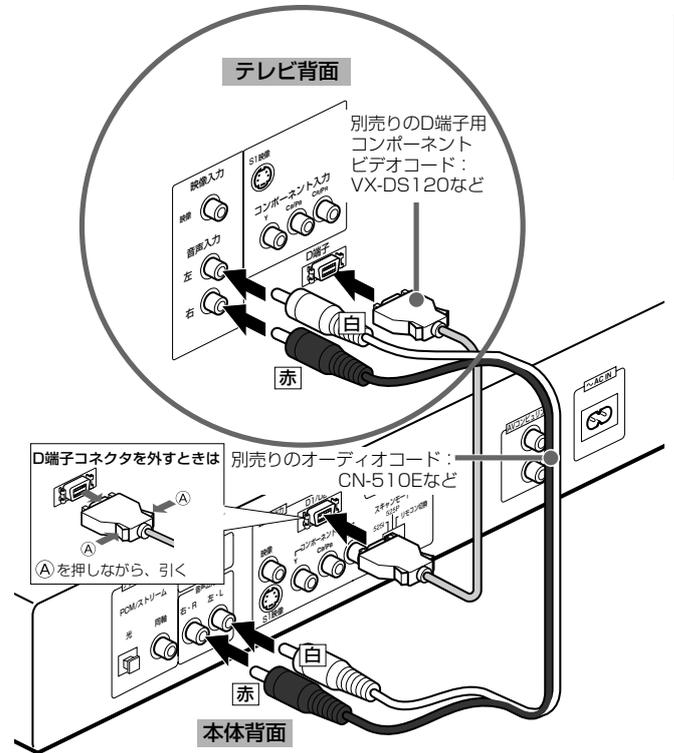


D端子付きのテレビと接続する

D1/D2端子(用語集 68 ページ)を使って本機とテレビのD端子(D1~D4まで)を接続することで、より高画質の映像が楽しめます。

〈お知らせ〉

- D1/D2端子を使ってテレビと接続するとき、本機の他の映像出力を同時に接続しないでください。



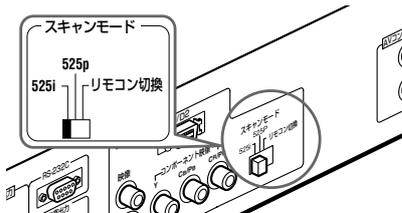
スキャンモードの切り換えについて

本機は従来のインターレーススキャン(用語集 68 ページ)での映像出力に加えて、プログレッシブスキャン(用語集 69 ページ)での映像出力にも対応しています。

お使いのテレビがインターレーススキャン方式か、プログレッシブスキャン方式に対応しているかに応じてスキャンモード切換スイッチを切り換えることで、テレビに応じた高画質の映像が楽しめます。

スキャンモードの選びかた

本体背面のスキャンモード切換スイッチで切り換えます。右の表を参考に、お使いのテレビに合わせて正しく設定してください。



〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、スキャンモード切換スイッチが「525i」にセットされています。
- プログレッシブスキャンが選択されているとき、本体前面のプログレッシブランプが点灯します。本機の状態やディスクに収録されている映像の種類、および初期設定の「映像設定画面」の「プログレッシブモード」設定(53 ページ)によって、表示の色が異なります。(12 ページ)
- スキャンモードについては、接続するテレビの取扱説明書を併せてお読みください。

テレビのスキャン方式が	接続する端子が	スキャンモード切換スイッチを
<ul style="list-style-type: none"> • 「インターレーススキャン」対応のとき 	<ul style="list-style-type: none"> • 通常の映像入力端子のとき • S映像入力端子のとき • コンポーネント入力(プログレッシブスキャン非対応)のとき • D1入力端子のとき 	<ul style="list-style-type: none"> • 「525i」にセット
<ul style="list-style-type: none"> • 「プログレッシブスキャン」対応のとき 	<ul style="list-style-type: none"> • コンポーネント入力(プログレッシブスキャン対応)のとき • D2~D4入力端子のとき 	<ul style="list-style-type: none"> • 「525p」にセット

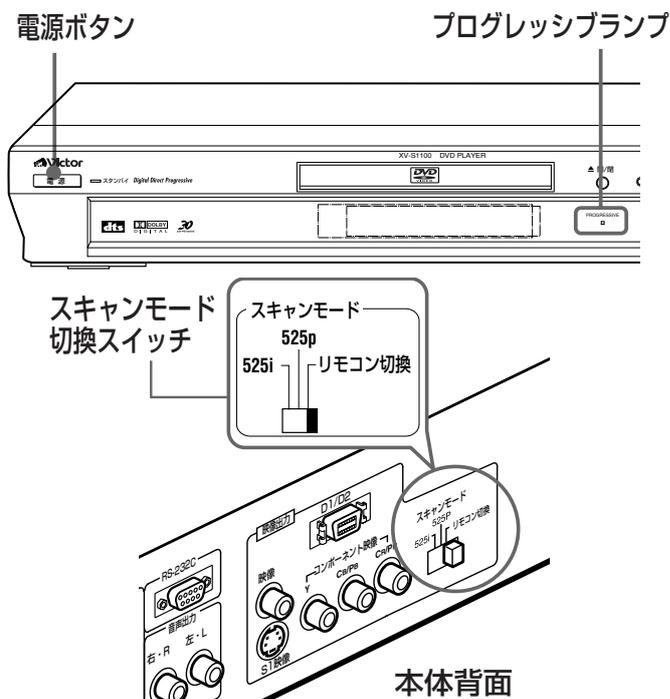
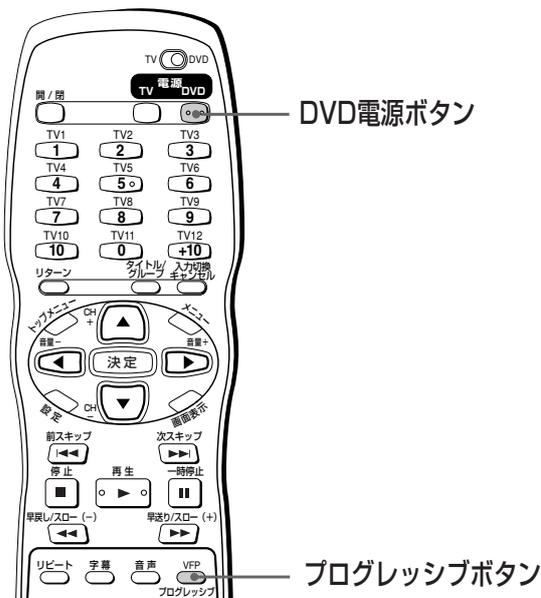
「リモコン切換」について

AVセレクターなどを用いてプログレッシブスキャン対応/非対応のテレビと同時に接続するときや、ディスクの収録素材に応じてインターレーススキャン/プログレッシブスキャンを切り換えて楽しみたいときなど、スキャンモード切換スイッチを「リモコン切換」にセットすると、リモコンで本機のスキャンモード設定を切り換えることができます。(12 ページ)

テレビと接続する (つづき)

リモコンでスキャンモードを切り換える

AVセクターを用いてプログレッシブ対応／非対応の両方のテレビに接続する場合や、ディスクの収録素材によってスキャンモードを切り換えたい場合、リモコンで本機のスキャンモード設定を切り換えることができます。



《本機の電源「切」時に》

1 本体背面のスキャンモード切換スイッチを「リモコン切換」にする

2 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

3 リモコンのプログレッシブボタンを1秒以上押す

押すごとにスキャンモードが「インターレース」↔「プログレッシブ」に切り換わります。

プログレッシブスキャンが選択されているとき(本体背面のスキャンモード切換スイッチが「525p」にセットされているときも)、本体前面のプログレッシブランプが点灯します。本機のプログレッシブモード設定や、再生状態、およびディスクの収録素材(53 ページ)、および本機の状態によって、プログレッシブランプの色は下の表のように変わります。

ディスクによってプログレッシブモードをより好ましい設定にするのに便利です。

[プログレッシブモード]設定	ディスクの収録素材	
	フィルム素材	ビデオ素材
「ビデオ」のとき	赤	赤
「フィルム」のとき	緑	緑
「オート」のとき	緑	赤

* 停止中はプログレッシブモードの設定や収録素材にかかわらず赤く点灯します。

プログレッシブモード設定については 53 ページを参照してください。

デジタルダイレクトプログレッシブ方式について

これまでのプログレッシブスキャン対応DVDプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVDビデオでも、いったん映像信号をインターレーススキャンに変換したうえで、再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていました。このため映像がブレたり不自然に写ることがありました。

ビクターのデジタルダイレクトプログレッシブ方式は、DVDビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力することにより、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

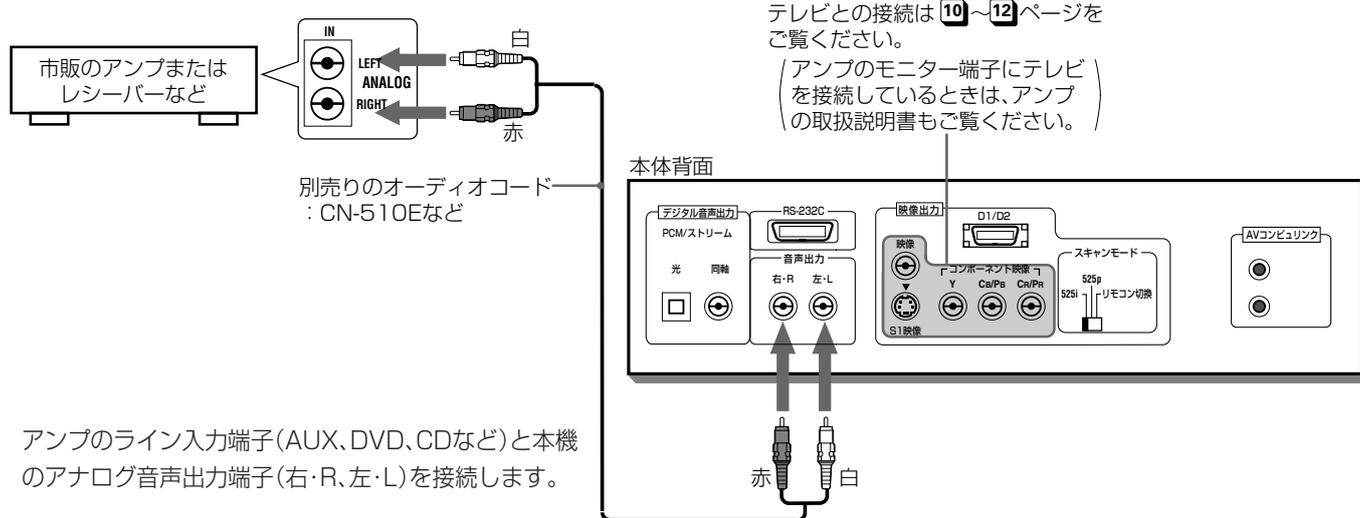
《お知らせ》

- プログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあり、テレビの映像が不自然に映る場合があります。このようなときは、スキャンモードを「インターレース」に切り換えてください。
- ビクター製のプログレッシブスキャン対応テレビは、本機のプログレッシブスキャンに適合しています。
- **プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について**
本機のプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードをインターレースに切り換えてお使いください。この信号に対応している当社のテレビはHD-32LS1 やAV-32AD1 などです。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

他の機器と接続する

ステレオアンプやレシーバーと接続する

本機をステレオアンプ、レシーバーなどのオーディオ専用機器と接続することにより、より迫力ある音声が楽しめます。



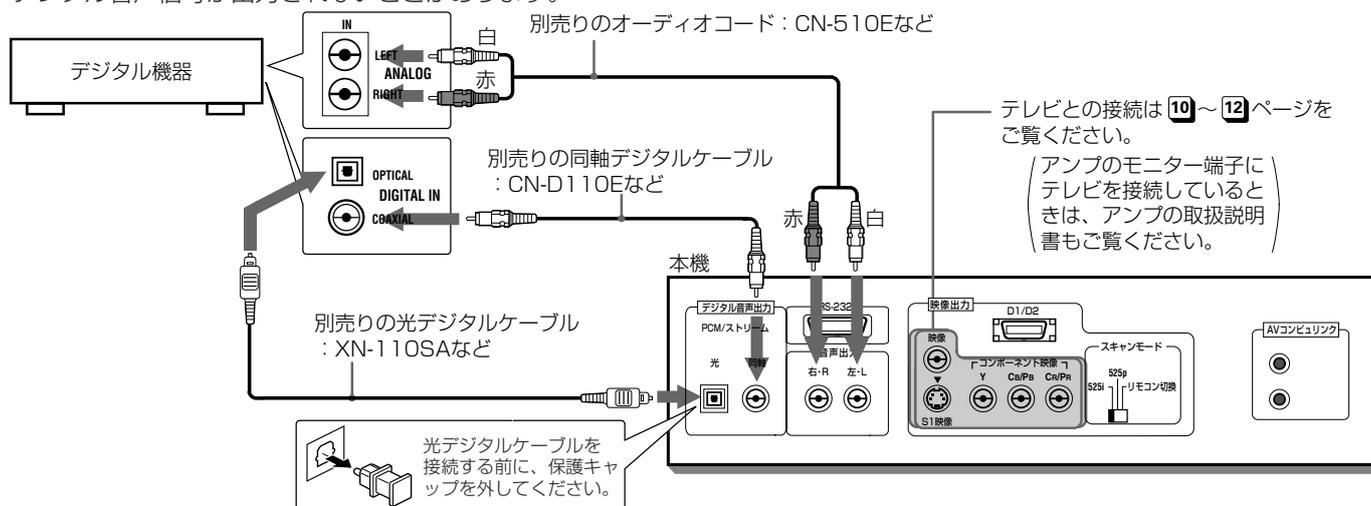
接続が終わったら

初期設定の「音声設定画面」で[アナログダウンミックス]を[ステレオ]に設定してください。👉 54 ページ

デジタル入力端子付きの機器と接続する

本機のデジタル音声出力端子をアンプなどのデジタル入力端子と接続することにより、本機で再生したディスクのオーディオ信号をデジタルのまま外部機器へ送ることができます。またドルビーデジタルデコーダーやDTSデコーダー(あるいはデコーダー内蔵アンプ)と接続することにより、高音質のサラウンドが楽しめます。

デジタル音声端子どうしを接続する場合、アナログ音声端子を使った接続も行ってください。DVDビデオの収録方式によってはデジタル音声信号が出力されないことがあります。



接続が終わったら

初期設定の「音声設定画面」で[デジタルOUT]の設定を接続した機器に合わせて切り換えてください。👉 54 ページ

ご注意

- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して本機の「音声設定画面」の[アナログダウンミックス]、および[Dレンジコントロール]設定は無効となります。👉 54 ページ

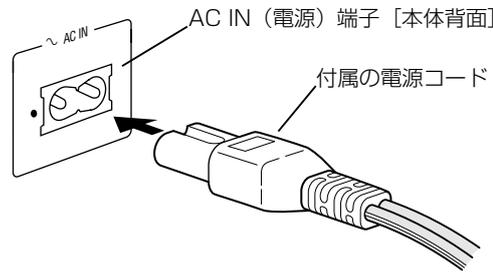
お知らせ

- お手持ちのステレオアンプレシーバー、デジタル音声信号対応機器がビクター製で、AVコンピュリンクII端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」をご覧ください。👉 62 ページ

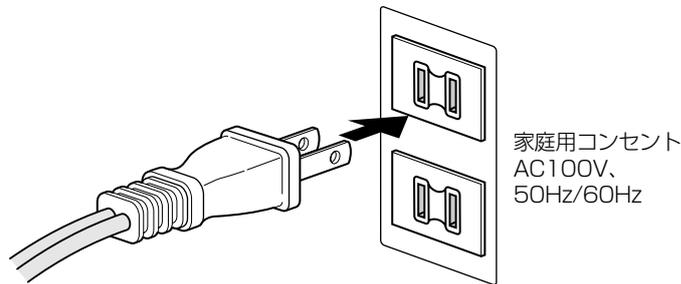
電源コードを接続する

すべてのオーディオ／ビデオの接続が終わったら、付属の電源コードを使って本機の～ AC IN端子と家庭用コンセント(交流100V)を接続します。電源コードのプラグをしっかりと確実に差し込んでください。

1 ～ AC IN端子へ差し込んでから…



2 家庭用コンセントへ



電源コードを接続すると、本体のスタンバイランプが点灯します。

〈お知らせ〉

- 本機は、電源を「切(スタンバイ)」にしても、わずかに電力を消費しています。長期間お使いにならないときは安全および節電のため、電源コードをコンセントから抜いてください。

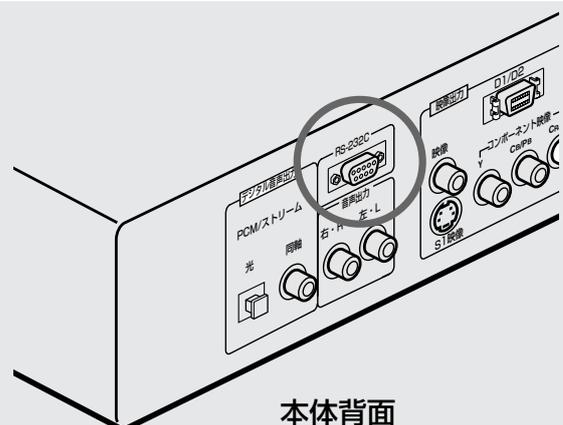
ご注意

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使わないでください。電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード(CN-325A)をお買い求めください。
- 電源コードを改造したり、電源コードをねじ曲げたり、引っ張る、または電源コードの上に重い物を置かないでください。火災、感電などの原因となることがあります。

RS-232Cについて

本機は、RS-232C通信機能を備えており、パソコンのRS-232C端子と接続して、パソコンから本機をコントロールすることができます。

RS-232C端子の詳しい使いかたは、お買い上げの販売店にご相談ください。



リモコンの準備

リモコンを使って、本機の操作のほかにテレビの基本操作を行うことができます。

リモコンに電池を入れる

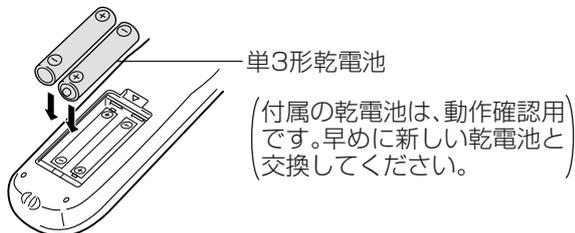
リモコンの背面に電池を入れてください。

1 裏ブタの上部を指で手前に押しながら、外す

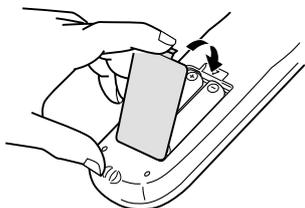


2 乾電池(単3形)2本を入れる

+/-の極性がリモコン内部に表示されていますので、それに合わせ正しい向きに入れてください。



3 裏ブタを元通りに閉める

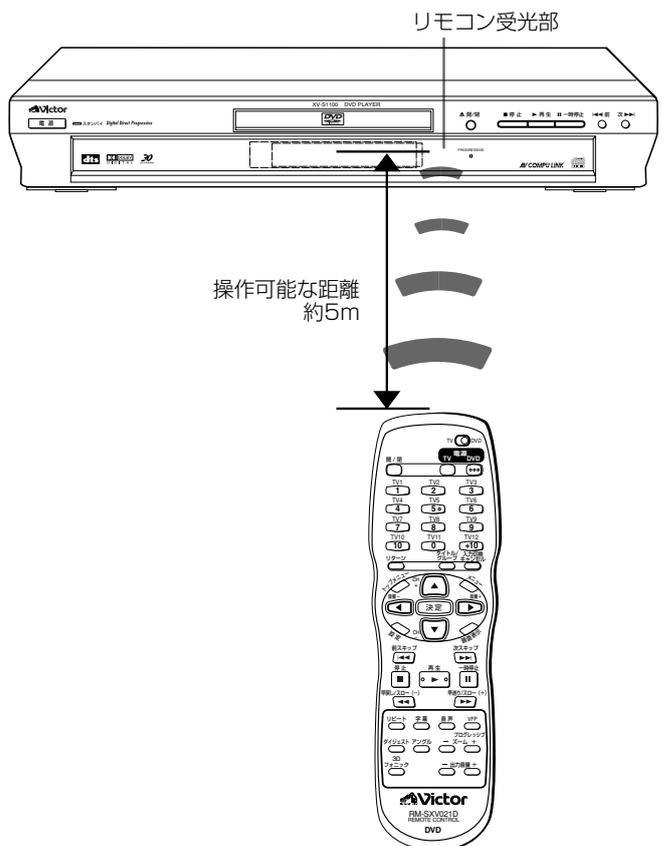


〈お知らせ〉

- リモコンで操作できる範囲がせまくなってきたり、本体に近づけないと操作できないときは、電池の交換時期です。
2本とも新しい乾電池(単3形)と交換してください。
使用頻度によって変わりますが、寿命は半年程度です。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

リモコンの操作

- リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。
- 操作可能な距離は、リモコン受光部より約5mですが、斜めから操作すると短くなります。
- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。



接続と準備

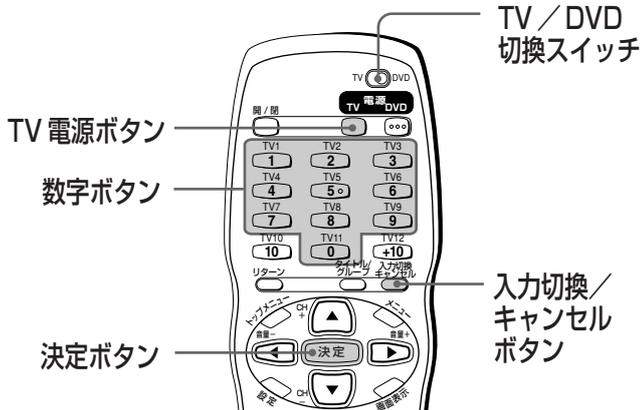
リモコンの準備(つづき)

リモコンでテレビを操作できるように設定する

本機のリモコンを使って、テレビを操作することができます。

ビクター製のテレビをお使いの場合は、電池を入れると本機のリモコンでテレビの操作ができます。

ビクター製以外のテレビをお使いの場合は、以下の手順で本機のリモコンのメーカー設定をしてください。



- 1 TV/DVD切換スイッチを「TV」側に切り換える



- 2 手順4が終わるまで入力切換/キャンセルボタンを押したままにする

- 3 数字ボタン(1~9、0)でメーカーのコード番号(2ケタ)を入力する

例: 松下1の場合

入力切換/キャンセルボタンを押したまま

0 → 2 と押す。

メーカーコード表

メーカー名	コード番号
ビクター	01
松下1	02
松下2	03
三菱	04
ソニー	05
日立	06
東芝	07
サンヨー1	08
サンヨー2	09
シャープ	10
パイオニア	11
NEC	12
フナイ 1	13
アイワ	14
フナイ2	15
フナイ3	16

- 複数のコードを持つメーカーの場合、機種によって動作するコード番号が異なります。順番に試してみてください。正しく動作するコード番号を選んでください。

- 4 決定ボタンを押す

- 5 入力切換/キャンセルボタンを離す

リモコンをテレビに向けて、以下の操作が正常に行えるかを確認してください。

リモコンでテレビを操作する

- 1 TV/DVD切換スイッチを「TV」側に切り換える



- 2 以下のボタンを使ってテレビを操作する

カーソル(▲ CH+ / ▼ CH-) (◀ 音量- / ▶ 音量+) ボタン、数字ボタン、入力切換/キャンセルボタンを使ってテレビを操作するときは、TV/DVD切換スイッチを「TV」側に切り換えます。

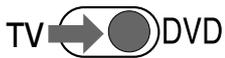
	テレビの電源を「入」/「切(スタンバイ)」にする
	テレビのチャンネルを変える
	テレビの音量を調節する
	テレビのチャンネルを選ぶ ・ 数字ボタンの上のTV1~TV10、およびTV11、TV12がテレビのチャンネル番号です
	テレビとビデオ入力を切り換える

本機の再生条件を設定する[簡単セットアップ]

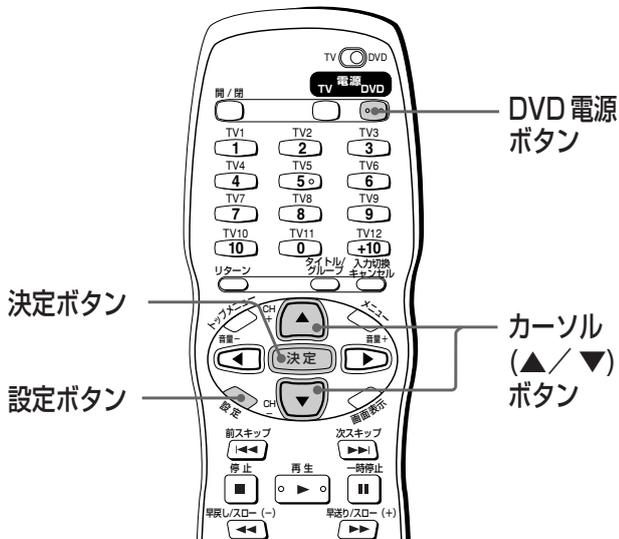
本機の操作を始める前に、あらかじめ「簡単セットアップ」画面で本機の再生条件を設定します。

なお、これらの設定は、あとから初期設定画面で設定することもできます。(☞ 50 ページ)

TV/DVD 切換スイッチについて



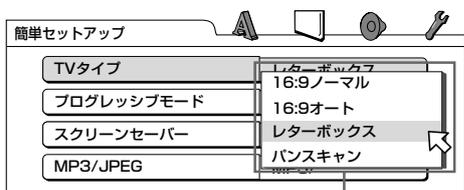
カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。



《リモコンのDVD電源ボタンで電源を入れて、本機のオープニング画面が表示されてから (☞ 18 19 ページ)》

1 リモコンの設定ボタンを2秒以上押し続ける

「簡単セットアップ」画面が表示されます。
[TVタイプ]のプルダウンメニューが表示された状態です。



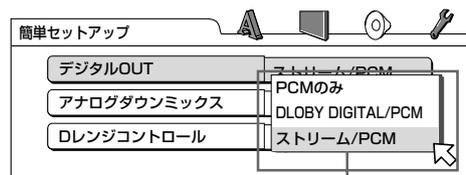
TVのタイプの選択

2 カーソル(▲/▼)ボタンを使って、テレビのタイプを選ぶ

TVのタイプを[16:9ノーマル]、[16:9オート]、[レターボックス]、[パンスキャン]から選びます。
通常のテレビを接続しているときは、[パンスキャン]または[レターボックス]を選びます。
ワイドテレビを接続しているときは、[16:9オート]または[16:9ノーマル]を選びます。
詳しくは 52 ページをご覧ください。
お買い上げ時の設定は[レターボックス]です。

3 決定ボタンを押す

TVのタイプが設定され、設定画面の2ページ目が表示されます。
[デジタルOUT]のプルダウンメニューが表示された状態です。



デジタルOUTの選択

4 カーソル(▲/▼)ボタンを使って、デジタル音声出力のタイプを選ぶ

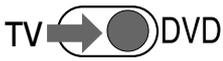
この設定は、デジタル音声出力端子にアンプなどのデジタル機器を接続したときに設定します。
デジタル機器を接続していないときは、お買い上げ時の設定のままにして、手順5へ進んでください。
お買い上げ時の設定は[ストリーム/PCM]です。
詳しくは 54 ページをご覧ください。

5 決定ボタンを押す

簡単セットアップ画面が消え、本機のオープニング画面になります。(☞ 18 ページ)。

基本操作

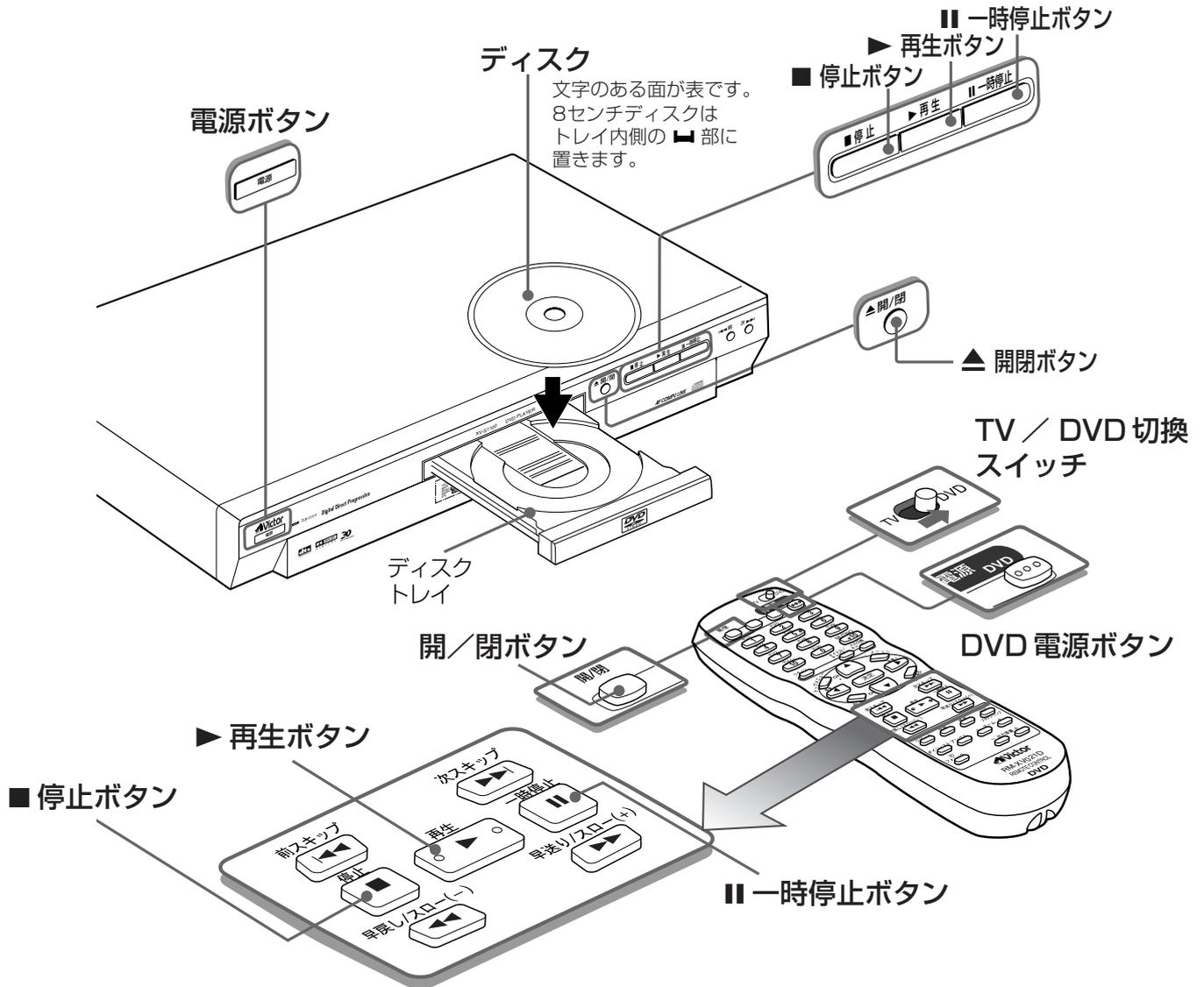
TV/DVD 切換スイッチについて



カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

このページから **41** ページまでは、DVDビデオ、オーディオCD、ビデオCDの操作を説明します。

MP3ディスクの再生については **42** ページから、JPEGディスクの再生については **45** ページからの説明をご覧ください。



電源を入ると表示される画面について

電源を入れた直後、テレビ画面に次のような画面が自動的に表示されます。これをオープニング画面といいます。オープニング画面の下部には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。



メッセージ

- ナウ リーディング NOW READING : ディスク情報を読み取り中です。しばらくお待ちください。
- リージョンコードエラー! : リージョンコードが違うため、このDVDビデオを再生できません。
- ノー ディスク NO DISC : ディスクが入っていません。
- オープン OPEN : ディスクトレイを開いています。
- クローズ CLOSE : ディスクトレイを閉じています。

ディスクを入れて、すぐにメニューが表示された場合は...

ディスクによってはディスクを入れ、ディスクトレイを閉じれば自動的に再生が始まり、メニュー画面が表示されるものがあります。 **25**、**26** ページ

リモコンの次のボタンを使って、メニューから希望の項目を選んで再生します。なお、ディスクによっては、操作方法がここでの説明と異なることがあります。

項目をカーソルで選ぶ場合

カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタンを使って、項目を選び、決定ボタンを押します。

項目を数字ボタンで選ぶ場合

数字ボタンで項目を選び、決定ボタンを押します。

再生する

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

1 リモコンのDVD電源ボタン、または本体の電源ボタンを押す

スタンバイランプが消えて電源が入ります。電源を切るときも、リモコンのDVD電源ボタン、または本体の電源ボタンを押します。

2 ▲開／閉ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクをトレイに置く

ご注意

- ディスクはトレイの溝に合わせて正しく置いてください。溝に合わないままディスクトレイを閉めると、ディスクが破損したり、ディスクが取り出せなくなる原因となります。

3 ▶再生ボタンを押す

ディスクの最初から再生が始まります。ディスクによってはディスクを入れ、ディスクトレイを閉じれば自動的に再生が始まるものがあります。

• イチ押し操作

リモコン、または本体の▶再生ボタンを押して電源を入れることもできます。このとき、ディスクトレイにディスクが入っていると再生が自動で始まります。

▲開／閉ボタンを押したときも電源が入り、ディスクトレイが出てきます。

• ちょっと見バック

DVDビデオの再生中に▶再生ボタンを押すと、現在再生しているところから10秒前に戻って再生します。見逃したシーンなどを確認したいときに便利です。

📖 24 ページ

停止する

《再生中に》 DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

■停止ボタンを押す

再生が停止します。

再生中に▲開／閉ボタンを押すと再生が停止し、ディスクトレイが開きます。

一時停止する

《再生中に》 DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

⏸一時停止ボタンを押す

再生が一時停止になります。

再生を再開するときは、▶再生ボタンを押します。

再生中に表示されるマークについて

再生条件に応じて、下のようなマークがテレビ画面に約数秒間表示されます。これらのマークはオンスクリーンガイドといいます。オンスクリーンガイドは表示しないようにすることができます。

- マークを表示しないようにするには
📖 55 ページの「オンスクリーンガイド」を参照してください。

- ▶ : 再生を開始すると表示されます。
- ⏸ : 一時停止すると表示されます。
- ⏮ ⏭ : 選択したスピードで早送り／早戻し再生をすると表示されます。📖 20 ページ
- ⏪ ⏩ : 選択したスピードでスロー再生をすると表示されます。📖 20 ページ
- 🎥 : 複数のアングルが収録されている場面で表示されます。📖 35 ページ
- 🗣️ : 複数の音声言語が収録されている場面で表示されます。📖 34 ページ
- 💬 : 複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます。📖 34 ページ
- 🚫 : 本機、またはディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。
🚫 が表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

スクリーンセーバーについて

長い時間、静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

初期設定画面(📖 50 ページ)を表示中や停止中、またはメニュー再生中など、静止画が表示されてから5分以上何も操作をしないと、画面が暗くなります。

スクリーンセーバー機能はいずれかの操作ボタンを押すと解除され、通常の明るい画面に戻ります。

(スクリーンセーバーが働いていないとき)



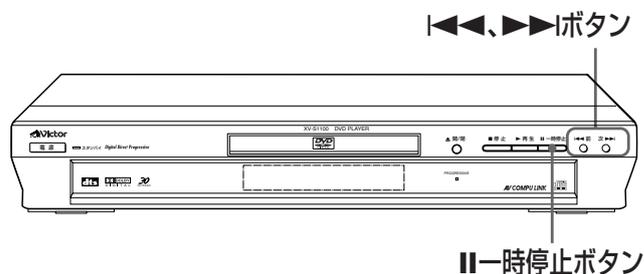
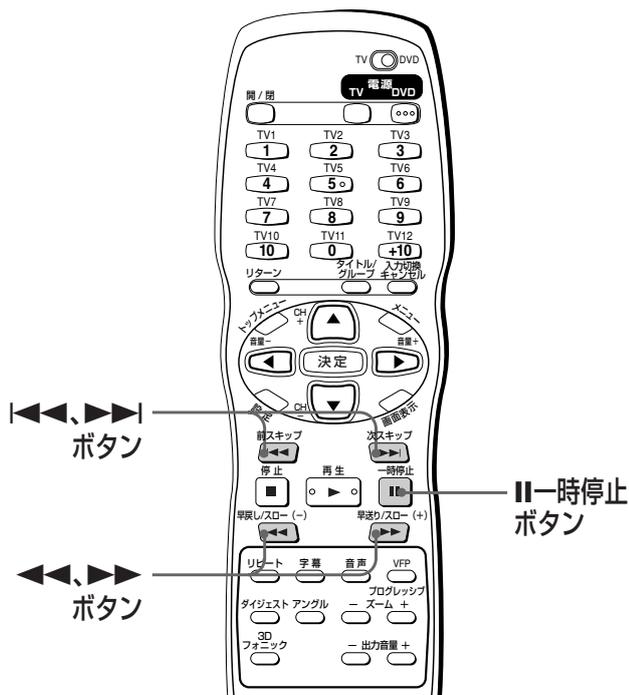
(スクリーンセーバーが働いているとき)



初期設定「映像設定画面」の[スクリーンセーバー]の設定で、スクリーンセーバー機能を働かせないようにすることもできます。📖 53 ページ

いろいろな速さで再生する

再生するスピードを変えたり、画像をコマ送りで楽しむことができます。



早送り / 早戻し再生をする

DVDビデオ **オーディオCD** **ビデオCD** で使える機能です

《再生中に》

【早送り/早戻し再生1】(リモコン使用時のみ)

- ▶▶または◀◀ボタンを押す
ボタンを押すごとに早送り/早戻しのスピードが速くなります(2倍速~60倍速)。
通常の再生に戻すときは、▶再生ボタンを押します。

【早送り/早戻し再生2】

- ▶▶または◀◀ボタンを押し続ける
▶▶ボタンを押し続けると早送り再生(5倍速)、◀◀ボタンを押し続けると早戻し再生(5倍速)ができます。
ボタンから手を離すと通常の再生に戻ります。

《お知らせ》

- MP3ディスクでは、早送り/早戻し再生ができません。
- DVDビデオやビデオCDでは、早送り/早戻し再生中は音声が出ません。
- オーディオCDの早送り/早戻し再生中は、音声は断続的に再生されます。

画像を1コマずつ送る

DVDビデオ **ビデオCD** で使える機能です

《一時停止中に》

- 一時停止ボタンを押す
一時停止ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。
▶再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

スローモーション再生する[スロー]

DVDビデオ **ビデオCD** で使える機能です

《再生中に》

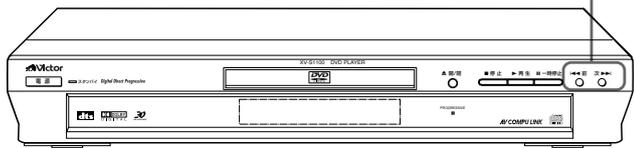
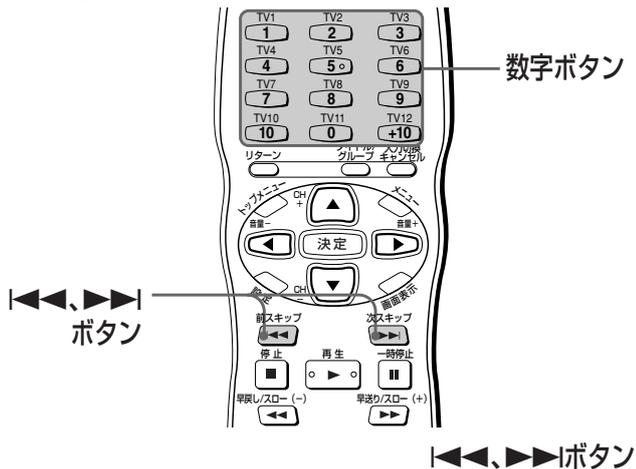
- 一時停止ボタンを押してから、▶▶または◀◀ボタンを押す
▶▶ : 順方向のスロー再生...スロー(+)
◀◀ : 逆方向のスロー再生...スロー(-)
(DVDビデオのみ)
◀◀または▶▶ボタンを押すごとにスロー再生のスピードが上がります(1/32倍速~1/2倍速)。
● 通常の再生に戻すには
▶▶再生ボタンを押します。

《お知らせ》

- スロー再生中、音声は再生されません。
- ビデオCDでは逆方向のスロー再生はできません。

見たい場面や聴きたい曲を素早く選ぶ

見たい場面や聴きたい曲を素早く選ぶことができます。



▶▶または◀◀ボタンを使って頭出しをする

DVDビデオ **オーディオCD** **ビデオCD** で使える機能です

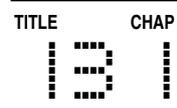
前後のタイトルやチャプター(DVDビデオ)やトラック(オーディオCD/ビデオCD)の頭にスキップすることができます。

《DVDビデオ :いつでも》
 《オーディオCD :いつでも》
 《ビデオCD :停止中、またはPBCオフで再生中に》

1 ▶▶または◀◀ボタンを押す(本体の場合は次▶▶または◀◀前ボタンを押す)

- 先のタイトル/チャプター/トラックに進むには、必要な回数だけ▶▶ボタンを押します。
- 手前のタイトル/チャプター/トラックに戻すには、必要な回数だけ◀◀ボタンを押します。
- 現在再生しているタイトル/チャプター/トラックの頭に戻すには、1回だけ◀◀ボタンを押します。
- 停止中に上記の操作を行ったあと、▶再生ボタンを押すと、選んだタイトル/チャプター/トラックから再生が始まります。
- 選んだタイトル/チャプター/トラックが表示窓に表示され、そこから再生が始まります。

(DVDビデオの例)



《お知らせ》

- DVDビデオによっては、この機能が使えないものがあります。
- ビデオCDをPBC再生(26ページ)しているときや、ディスクによってはこの機能が使えません。

数字ボタンを使って頭出しをする

DVDビデオ **オーディオCD** **ビデオCD** で使える機能です

DVDビデオのタイトルやチャプター、オーディオCD/ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定し、そこから再生を始めることができます。

《DVDビデオ :いつでも》
 《オーディオCD :いつでも》
 《ビデオCD :停止中、またはPBCオフで再生中に》

1 数字ボタンを使って番号を指定する

ディスクの種類、および本機の動作状態によって、指定する項目が異なります。

動作状態	ディスクの種類	指定される項目
停止中	DVDビデオ	タイトルまたはチャプター*
	オーディオCD/ ビデオCD	トラック
再生中	DVDビデオ	チャプター
	オーディオCD/ ビデオCD	トラック

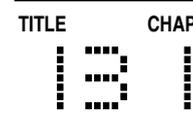
* ディスクにタイトルが複数ある場合はタイトル指定、1つしかない場合はチャプター指定になります。

数字ボタンの使いかた

- 1~10を選ぶには
その番号の数字ボタンを直接押す。
- 11以上を選ぶには
+10ボタンを先に押してから1~10のボタンを押す。
例: 13番を選ぶには (+10) → (3)
24番を選ぶには (+10) → (+10) → (4)
30番を選ぶには (+10) → (+10) → (10)
または (+10) → (+10) → (+10) → (0)

指定した番号が本体の表示窓に表示され、そこから再生が始まります(ダイレクト再生)。

(DVDビデオの例)



またDVDビデオにタイトルが複数ある場合、再生中にタイトルを指定することができます。(27ページ)

《お知らせ》

- DVDビデオによっては、この機能が使えないものがあります。
- ビデオCDをPBC再生しているときは、この機能が使えません。
- 手順1で (3) が表示されたときは...
押した番号のタイトル、あるいはトラックが収録されておられません。

すぐ使ってみる

あとで続きを再生する[リジューム]

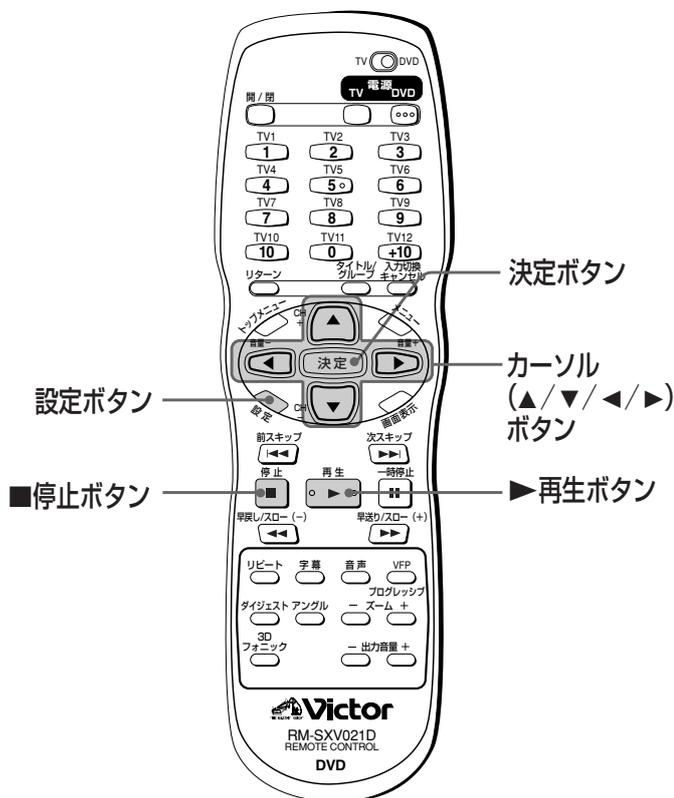
映画鑑賞を途中で中断するときなど、その位置を本機に記憶させ、あとでその位置から続きを再生することができます。これを「リジューム」といいます。

TV/DVD 切換スイッチについて



カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

DVD ビデオ
ビデオ CD
で使える機能です



リジュームモードを選ぶ

《電源「切」以外いつでも》

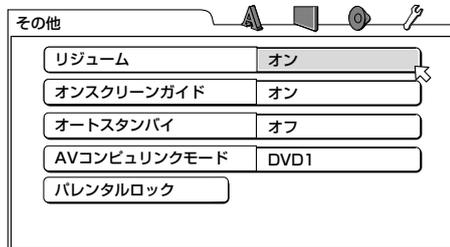
1 設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。▶ 50 ページ

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って「その他設定画面」にする

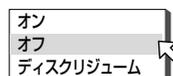
「その他設定画面」が表示されます。

◀▶ が「リジューム」の「オン」を指しています。



3 決定ボタンを押す

「リジューム」のプルダウンメニューが表示されます。以下の3つからリジュームのモードを選択します。



オン(通常のリジューム)

現在ディスクトレイにセットされている1枚のディスクに対してのみリジュームを行います。

ディスクリジューム(ディスクリジューム)

最大30枚までのディスクの中断した位置を記憶し、ディスクを取り出してもリジューム情報が記憶されています。

オフ(リジュームしない)

リジュームをしません。

4 カーソル(▲/▼)ボタンを使ってプルダウンメニューからリジュームモードを選択し、決定ボタンを押す

選んだリジュームモードが設定されます。

- 初期設定画面を消すには
設定ボタンを押します。

リジュームの種類について

リジュームの種類には次の2つがあります。

通常のリジューム

現在ディスクトレイにセットされている1枚のディスクに対してのみリジュームを行います。

ディスクリジューム

最大30枚までのディスクの中断した位置を記憶してリジュームを行います。ディスクを取り出してもリジューム情報が記憶されています。

お買い上げ時は通常のリジュームに設定されていますが、右の操作により、ディスクリジューム、またはリジュームしない設定に切り換えることができます。

通常のリジューム再生をする

再生位置を記憶させるには

《リジューム設定が[オン]でディスク再生中に》

1 中断したいところで、■停止ボタンを押すか、または電源ボタンを押す

- 再生が中断し、押したときの再生位置が記憶されます。
- 前回の位置の記憶が残っていたときは、その記憶は消えて、今回の位置が新しく記憶されます。
- ■停止ボタンを押して再生を中断した場合、本体の表示窓に「--- RESUME」と表示されます。そのあとで電源を切っても位置の記憶は消えません。
- ディスクを取り出すと、前回の位置の記憶は消えます。

リジューム再生するには

《リジューム設定が[オン]で、前回再生を中断したディスクが入っているとき》

1 リモコン、または本体の▶再生ボタンを押す

本体の表示窓に「RESUME PLAY」と表示され、中断した位置から再生が始まります。

- 位置の記憶を取り消し、ディスクの最初から再生するには
 - ・ (電源「入」の状態) 停止中に ■停止ボタンを押してから ▶再生ボタンを押します。
 - ・ (電源「切 (スタンバイ)」の状態) 電源ボタンを押して電源を入れてから ▶再生ボタンを押します。

〈お知らせ〉

- ディスクリジュームモードで記憶したディスクは、初期設定の[リジューム]設定を[オン]または[オフ]に変更すると、それまでのリジューム再生ができなくなります。ただし、[リジューム]設定を[ディスクリジューム]に戻した場合は、記憶した位置で再生できるようになります。
- 通常のリジューム(リジューム設定が[オン])のとき、ディスクをトレイから取り出すと、位置の記憶が取り消されます。
- オーディオCD、MP3ディスク、およびJPEGディスクに対してはリジュームが働きません。
- プログラム再生またはランダム再生のモードのときは、リジュームが働きません。
- PBC対応のビデオCDでは、記憶されている位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
- 記憶された位置によっては、記憶されている位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
- 両面タイプのDVDビデオの場合、本機は表面、裏面をそれぞれ別のディスクとみなします。このようなディスクをディスクリジューム再生をするときは、再生位置が記憶されたディスク面を下にしてディスクトレイにセットしてください。
- 再生位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。▶▶ 34 35 ページ
- DVDビデオのメニュー画面中やビデオCDのPBCメニュー画面が表示されているときは、再生位置が記憶できないことがあります。

ディスクリジューム再生をする

再生位置を記憶させるには

《リジューム設定が[ディスクリジューム]でディスク再生中に》

1 中断したいところで、■停止ボタンを押すか、または電源ボタンを押す

- 再生が中断し、押したときの再生位置が記憶されません。このとき本体の表示窓に「-----RESUME」と表示されます。
- ディスクを取り出したり、電源を切っても再生位置は記憶されたままです。
- 電源ボタンを押して再生を中断すると、再生位置は記憶されますが、表示窓には何も表示されません。
- 最大30枚までのディスクの再生位置を記憶させることができます。30枚を超えて記憶させた場合、古い記憶から順に消去されます。
- 以前に再生位置を記憶させたディスクを再び記憶させた場合、記憶が更新されたり、消去される順番が変わることがあります。

ディスクリジューム再生するには

《リジューム設定が[ディスクリジューム]のとき》

1 前回再生を中断したディスクを本機に入れ、リモコン、または本体の▶再生ボタンを押す

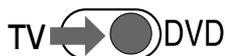
本体の表示窓に「RESUME PLAY」と表示され、中断した位置から再生が始まります。このとき再生を中断するごとに、その位置が新しく記憶されます。

- 位置の記憶を取り消し、ディスクの最初から再生するには
 - ・ ディスクをセットし、停止中に ■停止ボタンを押してから ▶再生ボタンを押します。

再生するところを選ぶ

タイトル、チャプター、またはトラックなどを選んだり、再生位置の時間を指定して、そこから再生することができます。あるいはトラックを選んで好きな順番で再生することができます。

TV/DVD切換スイッチについて

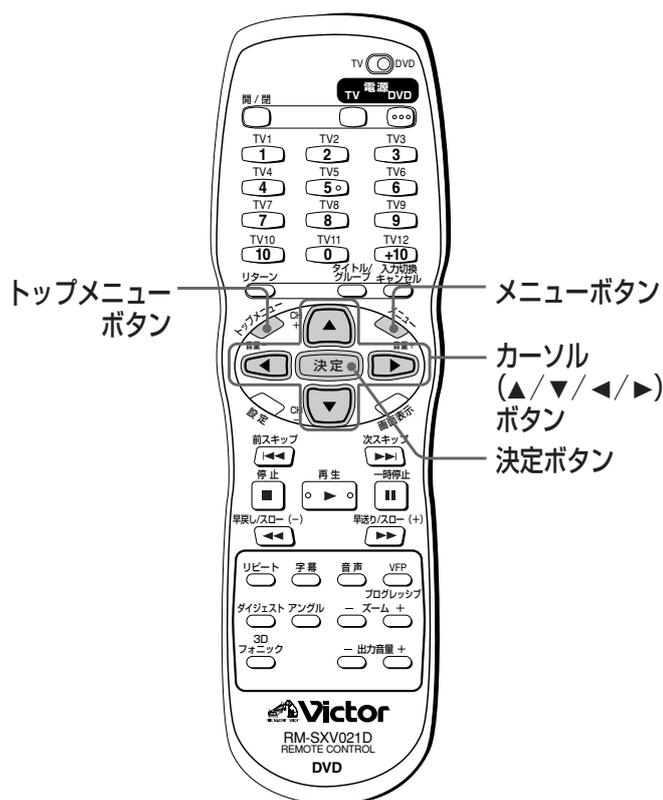


カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

DVDビデオのメニューから選ぶ

DVDビデオ で使える機能です

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たい内容を選ぶことができます。

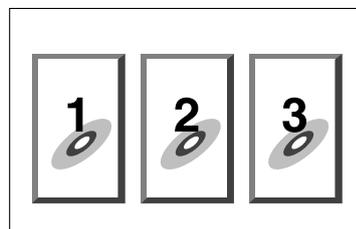


《ディスクが入っているときにいつでも》

1 メニューボタン、またはトップメニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

例：



2 カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタンを使って見たい映像や項目を選び、決定ボタンを押す

選択したところから再生されます。

〈お知らせ〉

- トップメニューボタンを押したとき⊙が表示されたら…
そのディスクにタイトル一覧のリストを表示するような、メニュー画面が収録されておりません。
- メニューボタンを押したとき⊙が表示されたら…
そのディスクにメニュー画面自体が収録されておりません。
- 停止中は、メニューボタンが動きません。

メニューボタンとトップメニューボタンの使い分け

- 複数のタイトルが収録されているディスクは、タイトル名のリストが表示されるなど、目次のような役割を持ったメニュー画面が収録されていることがあります。このような場合には、トップメニューボタンを押します。また、複数のタイトルが収録されていないディスクでも何らかのメニュー画面が収録されていることがあります。このようなときには、メニューボタンを押します。収録されているメニュー画面が表示されます。各ディスクのメニュー構成については、ディスクの説明書をご覧ください。
- メニュー画面によっては、数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。

いろいろ
再生の
しかた

再生するところを選ぶ(つづき)

ビデオCDのメニューから選ぶ

ビデオCDで使える機能です

PBC(プレイバックコントロール)用語集(▶69ページ)で収録されたビデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たい内容を選ぶことができます。

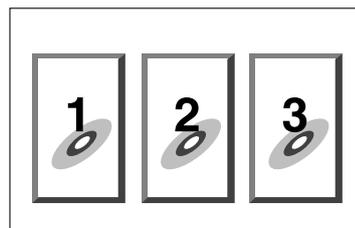
《PBC対応のビデオCDが停止中に》



1 トップメニューボタン、または▶再生ボタンを押す

PBCのメニュー画面が表示されます。

例：



本体の表示窓に「PBC」が表示されます。

2 数字ボタンを使って見たい映像や項目の番号を選ぶ

数字ボタンの使いかた

- 1～10を選ぶには
その番号の数字ボタンを直接押す。
- 11以上を選ぶには
+10ボタンを先に押してから1～10のボタンを押す。

例：13番を選ぶには **+10** → **3**
24番を選ぶには **+10** → **+10** → **4**
30番を選ぶには **+10** → **+10** → **10**
または **+10** → **+10** → **+10** → **0**

選択した内容が再生されます。

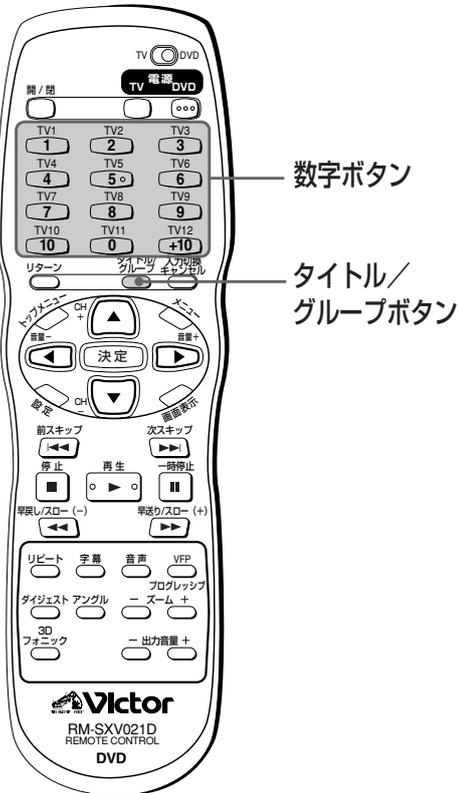
- メニュー画面に戻りたいときは
リターンボタンを押します。
 - ディスプレイに[次]または[前]が表示されたときは
 - ▶▶ボタンを押すと、メニューの次のページへ進みます。
 - ◀◀ボタンを押すと、メニューの前のページへ戻ります。
- ※ 操作方法はディスクにより異なります。

-
- PBC機能を使わずに再生するには**
停止中に見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の順番で再生します。(▶21ページ)
- PBC機能を使わずに再生中、PBCを働かせたいときは**
以下の2通りの方法があります。
- 再生中にトップメニューボタンを押す。
 - 再生中に■停止ボタンを2回押してから、▶再生ボタンを押す。

数字ボタンでDVDビデオのタイトルを選ぶ

DVDビデオ で使える機能です

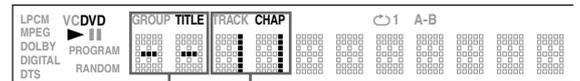
複数のタイトルを収録したDVDビデオの場合、数字ボタンを使ってタイトルを選ぶことができます。



《ディスクが入っているときにいつでも》

1 タイトル/グループボタンを押す

本体の表示窓に「--」が表示されます。
(表示窓の例)



現在のチャプター番号
タイトル番号表示エリア

2 数字ボタンを使って見たいタイトルの番号を選ぶ

本体の表示窓に「--」が表示されてる間に指定してください。「--」表示が消えてしまったときは、再度タイトル/グループボタンを押して操作をやり直してください。
選んだタイトルが再生されます。

数字ボタンの使いかた

- 1～10を選ぶには
その番号の数字ボタンを直接押す。
- 11以上を選ぶには
+10ボタンを先に押してから1～10のボタンを押す。

例: 13番を選ぶには **+10** → **3**
 24番を選ぶには **+10** → **+10** → **4**
 30番を選ぶには **+10** → **+10** → **10**
 または **+10** → **+10** → **+10** → **0**

〈お知らせ〉

- ディスクによってはこの機能を受け付けられないことがあります。

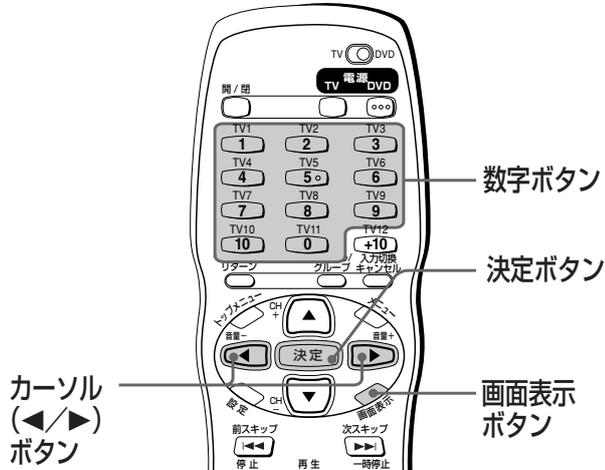
いろいろな再生のしかた

再生するところを選ぶ(つづき)

指定した時間から再生する [タイムサーチ]

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

タイムサーチ機能を使うと、現在のタイトル(DVDビデオの場合)やディスクの頭(オーディオCD/ビデオCDの場合)からの経過時間を指定することによって、希望の位置から再生を始めることができます。ただし、DVDビデオの中には時間情報が記録されていないものもあります。このようなディスクに対してはこの機能を使えません。



- 《DVDビデオ : いつでも》
- 《オーディオCD : いつでも》
- 《ビデオCD : 停止中、またはPBCオフで再生中に》

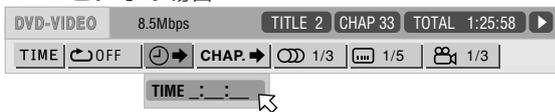
1 画面表示ボタンを2回押す

メニューバーが表示されます。
(メニューバー 39 ページ)

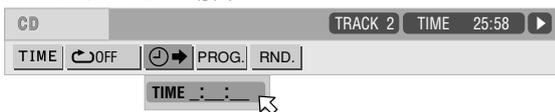
2 カーソル(左右)ボタンを使って を に合わせ、決定ボタンを押す

時間を入力するプルダウンメニューが表示されます。

DVDビデオの場合



オーディオCDの場合

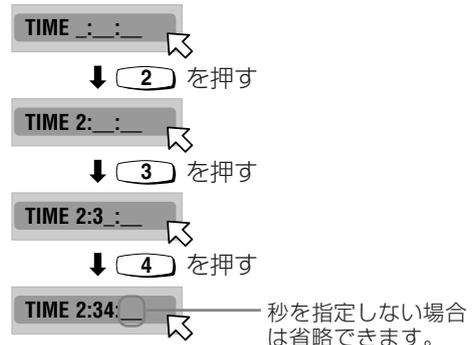


〈お知らせ〉

- 手順3で が表示されるときは…
入力した時間がディスクの収録時間の範囲にないので、タイムサーチは機能しません。またはDVDビデオによってはこの機能を受け付けない場合があります。
- PBC再生中のビデオCDではタイムサーチ機能が働きません。
- プログラム再生中 (30 ページ) は、タイムサーチ機能が働きません。

3 数字ボタン(1~10)を使って時間を入力する

指定した時間がプルダウンメニューに表示されます。DVDビデオでは「時・分・秒」で、オーディオCDやビデオCDでは「分・秒」で指定します。

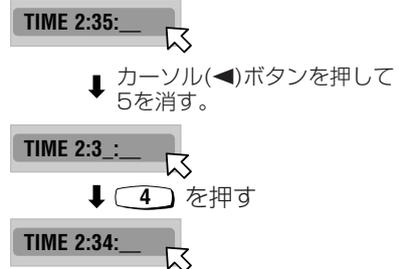


※ この機能で は使いません。また はこの操作に限って と同じ動きをします。

例: DVDビデオを2時間34分から再生するとき

- 時間を間違えた場合
間違えた数字が消えるまでカーソル(左右)ボタンを押し、数字ボタンで正しい時間を入力し直してください。

例: 2時間34分を間違えて2時間35分と押したとき



4 決定ボタンを押す

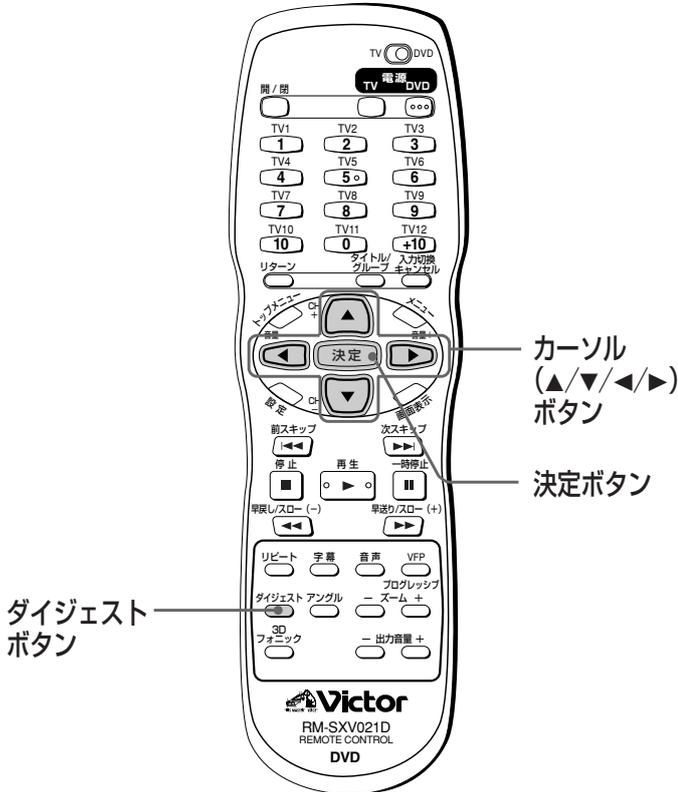
指定した時間から再生が始まります。

- メニューバーを消すには
画面表示ボタンを押します。

ダイジェスト画面から選ぶ [ダイジェスト]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です

DVDビデオの各タイトル／チャプター、あるいはビデオCDの各トラックの最初の場面を一覧表示して、その中から見たい場面を選ぶことができます。



〈お知らせ〉

- ダイジェスト画面右下に表示された場面を選んでいるとき、カーソル(▶)ボタンを押すと次のページが表示されます。
- ダイジェスト画面左上に表示された場面を選んでいるとき、カーソル(◀)ボタンを押すと前のページが表示されます。

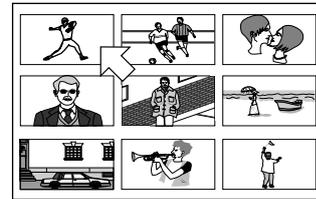
《DVDビデオ : 停止中、または再生中に》
 《ビデオCD : 停止中、またはPBCオフで再生中に》

1 ダイジェストボタンを押す

DVDビデオ停止中 : 各タイトルの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

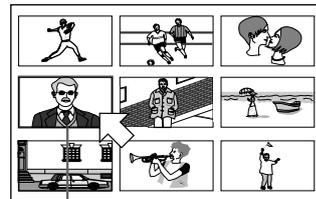
DVDビデオ再生中 : 現タイトル内の各チャプターの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

ビデオCD停止中、または再生中 : 各トラックの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。



いろいろ再生のしかた

2 カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタンを使って を見たい場面を合わせる



選んでいる場面

収録されているタイトル、チャプター、あるいはトラックが9つより多くある場合はダイジェスト画面が2ページ以上になります。この場合、▶▶ボタンを押すと次ページが表示されます。

前のページに戻りたいときは◀◀ボタンを押します。

3 決定ボタンを押す

選んだ場面から再生が始まります。

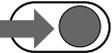
〈お知らせ〉

- ディスクによってはダイジェスト画面が表示されるのに時間がかかることがあります。

順番を変えて再生する

オーディオ CD やビデオ CD の再生順を自由に決めたり、ランダム（無作為）な順番で再生することができます。

TV/DVD 切換スイッチについて

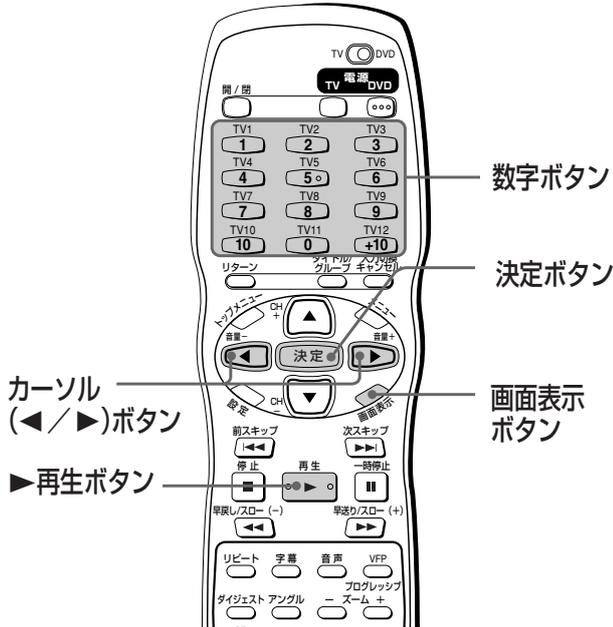
TV  DVD

カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

順番を決めて再生する [プログラム再生]

オーディオ CD ビデオ CD で使える機能です

再生するトラックの順番を、最大99トラックの範囲で自由に決めることができます。同じトラックを2回以上再生することもできます。



3 数字ボタンを使って再生したい順にトラック番号を選ぶ

数字ボタンの使いかた

- 1～10を選ぶには
その番号の数字ボタンを直接押す。
- 11以上を選ぶには
+10ボタンを先に押してから1～10のボタンを押す。

例：13番を選ぶには **+10** → **3**
 24番を選ぶには **+10** → **+10** → **4**
 30番を選ぶには **+10** → **+10** → **10**
 または **+10** → **+10** → **+10** → **0**

《停止中に》

1 画面表示ボタンを2回押す

メニューバーが表示されます。
(メニューバー  39 ページ)

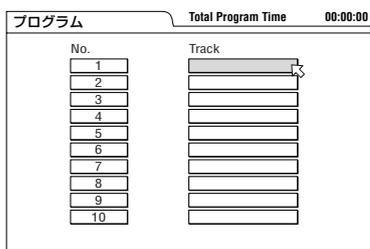
2 カーソル (◀/▶) ボタンを使って **PROG.** に合わせ、決定ボタンを押す

プログラム設定画面が表示されます。

ビデオ CD の場合



↓ 決定ボタンを押す



10キーでプログラムしてください
キャンセルボタンで1つ削除、■で全削除します

本体の表示窓の「PROGRAM」が点灯します。

99トラックまで設定することができます。また、一度選んだトラックをもう一度選ぶこともできます。

プログラム設定画面の右上に総プログラム時間が表示されます。

選択例

プログラム		Total Program Time	00:25:12
No.	Track	総プログラム時間	
△ 1	1		
2	5		
3	4		
4	2		
5	3		
6	4		
7	6	選択したトラック番号	
8			

- プログラムの設定を間違えたときは
カーソル(▲/▼)ボタンを使って  を間違えたトラック番号に合わせ、入力切換/キャンセルボタンを押すと、選択されたトラック番号が消去されます。

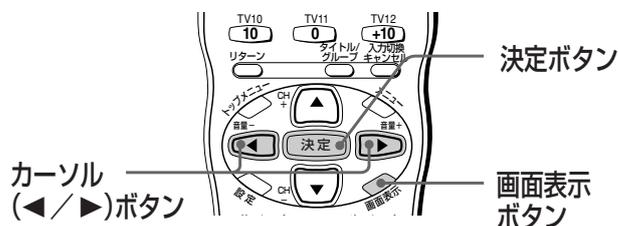
- プログラム中にプログラムをクリアするには
■停止ボタンを押します。

 **31** ページへ続く

無作為な順番で再生する [ランダム再生]

オーディオ CD ビデオ CD で使える機能です

ランダム再生では、本機がトラックの順番をランダム（無作為）に再生します。



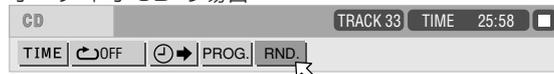
《停止中に》

1 画面表示ボタンを2回押す

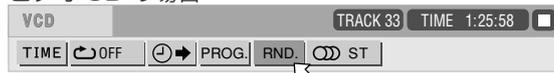
メニューバーが表示されます。
(メニューバー ← 39 ページ)

2 カーソル (◀/▶) ボタンを使って RND. に合わせる

オーディオ CD の場合



ビデオ CD の場合



3 決定ボタンを押す

ランダムな順番で再生が始まります。
ビデオ CD ではランダム再生を開始すると、メニューバーが自動的に消えます。
ランダム再生のモード中は、本体の表示窓の「RANDOM」が点灯します。

● ランダム再生を途中でやめるには

■ 停止ボタンを押します。再生が停止するとともに、表示窓の「RANDOM」が消えてランダム再生のモードを解除します。

● ランダム再生中にランダム再生のモードを解除するには

ランダム再生中に手順 1～3 を行くと、ランダム再生が解除され、現在再生しているトラックから通常の順番で再生します。

また次の操作をしてもランダム再生のモードが解除されません。

- ・ ディスクトレイを開ける。
- ・ 電源を切る。

● メニューバーを消すには

画面表示ボタンを押します。

〈お知らせ〉

- すべてのトラックを一回ずつ再生すると停止し、ランダム再生のモードが解除されます。
- 一回のランダム再生で同じ曲が何回も再生されることはありません。

4 ▶ 再生ボタンを押して再生する

プログラムした順番で再生が始まります。
プログラムされたトラックの再生が終わると停止しますが、プログラムの設定は残ります。

ビデオ CD では、プログラム再生開始とともにプログラム設定画面が自動的に消えます。

オーディオ CD の場合は、再生を開始してもプログラム設定画面は残りますが、画面表示ボタンを押すとステータスバーが表示されます。

いずれの場合もプログラム再生が終わると、プログラム設定画面が再表示されます。

● プログラム再生を中止するには

■ 停止ボタンを押します。プログラムの設定は残ります。

- 再生中にプログラムの内容を確認したい場合はオーディオ CD のプログラム再生中にプログラム設定画面が消えているときは、手順 1～3 を行ってプログラム設定画面を表示させることができます。ビデオ CD の場合は、再生中にプログラム設定画面を表示することはできません。■ 停止ボタンを押して再生を停止し、プログラム設定画面を表示させます。

● プログラムの内容をクリアするには

再生が停止中で、プログラム設定画面が表示された状態で ■ 停止ボタンを押します。

● プログラム再生のモードを解除するには

全てのプログラム内容をクリアした状態で画面表示ボタンを押すと、プログラム設定画面が消えてステータスバーが表示されます。このとき、本体の表示窓の「PROGRAM」が消え、プログラム再生のモードが解除されます。

また次の操作をしてもプログラム再生のモードが解除されません。

- ・ ディスクトレイを開ける。
- ・ 電源を切る。

〈お知らせ〉

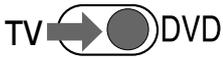
- プログラム再生中に ▶▶ ボタンを押すと、次にプログラムされているトラックにスキップし、◀◀ ボタンを押すと再生中のトラックの頭に戻ります。

いろいろ再生のしかた

くり返し再生する

再生中のチャプターやタイトル(DVDビデオ)、再生中のトラックや全トラック(オーディオCD/ビデオCD)をくり返して再生することができます[リピート]。また、ある一部分をくり返し再生ことができます[A-Bリピート]。

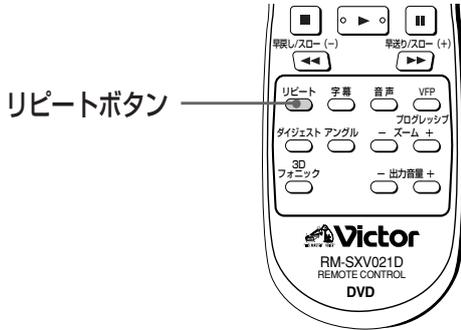
TV/DVD 切換スイッチについて



カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返す[リピート]

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です



- 《DVDビデオ》 :再生中に》
- 《オーディオCD》 :いつでも》
- 《ビデオCD》 :停止中、またはPBCオフで再生中に》

テレビ画面と本体の表示窓のリピートモード表示の関係は、下の表のようになります。

ディスクの種類	リピートモード	表示窓
DVDビデオ	タイトル	🔄
	チャプター	🔄1
	オフ	表示なし
オーディオCD / ビデオCD	オール	🔄
	トラック	🔄1
	オフ	表示なし

ディスク再生中は選択したリピートモードの再生に切り換わります。

ディスクが停止中のときは▶再生ボタンを押すと、選択したリピートモードで再生を開始します。

- **リピート再生をやめるには**
■停止ボタンを押します。
DVDビデオの場合、再生を停止すると同時にリピートモードの設定も解除されます。オーディオCDやビデオCDの場合、再生を停止しますがリピートモードの設定は解除されません。
- **リピートモードの設定を解除するには**
リピートボタンを押してリピートモード選択表示画面から「OFF」を選びます。このとき表示窓のリピートモード表示も消えてリピートモードが解除されます。

1 リピートボタンを押す

テレビ画面にリピートモード選択表示画面が表示されます。

(リピートモード選択表示の例)

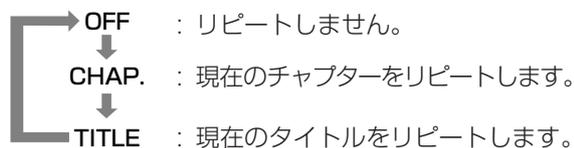


選択されたリピートモード

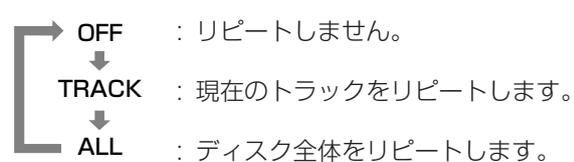
リピートボタンを押すごとにリピートモードが切り換わります。

リピートモード表示はディスクによって以下のように異なります。

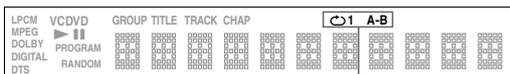
DVDビデオの場合



オーディオCD、ビデオCDの場合



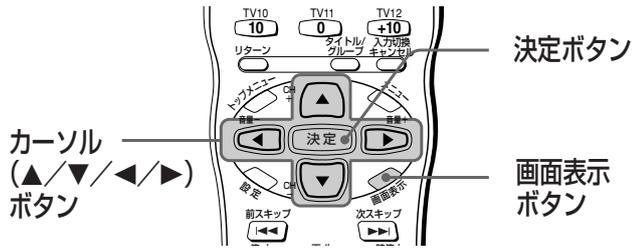
リピートモード中は本体の表示窓のリピートモード表示が点灯します。



リピートモード表示位置
*「A-B」はA-Bリピートモード時に点灯します。📖 33 ページ

指定した範囲をくり返し再生する [A-B リポート]

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です



《再生中に》

1 画面表示ボタンを2回押す

メニューバーが表示されます。
(メニューバー参照 39 ページ)

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って を

に合わせ、決定ボタンを押す
リピートモードを選ぶプルダウンメニューが表示されます。

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使って A-B リポートモードを選ぶ

カーソル(▲/▼)ボタンを押すごとにリピートモードが切りかわります。

DVDビデオの場合

- オフ : リピートしません。
- ↓
- チャプター : 現在のチャプターをリピートします。
- ↓
- タイトル : 現在のタイトルをリピートします。
- ↓
- A-B : 指定した範囲をリピートします。



A-B リポートモード表示

オーディオCD、ビデオCDの場合

- オフ : リピートしません。
- ↓
- トラック : 現在のトラックをリピートします。
- ↓
- ALL : ディスク全体をリピートします。
- ↓
- A-B : 指定した範囲をリピートします。

オーディオCDの場合



A-B リポートモード表示

4 くり返したい部分の頭で、決定ボタンを押す(Aポイント)

プルダウンメニューが消え、メニューバーのリピートアイコンが と表示されます。

DVDビデオの場合



リピートアイコン

本体表示窓のリピートモード表示(参照 32 ページ)が「A-」と点灯します。

5 くり返したい部分の終わりまで、決定ボタンを押す(Bポイント)

メニューバーのリピートアイコンが と表示され、AポイントBポイント間のリピート再生が開始されます。

A-Bリピート再生中は、本体表示窓のリピートモード表示(参照 32 ページ)が「A-B」と点灯します。

- A-Bリピートの設定を解除するには
 - 停止ボタンを押すと、再生を停止し、設定を解除します。またはカーソル(◀/▶)ボタンを使って画面上の に を合わせ、決定ボタンを押すと、プルダウンメニューが表れ、「オフ」と表示されます。このときもう一度決定ボタンを押します。リピートアイコンが になり、プルダウンメニューが消えて、設定は解除されるとともに通常の再生を続けます。
 - ▶ または ◀ ボタンを押しても、A-Bリピートの設定が解除されます。
- メニューバーを消すには
画面表示ボタンを押します。

〈お知らせ〉

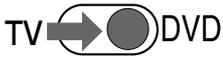
- が表示されたときは…
そのディスクでは A-B リポート機能が使えません。
- タイトル、またはトラックをまたがる A-B リポートはできません。
- プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中は、A-B リポートができません。

いろいろ
再生の
しかた

字幕/音声やカメラアングルを切り換える

DVDビデオの中には複数の字幕言語や音声言語/サウンドや複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)が複数収録されているものがあります。それらの中から希望する言語/サウンド/アングルを選ぶことができます。ビデオCDの場合オーディオチャンネルを切り換えることによって、カラオケの歌あり/なしなどを選ぶことができます。

TV/DVD切換スイッチについて

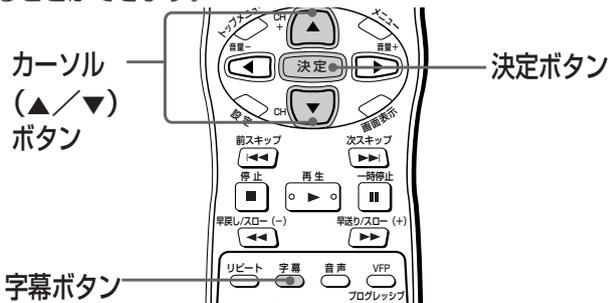


カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

字幕を切り換える[字幕言語]

DVDビデオ で使える機能です

複数の字幕が収録されている箇所の冒頭で、画面に  が表示されます(オンスクリーンガイドがオフのときは表示されません。☞ **55** ページ)。このとき字幕を選んで再生することができます。



《再生中に》

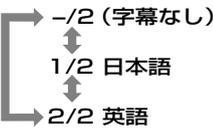
1 字幕ボタンを押す
テレビ画面に字幕選択表示が表れます。



字幕選択表示

2 カーソル(▲/▼)ボタン、または字幕ボタンを使って表示したい字幕を選ぶ
押すごとに字幕の言語が切り換わります。

例:



-/2 (字幕なし)
1/2 日本語
2/2 英語

3 決定ボタンを押す
選んだ字幕がテレビ画面に表示されます。
DVDビデオ再生中、メニューバーのプルダウンメニューに表示される字幕言語は、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。それ以外は言語コードで表示されます。☞ **51** ページ

- **字幕選択表示を消すには**
決定ボタンを押します。また数秒間何も操作しないと、自動的に消えます。

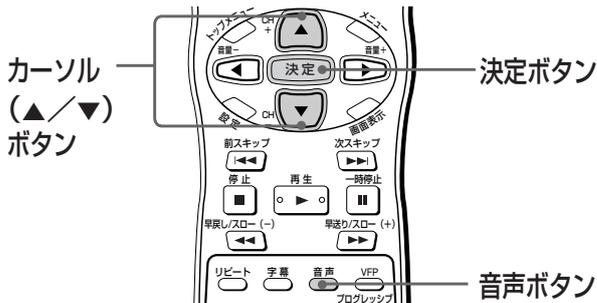
〈お知らせ〉

-  が表示されたときは・・・
DVDビデオに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- メニューバーで字幕を切り換えることもできます。
☞ **40** ページ

音声を選ぶ[音声言語/音声]

DVDビデオ **ビデオCD** で使える機能です

複数の音声(音声言語/音声)が収録されている箇所の冒頭で、画面に  が表示されます(オンスクリーンガイドがオフのときは表示されません。☞ **55** ページ)。このとき音声を選んで再生することができます。



《再生中に》

1 音声ボタンを押す
テレビ画面に音声選択表示が表れます。



音声選択表示

2 カーソル(▲/▼)ボタン、または音声ボタンを使って音声を切り換える
押すごとに音声(音声言語/音声)が切り換わります。

DVDビデオの場合 ビデオCDの場合

例:



1/2 日本語
2/2 英語

ST (ステレオ)
L (左の音声)
R (右の音声)

3 決定ボタンを押す
選んだ音声で再生されます。
DVDビデオ再生中、メニューバーのプルダウンメニューに表示される音声言語は、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。それ以外は言語コードで表示されます。☞ **51** ページ

- **音声選択表示を消すには**
決定ボタンを押します。また数秒間何も操作しないと、自動的に消えます。

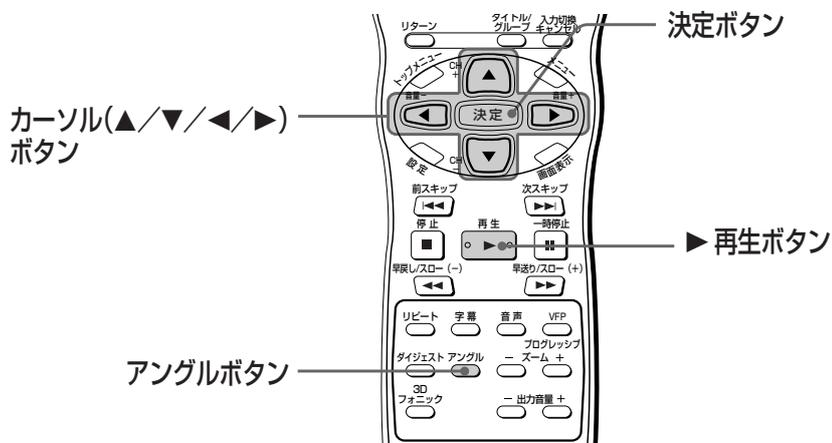
〈お知らせ〉

-  が表示されたときは・・・
ディスクに複数の音声言語が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- メニューバーで音声を切り換えることもできます。
☞ **40** ページ

カメラアングルを切り換える[アングル]

DVD
ビデオ で使える機能です

マルチアングル収録された個所の冒頭で、テレビ画面に  が表示されます(オンスクリーンガイドがオフのときは表示されません。 [55](#) ページ)。このときアングルを選んで再生することができます。



アングル選択ウィンドウからアングルを選ぶ

《再生中に》

1 アングルボタンを押す

テレビ画面にアングル選択表示が表れます。

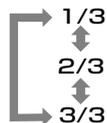


アングル選択表示

2 カーソル(▲/▼)ボタンを使って見たいアングルを選ぶ

カーソル(▲/▼)ボタンを押すごとにアングルが変わります。

例:



3 決定ボタンを押す

選んだアングルで再生されます。

- アングル選択表示を消すには
手順3で決定ボタンを押すと消えます。また数秒間何も操作しないと、自動的に消えます。

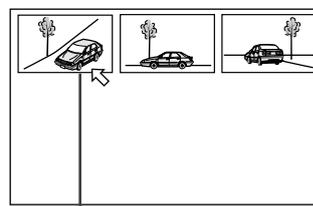
アングルリストからアングルを選ぶ

《再生中に》

1 アングルボタンを1秒以上押し続ける

画面上にアングル一覧(最大9アングル)が表示されます。

2 カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタンを使って、 を見たいアングルに合わせる



選んでいるアングル

3 決定ボタン(または▶再生ボタン)を押す

選んだアングルで再生されます。

〈お知らせ〉

-  が表示されたときは…
再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。
- アングル選択中、音声は消えますが、再生は続いています。
- メニューバーでアングルを切り換えることもできます。 [40](#) ページ

いろいろな再生のしかた

画像や音声にアレンジを加える

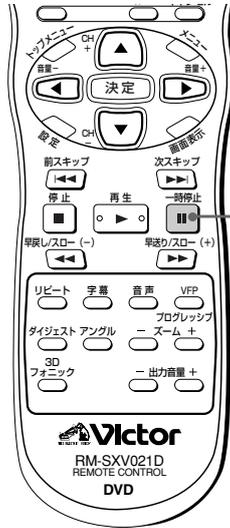
TV/DVD切換スイッチについて



カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

連続写真のように表示する[ストロボ]

DVD ビデオ ビデオ CD で使える機能です

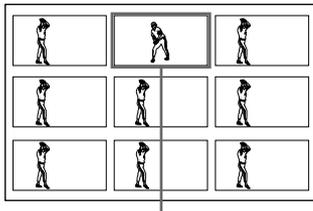


一時停止ボタン

《一時停止中に》

1 一時停止ボタンを1秒以上押し続ける
9つの静止画像が表示されます。このとき、画面は9つとも同じですが、下の手順で一つずつ先のフィルムに送ることができます。

2 一時停止ボタンを「ポン」と押す
1番上の中央のフレームが先に進みます。くり返し一時停止ボタンを押すと、その他のフレームも順番に進みます。



一つ先のフレーム

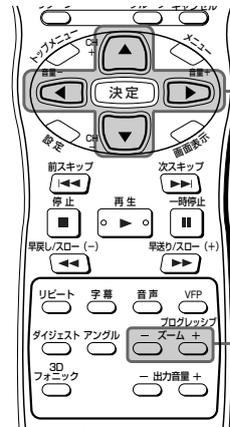
- ストロボ再生を解除するには
一時停止ボタンを1秒以上押すと、通常の一時的停止画面に戻ります。このとき再生ボタンを押すと、通常の画面で再生を続けます。

〈お知らせ〉

- ストロボ画面を表示中に再生ボタンを押すと、連続してストロボ画面を送ります(このとき音声は消えます)。
- 再生中に一時停止ボタンを1秒以上押し続けると、連続した9つの画面となって再生を続けます(このとき音声は消えます)。

画面を拡大/縮小する[ズーム]

DVD ビデオ ビデオ CD で使える機能です



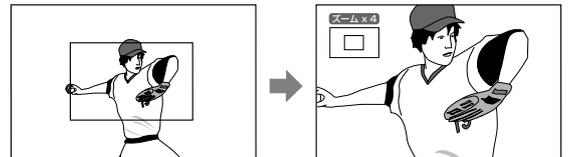
カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン

ズーム(+,-)ボタン

《再生中、または一時停止中に》

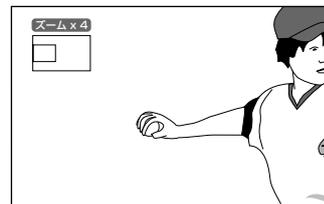
1 ズーム(+,-)ボタンを押す

ズーム(+)ボタンを押すと画面の中央部が拡大され、ズーム(-)ボタンを押すと画面が縮小されます。ズーム(+)ボタンを押すごとに2倍ずつ拡大され、最大で1024倍になります。ズーム(-)ボタンを押すごとに1/2ずつ縮小され、最小で1/8になります。



画面の左上部に現在の倍率が、ズームインしている画面上の位置とともに表示されます。ズーム倍率が2倍以上のとき、ズームしている位置を動かすことができます。ズームイン位置を動かすには以下の操作を行います。

2 カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタンを使って拡大したい部分を選ぶ



- ズームを解除するには
決定ボタンを押します。

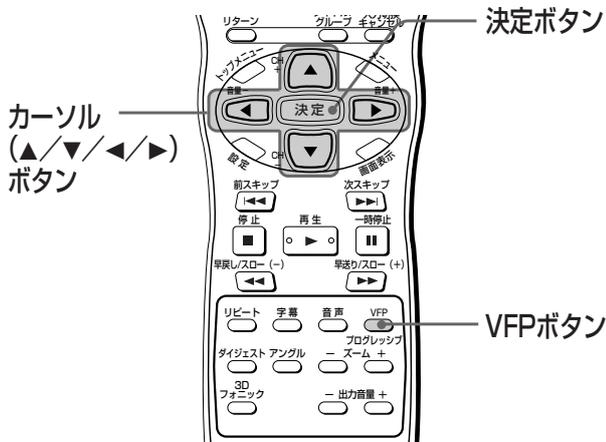
〈お知らせ〉

- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

画質を調節する[VFP]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です

VFP(Video Fine Processing)機能(用語集 68 ページ)を使うことにより、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。



《再生中に》

1 VFPボタンを「ポン」と押す

テレビ画面にVFPモード選択表示が表れます。



現在選択されている VFP モード

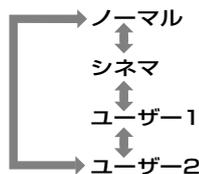
設定項目

〈お知らせ〉

- 本体背面のスキャンモード切替スイッチが「リモコン切替」に設定されているとき、VFPボタンを数秒間押し続けると、スキャンモードの切り換えになります。11~12 ページ

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使ってVFPモードを切り換える

カーソル(◀/▶)を押すごとに以下のようにVFPモードが切り換わります。



- ・ノーマル : ぶつうの部屋で見るときに最適です。
- ・シネマ : 照明を落とした部屋で映画ソフトを見るときに最適です。

VFPモードの「ノーマル」と「シネマ」の詳細設定を変更することはできませんが、「ユーザー設定1」と「ユーザー設定2」の詳細設定は手順3~6の操作で変更することができます。

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使って設定を変えたい項目を選ぶ

設定できる項目

- ガンマ** : 画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。黒が沈みがちなソフトの再生に有効です。調節幅は+4~-4です。
- 明るさ** : 画面の明るさを調節します。調節幅は+16~-16です。
- コントラスト** : 画面のコントラストを調節します。調節幅は+16~-16です。
- 色のこさ** : 画面の色の濃さを調節します。調節幅は+16~-16です。
- 色合い** : 画面の色合いを調節します。肌色が自然な感じになるのが目安です。調節幅は+16~-16です。
- シャープネス** : 画面のシャープさを調節します。調節幅は+3~0です。
- Yディレイ** : 画面の色ズレを調節します。調節幅は+2~-2です。

4 決定ボタンを押す

VFPモード選択表示が消え、選択された項目の設定表示が表れます。

(例)



選択中の設定

設定数値

5 カーソル(▲/▼)ボタンを使って数値を変更する

カーソル(▲)ボタンを押すと数値が大きくなり設定レベルが上がります。カーソル(▼)ボタンを押すと数値が小さくなり設定レベル下がります。

6 決定ボタンを押す

設定表示が消え、VFPモード選択表示が表れます。続けて他の項目を設定したい場合は手順3~6をくり返します。

- VFPモード選択表示を消すには

VFPボタンを押します。

また10秒以上何も操作しないと、VFPモード選択表示は自動的に消えます。

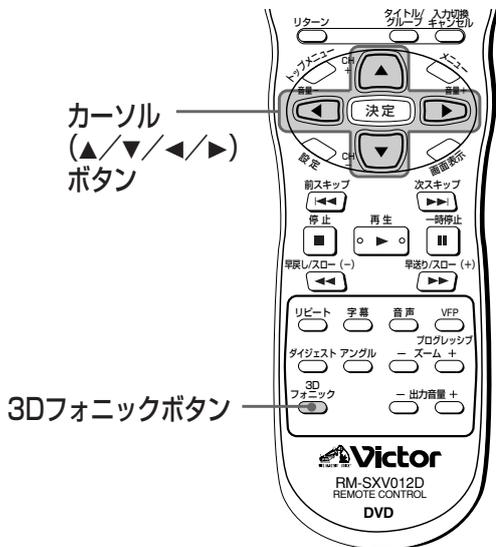
再生のしるな
いろいろ

画像や音声にアレンジを加える(つづき)

サラウンド感を出す [3Dフォニック]

DVD
ビデオ
で使える機能です

スピーカーが2本でも、3Dフォニック(用語集 68 ページ)サラウンドの効果を擬似的に演出することができます。



《再生中に》

1 3Dフォニックボタンを押す

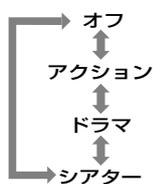
テレビ画面に3Dフォニック表示が表れます。



選択中の設定

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って設定を選ぶ

3Dフォニックボタンを押すごとに、設定が以下のように切り換わります。



アクション:

アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。

ドラマ:

包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。

シアター:

ハリウッドの一流映画の音響効果で楽しめます。

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使って効果レベルを調節する



効果レベル

効果は5段階(1~5)で選べます。

カーソル(▲)ボタンを押すと数値が大きくなり効果が強まります。カーソル(▼)ボタンを押すと数値が小さくなり効果が弱まります。

● 3Dフォニック設定表示を消すには

3Dフォニックボタンを押します。

また10秒以上何も操作しないと、3Dフォニック表示は自動的に消えます。

〈お知らせ〉

- 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの音声に限り正しい効果を得られます。その他のソースでは3Dフォニックボタンを押しても効果が得られません。
- ドルビーデジタルでリアの音声成分が収録されていないDVDビデオの場合、3Dフォニックの設定は切り換えられますが、正しい効果は得られません。
- デジタル音声出力端子から出力されるDVDビデオのドルビーデジタルビットストリーム信号には、3Dフォニックの効果はかかりません。
- 3Dフォニック機能を働かせると、初期設定の「音声設定画面」にある[アナログダウンミックス]、および[Dレンジコントロール]の設定が無効になります。
68 ページ

メニューバーで操作する

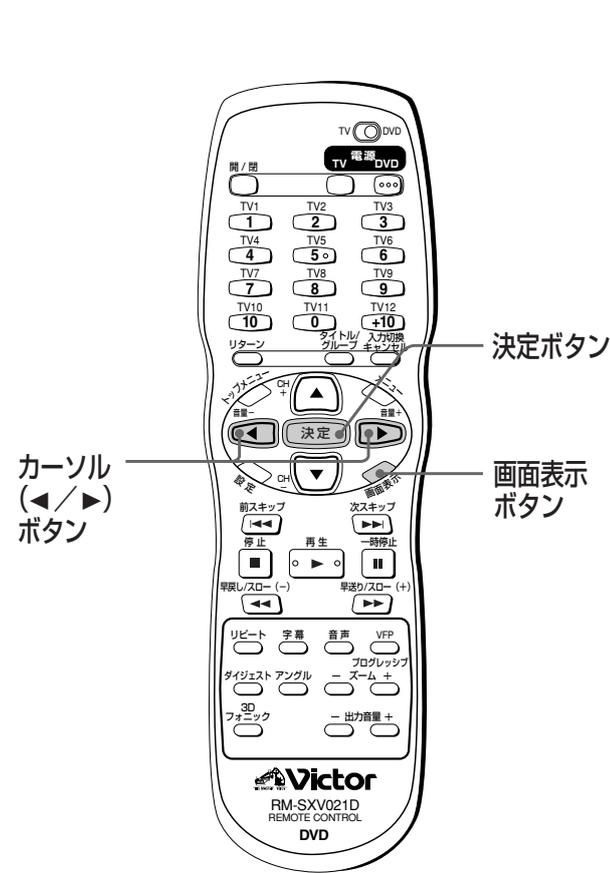
メニューバーを使って行える操作について説明します。メニューバーはディスクの種類によって異なります。

TV/DVD切替スイッチについて

TV  DVD

カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切替/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切替スイッチを「DVD」側に切り換えます。

メニューバーの表示と基本操作



DVDビデオ **オーディオCD** **ビデオCD** で使える機能です

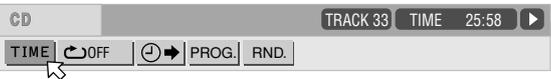
2 画面表示ボタンをもう一度押す

テレビ画面にメニューバーが表示されます。メニューバーはディスクの種類により異なります。メニューバーのアイコンを選んで操作を行います。

DVDビデオの場合



オーディオCDの場合



ビデオCDの場合



いろいろ再生のしかた

《ディスクが入っているとき》

1 画面表示ボタンを押す

ステータスバーがテレビ画面に表示されます (➡ 24 ページ)。ステータスバーはディスクの種類により異なります。

DVDビデオのステータスバーの場合



3 カーソル(◀/▶)ボタンを使ってアイコンを選ぶ

選んだアイコンに  が移動します。選んだアイコンの色が変わります。

4 決定ボタンを押す

ほとんどのアイコンの場合、決定ボタンを押すとプルダウンメニューが表示されます。

(DVDビデオのプルダウンメニュー表示の例)



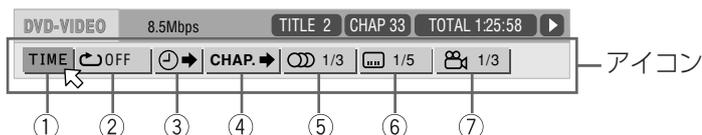
- ・アイコンによってはプルダウンメニューが表示されないものもあります。
 - ・アイコンによってはディスクの再生中には操作できないものもあります。
- 詳しくはそれぞれのアイコンの操作表 (➡ 40～41 ページ) で確認してください。

- **メニューバー、ステータスバーを消すには** 画面表示ボタンを押します。

- 〈お知らせ〉
-  が表示されたときは… ディスクの内容や構成により選んだ機能が使えないことがあります。
 - アイコン上の文字やマークは、その機能が働いているときは青い表示になります。

メニューバーで操作する (つづき)

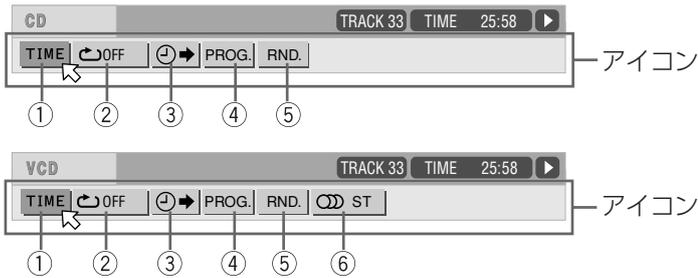
DVDビデオのメニューバーでの操作



DVDビデオのメニューバーで行える操作の一覧です。メニューバーに表示されるアイコンと働き、およびその操作方法を説明します。

アイコン	操作方法	備考
① TIME 時間表示選択 (再生時のみ選択可能) 本体の表示窓、およびステータスバーに表示するディスクの時間情報のモードを選びます。	決定ボタンで時間モードを以下から選ぶ。 TOTAL → T. REM → TIME → REM → (TOTALへ戻り、くり返し) ・ TOTAL : 再生中のタイトルの経過時間 ・ T. REM : 再生中のタイトルの残り時間 ・ TIME : 再生中のチャプターの経過時間 ・ REM : 再生中のチャプターの残り時間	・ ディスクに収録されているタイトル、チャプターが一つの場合、「TOTAL」、「TIME」に表示される時間は同じになります。
② リPEAT リピートモード リピートモードを選びます。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. カーソル(▲/▼)ボタンを使ってリピートモードを以下から選ぶ。 オフ ↔ チャプター ↔ タイトル ↔ A-B ・ オフ : リPEATなし ・ タイトル : 現在のタイトルをリPEAT ・ チャプター : 現在のチャプターをリPEAT ・ A-B* : 指定した間をリPEAT *「A-B」は再生中のみ選択できます。 3. 決定ボタンを押す。 再生中は選択されたリPEATモードで再生します。 停止中は決定ボタンを押したあとに▶再生ボタンを押して、選択されたリPEATモードで再生を開始します。	・ リPEAT再生中にリPEATモードを「なし」にすると、リPEAT再生は中止されますが、再生は続きます。 ・ 詳しくは 32 ページをご覧ください。 ・ A-BリPEATについては 33 ページをご覧ください。
③ タイムサーチ タイトルの再生を開始する時間を設定します。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. 数字ボタンを使って時間を指定する。 3. 決定ボタンを押すと、指定した時間から再生します。	・ 表示窓に指定した時間が表示されます。 ・ 詳しくは 28 ページをご覧ください。
④ CHAP. チャプターサーチ 再生するチャプターを選びます。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. 数字ボタンを使って再生したいチャプター番号を選ぶ。 ・ 数字ボタンの使用例: 12を入力するとき: 1 → 2 と入力 ・ チャプター番号を間違ったら… 正しい番号を入力し直します。 3. 決定ボタンを押すと、選択したチャプターから再生します。	・ +10 ボタンは使えません。 ・ 再生中に数字ボタンを使ってチャプターを直接選ぶこともできます。 21 ページ
⑤ 音声言語 (再生時のみ選択可能) 音声言語/音声を選びます。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. カーソル(▲/▼)ボタンを使って音声言語/音声を選ぶ。 例: 日本語 ↔ 英語 3. 決定ボタンを押すと、選択した音声で再生します。	・ 英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外の言語は言語コードで表示されます。 (言語コード 51 ページ) ・ 音声言語については 34 ページもご覧ください。
⑥ 字幕言語 (再生時のみ選択可能) 字幕言語を選びます。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. カーソル(▲/▼)ボタンを使って字幕言語を選ぶ。 例: 日本語 ↔ 英語 3. 決定ボタンを押すと、選択した字幕で再生します。	・ 字幕言語については 34 ページもご覧ください。
⑦ アングル (再生時のみ選択可能) アングルを選びます。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. カーソル(▲/▼)ボタンを使ってアングルを選ぶ。 例: 1/3 ↔ 2/3 ↔ 3/3 3. 決定ボタンを押すと、選択したアングルで再生します。	・ アングルについては 35 ページもご覧ください。

オーディオ CD/ビデオ CD のメニューバーでの操作



オーディオ CD、またはビデオ CD のメニューバーで行える操作の一覧です。
メニューバーに表示されるアイコンと働き、およびその操作方法を説明します。

アイコン	操作方法	備考
① TIME 時間表示選択 本体の表示窓、およびステータスバーに表示するディスクの時間情報のモードを選びます。	決定ボタンで時間モードを以下から選ぶ。 TIME → REM → TOTAL → T.REM → (TIME へ戻り、くり返し) ・ TIME : 再生中のトラックの経過時間 ・ REM : 再生中のトラックの残り時間 ・ TOTAL : ディスクの頭からの経過時間 ・ T.REM : ディスクの残り時間	・ 停止中に「REM」を選んで、◀◀、▶▶ボタンでトラックを変更すると、各トラックの収録時間を表示します。また停止中に「T.REM」を選ぶと、ディスクの収録時間を表示します。
② リPEATモード リピートモード リピートモードを選びます。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. カーソル (▲/▼) ボタンを使ってリピートモードを以下から選ぶ。 オフ ↔ トラック ↔ ALL ↔ A-B ・ オフ : リピートなし ・ トラック : 現在のトラックをリピート ・ ALL : ディスク全体をリピート ・ A-B* : 指定した間をリピート *「A-B」は再生中のみ選択できます。 3. 決定ボタンを押す。 再生中は選択されたリピートモードで再生します。 停止中は決定ボタンを押したあとに▶再生ボタンを押して、選択されたリピートモードで再生を開始します。	・ リPEAT再生中にリピートモードを「なし」にすると、リピート再生は中止されますが、再生は続きます。 ・ 詳しくは 32 ページをご覧ください。 ・ A-Bリピートについては 33 ページをご覧ください。
③ タイムサーチ (ビデオ CD の PBC 再生を除く再生時のみ選択可能) タイトルの再生を開始する時間を設定します。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. 数字ボタンを使って時間を指定する。 3. 決定ボタンを押すと、指定した時間から再生します。	・ プログラム再生中は使えません。 ・ 表示窓に指定した時間が表示されます。 ・ 詳しくは 28 ページをご覧ください。
④ PROG. プログラム (停止中のみ選択可能) トラックの再生順序を決めます。	1. 決定ボタンを押し、プログラム画面を表示させる。 2. 数字ボタンを使って再生したい順序でトラックを選ぶ。 3. ▶再生ボタンを押すと、プログラム再生を開始します。	・ 表示窓に「PROGRAM」と表示されます。 ・ 詳しくは 30 ページをご覧ください。
⑤ RND. ランダム (停止中のみ選択可能) ランダム再生 (無作為な順序での再生) を設定します。	1. 決定ボタンを押してランダム再生を開始する。	・ 表示窓に「RANDOM」と表示されます。 ・ 詳しくは 31 ページをご覧ください。
⑥ 音声 (ビデオ CD の再生時のみ選択可能) オーディオチャンネルを選びます。	1. 決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる。 2. カーソル (▲/▼) ボタンを使ってオーディオチャンネルを選ぶ。 3. 決定ボタンを押すと、選択したオーディオチャンネルで再生します。	・ 詳しくは 34 ページをご覧ください。

再生のいろいろ

MP3ディスクの操作

TV/DVD切換スイッチについて



カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

MP3は、少ないデータ容量で高音質のステレオデータを記録することのできる記録方法です(用語集 68 ページ)。本機はMP3フォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます(本取扱説明書ではこれらのディスクを「MP3ディスク」と呼んでいます)。

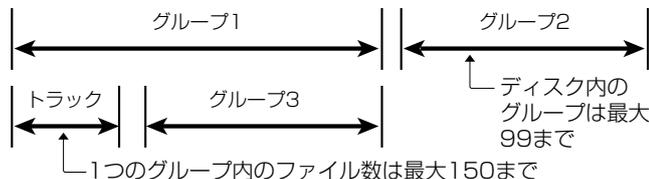
MP3ディスクの場合、本機で利用できる機能は限られていますが、その操作はオーディオCDの場合の操作に似ています。MP3ファイルとJPEGファイルの両方を含むディスクの場合、初期設定の「映像設定画面」で[MP3/JPEGファイル選択]から設定されたファイルを再生します。(53 ページ)

MP3ディスクについて

MP3ディスクには、それぞれの曲が各「ファイル」として記録されています。また一般的に、複数のトラックをカテゴリー別、アーティスト別などの「フォルダ」にまとめて分類してあります。またフォルダの中にフォルダを作って、フォルダを階層構造にすることができます。このフォルダ階層はパソコンにおけるフォルダの階層構造と同じです。

なお、本機ではファイルをトラック、フォルダをグループとして扱います。

- ファイルはトラックとして扱います。
- 1つ以上のファイル(トラック)を含むフォルダはグループとして扱います。
- フォルダの中にファイルを含まないフォルダは認識されません。
- フォルダに属さないファイルはグループ1のファイルとして扱われます。
- 本機は各グループ内に最大150トラック、ディスク内に最大99グループを扱うことができます。これらを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。また、グループ内にMP3以外のファイルが含まれるときは、本機が認識できるMP3トラックの数が150を下回ることがあります。

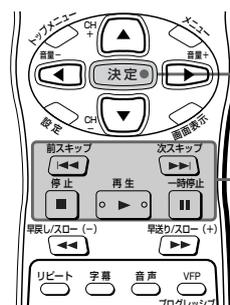


〈お知らせ〉

- トラックのプログラム再生、およびランダム再生はできません。
- ディスクの記録状態や特性により再生できない場合や、読み取りに時間がかかることがあります。
- ISO9660フォーマットで記録されたMP3ディスクに限り再生できます。また、パケットライト方式で記録されたディスクは、再生できません。
- マルチセッションで記録されたディスクは、最大5セッションまで再生することができます。
- 録音が終わったらファイナライズしてください。ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- 「.MP3」「.mP3」「.Mp3」「.mp3」の拡張子のついたMP3トラック(ファイル)に限り再生できます。
- ディスク内容の読み取りにかかる時間は、記録されているグループやフォルダの数により異なります。
- 本機にMP3ディスクが入っているときは、初期設定画面(50 ページ)が表示できません。
- 録音する際のMP3のエンコードソフトやライティングソフトによっては、ディスクの再生ができなかったり、特定のトラックが正常に再生できないことがあります。

基本操作

MP3で使える機能です



基本操作で使うボタン

基本操作ボタンの機能を以下の表にまとめます。

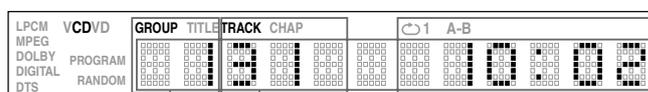
ボタン	機能
決定	停止中に押すと再生を始めます。
再生	停止中、または一時停止中に押すと再生を始めます。
停止	再生を停止します。
一時停止	再生を一時停止します。
前スキップ 次スキップ	再生中に押すとグループ内の前後のトラックに移動し、再生を続けます*。停止中に押すとグループ内の前後のトラックを選曲します**。

* グループをまたいだ前後のトラックを選択することもできます。

** 再生停止後、▶再生ボタンを押すと現在のトラックの頭から再生を開始します。

● カーソル(▲/▼)ボタンは◀◀、▶▶ボタンと同じ働きをします。

現在のグループ/トラックは、以下のように本体の表示窓上に表示されます。



現在のグループ番号 現在のトラック番号 現在のトラック経過時間

〈お知らせ〉

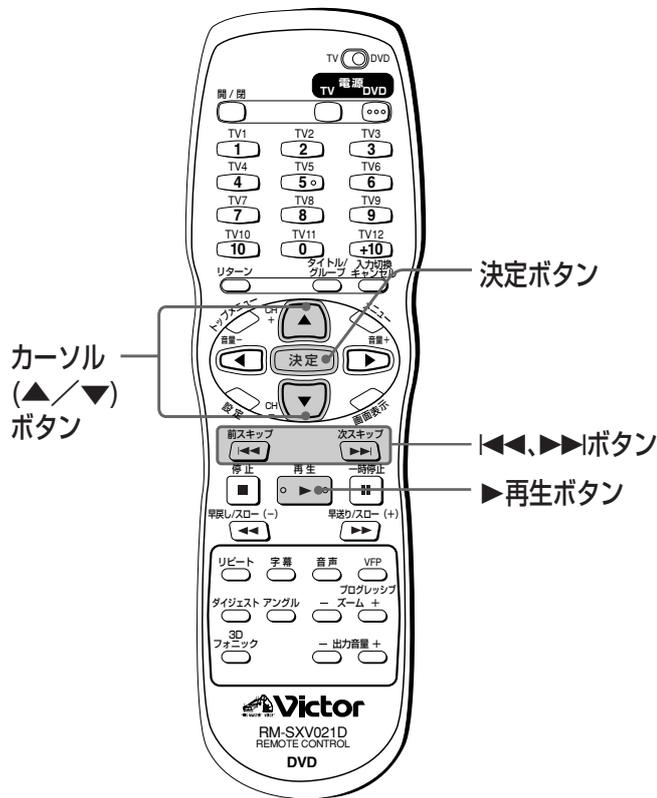
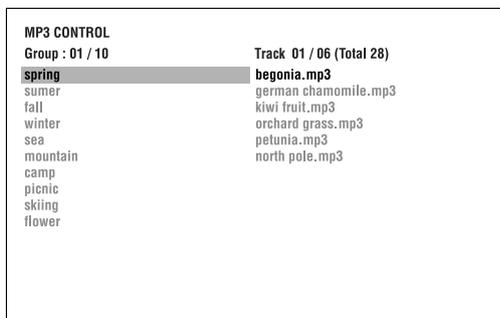
- MP3ディスクの場合、早送り/早戻し再生ができません。
- ディスクにMP3以外のファイルが収録されている場合、それらは表示されません。
- 現在のトラック経過時間以外の時間情報は表示できません。

再生するグループやトラックを指定する

MP3 で使える機能です

MP3 ディスクをセットすると、ディスクを読み込んだ後に、MP3 コントロール画面が自動的にテレビに表示されます。この画面から再生するグループやトラックを指定することができます。

(MP3 コントロール画面)



〈お知らせ〉

- 各グループ/トラックの名前は、半角英数字で最大32文字まで、MP3コントロール画面に表示されます。ただし、漢字、ひらがな、カタカナ、および全角英数字が使用されていると、正しく表示されないことがあります。
- MP3コントロール画面に表示できるのはMP3形式のファイルだけです。
- MP3コントロール画面に表示されるグループ/トラック名の表示順序は、パソコンのMP3再生ソフトなどでパソコンの画面に表示したときの表示順序と異なることがあります。
- MP3ディスクを取り出すと、MP3コントロール画面は消えます。

《MP3コントロール画面が表示されているときに》

1 グループリストが選択されていることを確認する

トラックリストが選択されている場合は、カーソル(◀)ボタンでMP3コントロール画面のグループリストへ移動してください。

2 カーソル(▲/▼)ボタンを使って再生したいグループを選ぶ

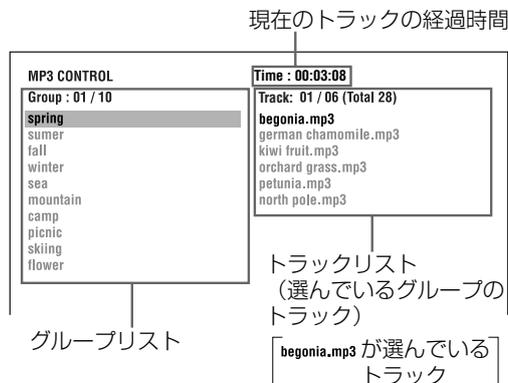
カーソル(▲/▼)ボタンが選択したグループへ移動します。選んだグループ内の最初のトラックが自動的に選択されます。

3 ▶▶または◀◀ボタンを使ってトラックを選ぶ

選んだトラックの色が変わります。手順2でカーソル(▶)ボタンを押すと、カーソル(▶)がトラックリストに移動します。このときカーソル(▲/▼)ボタンを押してトラックを選ぶこともできます。

▶▶または◀◀ボタンの代わりに数字ボタンを使ってトラックを指定することもできます。

MP3コントロール画面の表示例



4 決定ボタン、または▶再生ボタンを押す

選択したトラックから再生を開始します。再生中、本体の表示窓に現在のグループ/トラック番号と、トラックの演奏時間が表示されます。

42 ページ

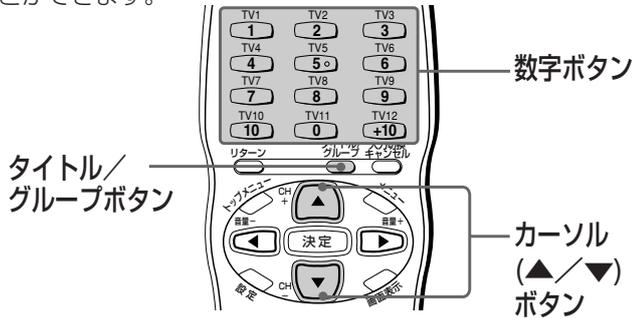
MP3 ディスクの再生

MP3 ディスクの操作 (つづき)

グループを直接選ぶ

MP3 で使える機能です

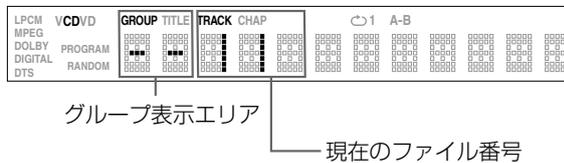
タイトル／グループボタンを使って、グループを直接選ぶことができます。



《再生中または停止中》

1 タイトル／グループボタンを押す

本体の表示窓に「--」が表示されます。
(表示窓の例)



グループ表示エリア

現在のファイル番号

2 数字ボタンを使ってグループを指定する

MP3コントロール画面のグループリストに表示される順番で指定できます。➡ 43 ページ

数字ボタンの使いかた

- 1～10 を選ぶには
その番号の数字ボタンを直接押す。
- 11 以上を選ぶには
+10 ボタンを先に押してから 1～10 のボタンを押す。

例: 13番を選ぶには **+10** → **3**

24番を選ぶには **+10** → **+10** → **4**

30番を選ぶには **+10** → **+10** → **10**

または **+10** → **+10** → **+10** → **0**

本体の表示窓に「--」が表示されている間に指定します。「--」表示が消えてしまったときは、再度タイトル／グループボタンを押して操作をやり直してください。

3 数字ボタンを使ってトラックを指定する

MP3コントロール画面のトラックリストに表示される順番で指定できます。➡ 43 ページ

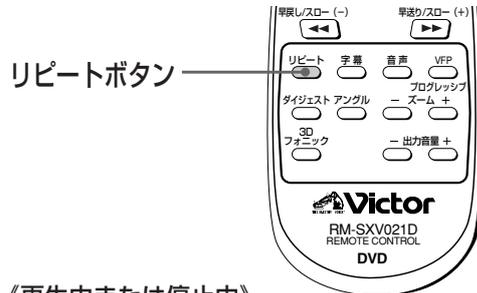
指定したトラックから再生が始まります。トラックの指定を省略すると、グループの最初のトラックから再生が始まります。

数字ボタンの代わりに◀▶ボタン、またはカーソル(▲/▼)ボタンでトラック番号を選ぶこともできます。

リピート再生

MP3 で使える機能です

トラックまたはグループ内をくり返し再生することができます。



《再生中または停止中》

1 リピートボタンを押す

リピートボタンを押すごとにリピートモードが切り換わります。ディスク再生中は選択したリピートモードの再生に切り換わります。

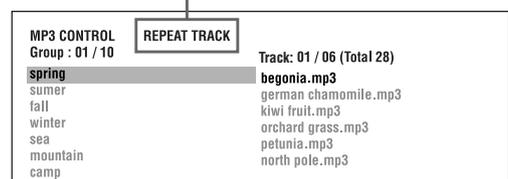
停止中は▶再生ボタンを押すと、選択されたリピートモードで再生を開始します。

リピートモードは、MP3コントロール画面、または本体の表示窓に表示されます。

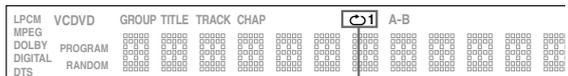
MP3コントロール画面の表示	本体表示窓の表示	リピート機能
REPEAT TRACK	🔄1	現在のトラックをリピート
REPEAT GROUP	🔄	現在のグループ内のすべてのトラックをリピート
REPEAT ALL	🔄	ディスク内のすべてのトラックをリピート
表示なし		リピートモードオフ

MP3 コントロール画面

選択されているリピートモード



本体の表示窓

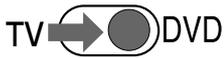


リピートモード表示

- リピート再生をやめるには
■停止ボタンを押します。このとき、リピートモードは残ります。
- リピートモードの設定を解除するには
再生中の場合、リピートボタンを押して本体表示窓のリピート表示(🔄または🔄1)を消します。停止中の場合、リピートボタンを押してMP3コントロール画面のリピートモード表示、または本体表示窓のリピート表示を消します。

JPEGディスクの操作

TV/DVD切換スイッチについて



カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

JPEGはJoint Photographic Experts Groupの略称で、インターネットやデジカメなどに広く利用されている静止画情報圧縮フォーマットのひとつです。(用語集 68 ページ)

本機はJPEGフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます(本取扱説明書ではこれらのディスクを「JPEGディスク」と呼んでいます)。

JPEGファイルとMP3ファイルの両方を含むディスクの場合、初期設定の「映像設定画面」で[MP3/JPEGファイル選択]から設定されたファイルを再生します。(53 ページ)

ご注意

- JPEGフォーマットには、以下の3方式があります。
 - ベースライン方式 : デジタルカメラやインターネットなどで多く利用されます。
 - プログレッシブ方式 : おもにインターネットで利用されています。
 - ロスレス方式 : 現在ではあまり使われません。

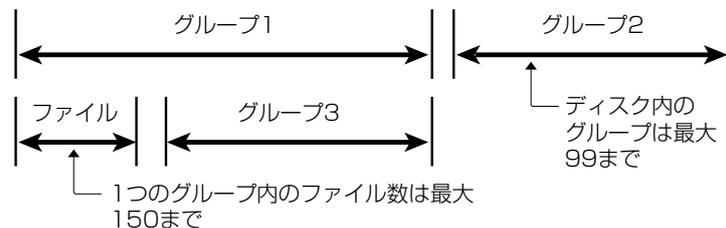
本機で再生できるのはベースライン方式のJPEGファイルのみです。その他の方式のJPEGファイルがJPEGディスクに含まれているとき、本機はそのファイルをJPEGファイルとして認識しますが、再生してもテレビ画面には何も表示されません(黒い画面になります)。

JPEGディスクについて

JPEGディスクでは、それぞれの静止画を各「ファイル」として記録しています。また、一般的に複数のファイルをカテゴリ別などの「フォルダ」にまとめて分類してあります。また、フォルダの中にフォルダを作って、フォルダを階層構造にすることができます。このフォルダ階層はパソコンにおけるフォルダの階層構造と同じです。

なお、本機ではフォルダをグループとして扱います。

- 1つ以上のファイルを含むフォルダはグループとして扱います。
- フォルダの中にファイルを含まないフォルダは認識されません。
- フォルダに属さないファイルはグループ1のファイルとして扱われます。
- 本機は各グループ内に最大150ファイル、ディスク内に最大99グループを扱うことができます。これを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。また、グループ内にJPEG以外のファイルが含まれるときは、本機が認識できるJPEGファイルの数が150を下回ることがあります。



〈お知らせ〉

- ISO9660フォーマットで記録されたJPEGディスクに限り再生できます。またパケットライト方式で記録されたディスクは、再生できません。
- マルチセッションで記録されたディスクは、最大5セッションまで再生することができます。
- JPEGファイルの解像度は「640 x 480」をおすすめします。それ以上の解像度の場合、画像の表示に時間がかかる場合があります。
- ファイルの特性や記録状態により、再生ができなかったり、全ファイルの表示に時間がかかることがあります。
- ファイルのプログラム、およびランダム再生はできません。
- JPEGディスクをスライドショー再生(47 ページ)しているとき、スクリーンセーバーは働きません。
- 「.jpg」「.jpeg」「.JPG」「.JPEG」の拡張子のついたJPEGファイルに限り再生できます。(大文字小文字が混在した拡張子(.Jpgなど)も使えます)
- ディスク内容の読み取りにかかる時間は、記録されているグループやファイルの数により異なります。
- 画像の表示中に他の操作(停止する、画面を拡大/縮小する、など)を行った場合、その画像の表示が完全に終わってから操作を受けつけます。
- ベースライン方式以外のJPEGファイルを再生した場合、テレビ画面には何も表示されません(黒い画面になります)。このとき、他の操作(停止する、次のファイルを選ぶなど)はできますが、操作を受けつけるまで時間がかかります。
- 本機にJPEGディスクが入っているときは、初期設定画面が表示できません。(50 ページ)

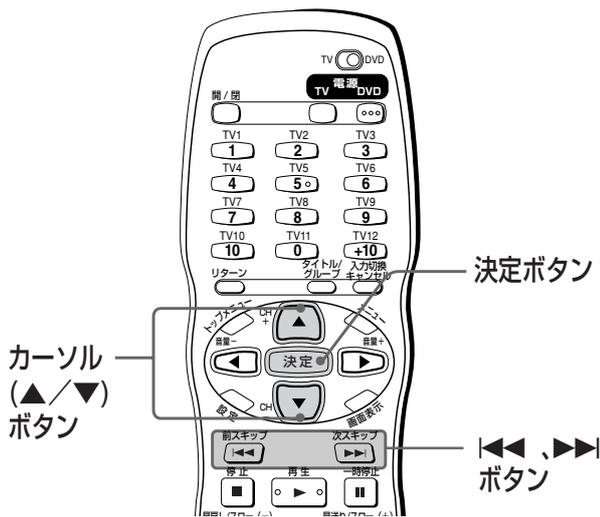
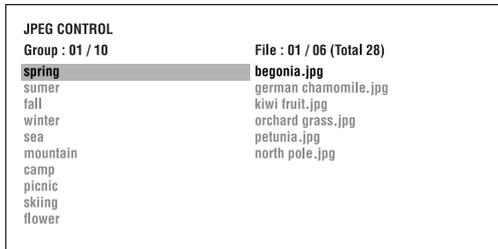
JPEGディスクの操作(つづき)

ファイルを再生する

JPEGで使える機能です

JPEGディスクをセットすると、ディスクを読み込んだ後に、JPEGコントロール画面が自動的にテレビ画面に表示されます。この画面から再生するファイルを指定することができます。

(JPEG コントロール画面)



手順2でカーソル(▶)ボタンを押すと、**■**がファイルリストに移動します。このときカーソル(▲/▼)ボタンを押してファイルを選ぶこともできます。

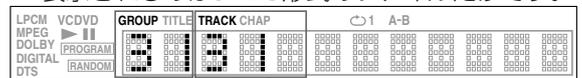
▶▶または◀◀ボタンの代わりに数字ボタンを使ってファイルを指定することもできます。

4 決定ボタンを押す

選択したファイル(静止画)がテレビ画面に表示されます。

現在選択中のグループ/ファイル番号は、本体の表示窓に表示されます。

*表示されるのはJPEG形式のファイルだけです。



- 他の静止画を見たいときは
▶▶ボタンを押すと次の静止画を表示します。◀◀ボタンを押すと前の静止画を表示します。また、カーソル(▲/▼)ボタンを使って選ぶこともできます。
- 静止画の表示をテレビ画面から消すには
■停止ボタン、またはメニューボタンを押します。静止画が消え、JPEGコントロール画面が表示されます。

《JPEGコントロール画面が表示されているときに》

1 グループリストが選択されていることを確認する

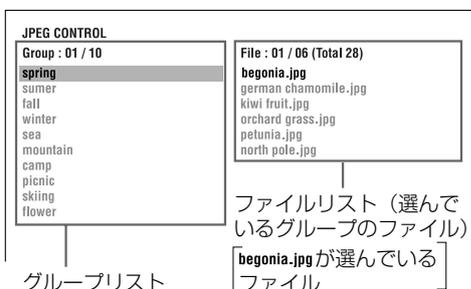
ファイルリストが選択されている場合は、カーソル(◀)ボタンでJPEGコントロール画面の**■**をグループリストへ移動してください。

2 カーソル(▲/▼)ボタンを使って再生したいグループを選ぶ

■が選択したグループへ移動します。選んだグループ内の最初のファイルが自動的に選択されます。

3 ▶▶または◀◀ボタンを使ってファイルを選ぶ

選んだファイルの色が変わります。



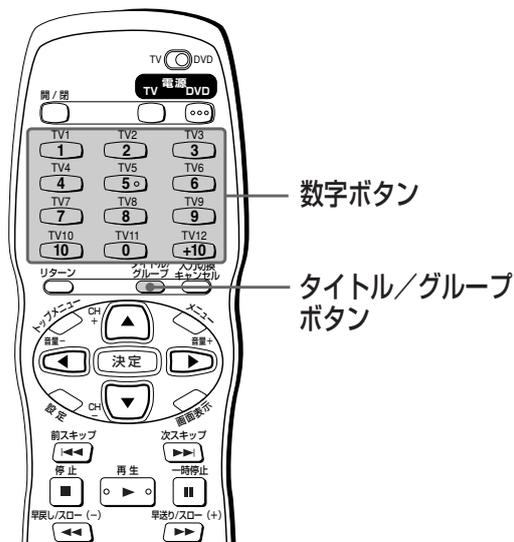
《お知らせ》

- 各グループ/ファイルの名前は、半角英数字で最大32文字まで、JPEGコントロール画面に表示されます。ただし、漢字、ひらがな、カタカナ、および全角英数字が使われていると、正しく表示されないことがあります。
- JPEGコントロール画面に表示できるのは、JPEG形式のファイルだけです。
- JPEGコントロール画面に表示されるグループ/ファイル名の順序は、パソコンの画面に表示したときの表示順序と異なることがあります。
- JPEGディスクを取り出すとJPEGコントロール画面は自動的に消えます。
- 手順4で決定ボタンのかわりに再生ボタンを押すと、選んだファイルからスライドショー再生を始めます。
☞ 47, 48 ページ

JPEG ディスクの操作 (つづき)

ファイルを続けて再生する【スライドショー再生】(つづき)

JPEG で使える機能です



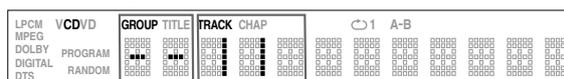
指定したファイルからスライドショー再生をする(タイトル/グループボタンで操作する)

《JPEGディスクが入っているとき》

1 タイトル/グループボタンを押す

本体の表示窓に「--」が表示されます。

(表示窓の例)



2 数字ボタンを使ってグループを指定する

JPEGコントロール画面のグループリストに表示される順番で指定できます。(P.46)

数字ボタンの使いかた

- 1~10を選ぶには
その番号の数字ボタンを直接押す。
- 11以上を選ぶには
+10ボタンを先に押してから1~10のボタンを押す。

例: 13番を選ぶには **+10** → **3**
24番を選ぶには **+10** → **+10** → **4**
30番を選ぶには **+10** → **+10** → **10**
または **+10** → **+10** → **+10** → **0**

本体の表示窓に「--」が表示されている間に指定してください。「--」表示が消えてしまったときは、再度タイトル/グループボタンを押して操作をやり直してください。

3 数字ボタンを使ってファイルを指定する

JPEGコントロール画面のファイルリストに表示される順番で指定できます。(P.46)

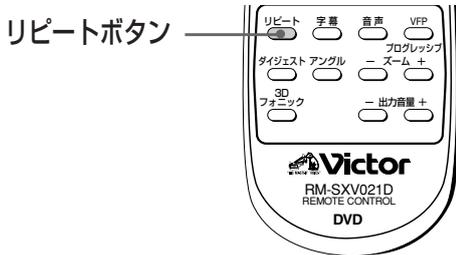
手順2のあと、5秒以内にファイルを指定してください。指定したファイルからスライドショー再生が始まります。ファイルの指定を省略すると、グループの最初のファイルからスライドショー再生が始まります。

数字ボタンの代わりに◀◀/▶▶ボタン、またはカーソル(▲/▼)ボタンでファイル番号を選ぶこともできます。

- 他の静止画を見たいときは
▶▶ボタンを押すと次の静止画を表示します。◀◀ボタンを押すと前の静止画を表示します。また、カーソル(▲/▼)ボタンを使って選ぶこともできます。
- スライドショー再生を途中でやめるには
■停止ボタン、またはメニューボタンを押します。スライドショー再生が停止し、JPEGコントロール画面が表示されます。このとき▶再生ボタンを押すと、スライドショー再生をやめたファイルから再生を開始します。
- スライドショー再生を一時停止するには
■一時停止ボタン、または決定ボタンを押します。このとき▶再生ボタンを押すと、次のファイルからスライドショー再生を開始します。
- スライドショー再生中に黒い画面しか出ないときは再生しているJPEGファイルがベースライン方式以外のときは、静止画が表示されず黒い画面になります。(P.45) このようなときは、■停止ボタンまたはメニューボタンを押してJPEGコントロール画面を表示させ、再生できるファイルを選び直してください。ただし、操作を受けつけるまで時間がかかることがあります。

ファイルを続けて再生する [スライドショー再生] (つづぎ)

JPEG で使える機能です



スライドショー再生中、または停止中にファイルをくり返し再生 [リピート] する

1 リピートボタンを押す

リピートボタンを押すことにリピートモードが切り換わります。

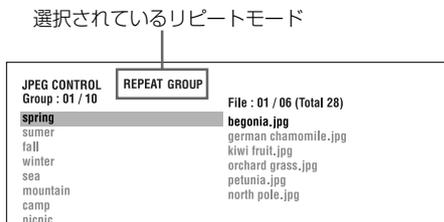
ディスク再生中は選択したリピートモードの再生に切り換わります。

停止中にリピートボタンを押した場合、リピート再生を開始するには▶再生ボタンを押します。

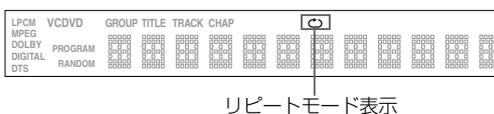
リピートモードは、JPEGコントロール画面、または本体の表示窓に表示されます。

JPEGコントロール画面の表示	本体表示窓の表示	リピート機能
REPEAT GROUP	🔄	現在のグループ内のすべてのファイルをリピート
REPEAT ALL		ディスク内のすべてのファイルをリピート
表示なし		リピートモードオフ

(JPEGコントロール画面)



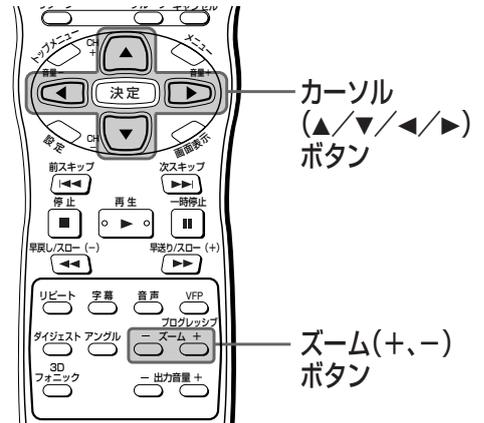
(本体の表示窓)



- リピート再生をやめるには
■停止ボタンを押します。このとき、リピートモードは残ります。
- リピートモードの設定を解除するには
再生中の場合、リピートボタンを押して本体の表示窓のリピート表示を消します。
停止中の場合、リピートボタンを押してJPEGコントロール画面のリピートモード表示を消します。

画面を拡大/縮小する [ズーム]

JPEG で使える機能です



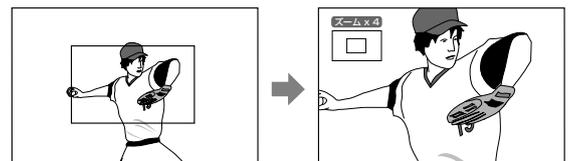
《JPEG画像を表示中に(スライドショー再生中を除く)》

1 ズーム(+、-)ボタンを押す

ズーム(+)ボタンを押すと画面の中央部が拡大され、ズーム(-)ボタンを押すと画面が縮小されます。

ズーム(+)ボタンを押すごとに2倍ずつ拡大され、最大で1024倍になります。

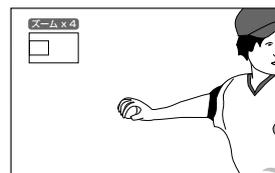
ズーム(-)ボタンを押すごとに1/2ずつ縮小され、最小で1/8になります。



画面の左上部に現在の倍率が、ズームインしている画面上の位置とともに表示されます。

ズーム倍率が2倍以上の場合、ズームインしている位置を動かすことができます。ズームイン位置を動かすには以下の操作を行います。

2 カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタンを使って拡大したい部分を選ぶ



- ズームを解除するには
決定ボタンを押します。

〈お知らせ〉

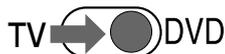
- スライドショー再生中は、再生を一時停止すると画像の拡大/縮小ができます。
- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

JPEG
ファイル
の再生

初期設定を変更する

初期設定とは、お買い上げ時にすでに設定されている各種設定のことです。通常は初期設定を変更する必要はありませんが、本機をワイドテレビにつないだり、お使いの環境にあわせて設定を変更するときにお読みください。

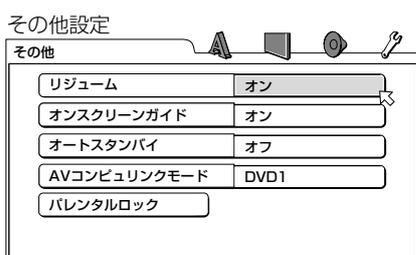
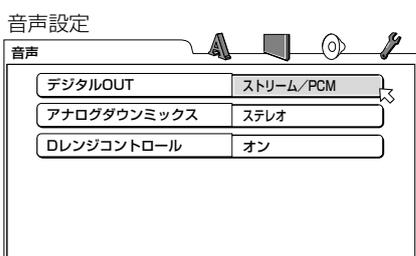
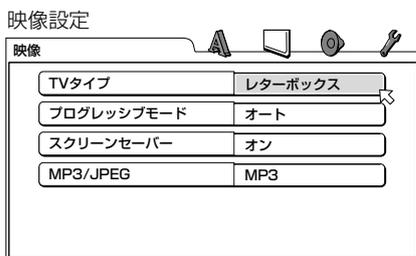
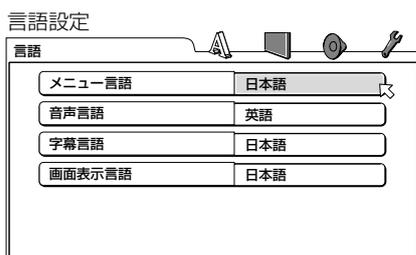
TV/DVD切換スイッチについて



カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切換/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

初期設定画面について

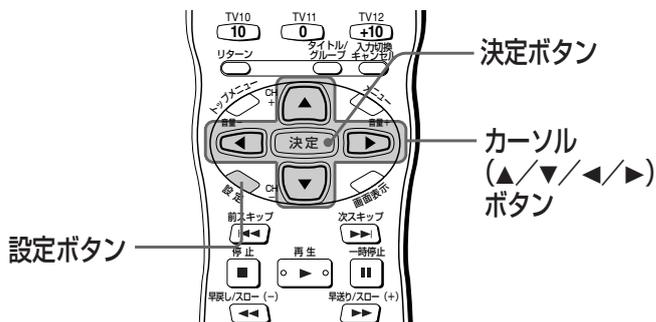
初期設定画面には、言語設定画面、映像設定画面、音声設定画面、その他設定画面の4つの設定画面があり、それぞれに設定項目があります。



〈お知らせ〉

- MP3、またはJPEGディスクがセットされているときは、初期設定画面が表示できません。[42](#) [45](#) ページ
- ワイドテレビをお使いの場合、初期設定画面の上下の部分がかれた状態で表示されることがあります。このようなときは、テレビ側の設定で画像サイズを変えてください。

基本操作



《電源「切」以外いつでも》

1 設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って表示したい設定画面を選択する

選択した初期設定画面が表示されます。選択した設定画面に応じて画面の右上にあるアイコンの色が変わります。

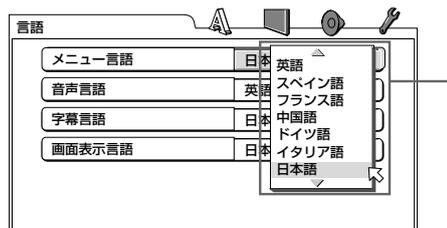
- 言語設定画面のアイコン
- 映像設定画面のアイコン
- 音声設定画面のアイコン
- その他設定画面のアイコン

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使って設定したい項目に合わせる

選んだ項目の色が変わります。

4 決定ボタンを押す

選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。



選んだ項目のプルダウンメニュー

5 カーソル(▲/▼)ボタンを使ってプルダウンメニューから設定を選び、決定ボタンを押す

設定が完了します。

- 初期設定画面を消すには設定ボタンを押します。

言語設定画面



メニュー言語、音声言語、字幕言語、画面表示言語など、言語に関する設定を行う画面です。

ご注意

- ディスク再生中は[画面表示言語]以外の言語設定画面の操作はできません。

設定項目	設定内容 (がお買い上げ時の設定です)	備考
メニュー言語 DVDビデオのメニュー画面に表示される言語を選びます。	英語 ↔ スペイン語 ↔ フランス語 ↔ 中国語 ↔ ドイツ語 ↔ イタリア語 ↔ 日本語 ↔ AA から ZU までの言語コード 言語コードの詳細は言語コード一覧表をご覧ください。	選択した言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
音声言語 DVDビデオの音声言語を選びます。	英語 ↔ スペイン語 ↔ フランス語 ↔ 中国語 ↔ ドイツ語 ↔ イタリア語 ↔ 日本語 ↔ AA から ZU までの言語コード 言語コードの詳細は言語コード一覧表をご覧ください。	
字幕言語 DVDビデオの字幕言語を選びます。	オフ ↔ 英語 ↔ スペイン語 ↔ フランス語 ↔ 中国語 ↔ ドイツ語 ↔ イタリア語 ↔ 日本語 ↔ AA から ZU までの言語コード 言語コードの詳細は言語コード一覧表をご覧ください。	
画面表示言語 初期設定画面などのオンスクリーン画面の言語を選びます。	日本語 ↔ 英語	画面表示言語を英語にしたときの画面

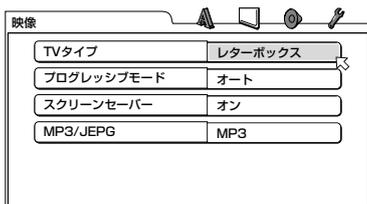
<言語コード一覧>

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アフガル語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SL	スロベニア語
AB	アブハジア語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SM	サモア語
AF	アフリカーンス語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラード語	MN	モンゴル語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語	MR	マラータ語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語	MS	マライ (マレー) 語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	ST	セストゥ語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語	NA	ナウル語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	IE	国際語	NE	ネパール語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TG	タジク語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語	OM	(アフォン) オロモ語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	JL	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PL	ポーランド語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	PS	パシュトー語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	PT	ポルトガル語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	KM	カンボジア語	QU	ケチュア語	TR	トルコ語
DZ	ブータン語	KN	カンナダ語	RM	ラエティ-ロマン語	TS	ツォンガ語
EL	ギリシャ語	KO	韓国 (朝鮮) 語	RN	キルンディ語	TT	タタール語
EO	エスペラント語	KS	カシミール語	RO	ルーマニア語	TW	トウィ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	RU	ロシア語	UK	ウクライナ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	RW	キニヤルワンダ語	UR	ウルドゥー語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SA	サンスクリット語	UZ	ウズベク語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SD	シンド語	VI	ベトナム語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SG	サンド語	VO	ヴォラピュク語
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SH	セルボアクロアチア語	WO	ウォロフ語
FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SI	シンハラ語	XH	コーサ語
GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SK	スロバキア語	YO	ヨルバ語
						ZU	ズール語

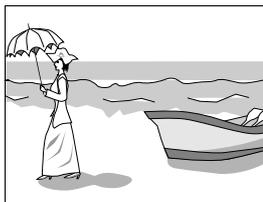
初期設定を
変更する

初期設定を変更する (つづき)

映像設定画面



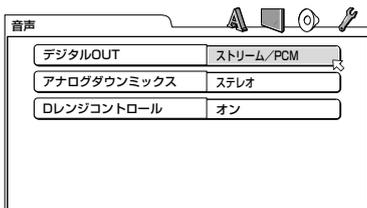
TVのタイプ、プログレッシブモード、スクリーンセーバー、MP3/JPEGファイルが混在したCD-R/RWディスクの再生ファイルの切り換えなど、主に映像に関する設定を行う画面です。

設定項目	設定内容 ( がお買い上げ時の設定です)	備考
TVタイプ お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。	16:9ノーマル ↔ 16:9オート ↔ レターボックス ↔ パンスキャン ・ 16:9ノーマル [ワイドテレビ(縦横比16:9)用] 画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。(4:3で収録されたDVDビデオを再生するとき、本機が出力信号の画面幅を自動調節します)	 「16:9ノーマル」設定で4:3画面のDVDビデオを再生すると、画面幅を変換しているため画質が変わります。
	・ 16:9オート [ワイドテレビ(縦横比16:9)用] 普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。	
	・ レターボックス [通常のテレビ(縦横比4:3)用] 上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したとき、この設定にします。	
	・ パンスキャン [通常のテレビ(縦横比4:3)用] 左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したとき、この設定にします。	 ディスクがパンスキャンに対応していないときは、パンスキャンを選択していてもレターボックス表示になります。

設定項目	設定内容 (がお買い上げ時の設定です)	備考
<p>プログレッシブモード 本機の映像出力設定(スキャンモードについて 12 ページ)が、プログレッシブスキャンに設定されているとき、ディスクに収録された映像の収録素材(ビデオ素材またはフィルム素材)に適したプログレッシブスキャン映像信号の出力を選びます。この設定はスキャンモードがプログレッシブスキャンに設定されているときに限り有効です。</p>	<p>ビデオ↔フィルム↔ オート</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビデオ ディスクに収録された素材をビデオ素材として奇数フィールドと偶数フィールドを合成してから、プログレッシブ変換します。 比較的動きの少ないビデオ素材のディスクの再生に適しています。 • フィルム ディスクに収録された素材をフィルム素材としてプログレッシブ変換します。 フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクの再生に適しています。 • オート ディスクの再生から素材のタイプ(フィルムまたはビデオ)を判定して、モードを切り換えます。フィルム素材とビデオ素材が混在しているディスクの再生に適しています。通常はこの設定にします。 	<p>ディスクの中には「オート」モードで正しく再生されないものがあります。特定のDVDビデオで映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは設定を変えてみてください。</p> <p>この設定と収録素材のタイプ、および本機の状態により、本体前面のプログレッシブランプの色が変わります。12 ページ</p>
<p>スクリーンセーバー 画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバー(19 ページ)を使うか、使わないかを選びます。</p>	<p>オン ↔ オフ</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン 静止画が5分以上続くと、画面が暗くなります。 • オフ スクリーンセーバーは機能しません 	<p style="text-align: center;">—————</p>
<p>MP3/JPEGファイル選択 本機はCD-R/CD-RWディスクのMP3、またはJPEGファイルを再生することができます。1枚のCD-R/CD-RWディスクにMP3、JPEGの両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生可能にするかを選びます。</p>	<p>MP3 ↔ JPEG</p> <ul style="list-style-type: none"> • MP3 CD-R/CD-RWディスクにMP3とJPEGの両ファイルが含まれている場合、MP3ファイルを再生します。 • JPEG CD-R/CD-RWディスクにMP3とJPEGの両ファイルが含まれている場合、JPEGファイルを再生します。 	<p>CD-R/CD-RWディスクに記録されているファイルがMP3、JPEGのいずれか一方のみの場合は、この設定にかかわらず再生することができます。</p>

初期設定を変更する (つづき)

音声設定画面

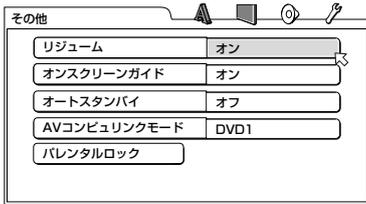


デジタル音声出力、アナログダウンミックス、音声ダイナミックレンジのコントロール機能など、音声に関する設定を行う画面です。

設定項目	設定内容 ( がお買い上げ時の設定です)	備考
デジタルOUT 本機のデジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定します。 (デジタル音声出力端子に何もつながらない場合は設定する必要はありません) 設定項目と出力信号の関係については、下の表をご覧ください。	PCMのみ ↔ DOLBY DIGITAL/PCM ↔ ストリーム/PCM ・ PCMのみ : リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダー、DATデッキなどと接続するとき、この設定にします。 ・ DOLBY DIGITAL/PCM : ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。 ・ ストリーム/PCM : DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。	本機のデジタル音声出力端子が、DTSデコーダー搭載以外のアンプと接続されているときは、DTSのオーディオCDを再生しないでください。ノイズによりスピーカーを破損する恐れがあります。 著作権保護の設定がされていないDVDビデオの中には20、または24ビットで出力されるものがあります。 88.2kHz以上のサンプリング周波数で収録された音声のデジタル出力はできません。
アナログダウンミックス サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオを正しく再生するため、接続する機器に合わせて選びます。 (この設定はDVDビデオを再生するときのみ影響します)	ドルビーサラウンド ↔ ステレオ ・ ドルビーサラウンド : 本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド(用語集  69 ページ)対応のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。 ・ ステレオ : 本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。	3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません。
Dレンジコントロール ドルビーデジタル収録されたDVDビデオを小音量で楽しむ場合、音声のダイナミックレンジ(用語集  69 ページ)を圧縮します。収録されたチャンネル数に合わせて設定します。	オート ↔ オン ・ オート ドルビーデジタル1chまたは2ch収録のディスク以外で常にダイナミックレンジを圧縮します。 ・ オン 常にダイナミックレンジを圧縮します。	この機能はドルビーデジタル収録されたディスク以外では働きません。 3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません。

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48/44.1kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDビデオ	48/44.1kHz、16/20/24ビットステレオのリニアPCM		
96/88.2kHzリニアPCMのDVDビデオ	出力しない		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
オーディオCD/ビデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
MP3のCD-R/CD-RW	リニアPCM		

その他設定画面



リジューム、オンスクリーンガイド、オートスタンバイ、AVコンピュリンクモード、および視聴制限の設定を行う画面です。

設定項目	設定内容 (がお買い上げ時の設定です)	備考
リジューム リジューム機能(22 ページ)を使うか、使わないかを選びます。	オン ↔ オフ ↔ ディスクリジューム ・ オン(通常のリジューム) リジューム機能が働きます。 ・ オフ リジューム機能が働きません。 ・ ディスクリジューム 最大30枚までのディスクにリジューム機能が働きます(ディスクを取り出してもリジュームポイントを記憶しています)。	_____
オンスクリーンガイド 再生している映像に重ねてディスクの収録状態や本機の動作状態を示すマーク(など)や文字を表示するか、表示しないかを選びます。	オン ↔ オフ ・ オン マークや文字が表示されます。 ・ オフ マークや文字が表示されません。	マークや文字の表示については 19 ページを参照してください。
オートスタンバイ 一定時間、本機の停止状態が続いたとき、自動的に本機を電源「切(スタンバイ状態)」にするか、しないかを選びます。	60 ↔ 30 ↔ オフ ・ 60 60分後に電源「切」になります。 ・ 30 30分後に電源「切」になります。 ・ オフ オートスタンバイ機能は働きません。	_____
AVコンピュリンクモード ビクターのテレビやレシーバーなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します。 (AVコンピュリンクの活用 62 ページ)	DVD1 ↔ DVD2 ↔ DVD3 ・ DVD1 テレビのビデオ3入力に接続したとき、DVD1に設定します。 ・ DVD2 テレビのビデオ1入力に接続したとき、DVD2に設定します。 ・ DVD3 テレビのビデオ2入力に接続したとき、DVD3に設定します。	接続する他の機器の取扱説明書もあわせてお読みください。
パレンタルロック 視聴制限([パレンタルロック])を設定します。 この項目を選ばると、パレンタルロック設定画面が表示されます。	設定方法については 56 ページをご覧ください。	(パレンタルロック設定画面)

変更する
初期設定を

視聴制限を設定する

過激なシーンを含むDVDビデオの映画ソフトを再生する場合など、ディスクが対応していると視聴制限[パレンタルロック]機能の設定に応じて過激シーンをカットしたり別のシーンに差し換えることができます。

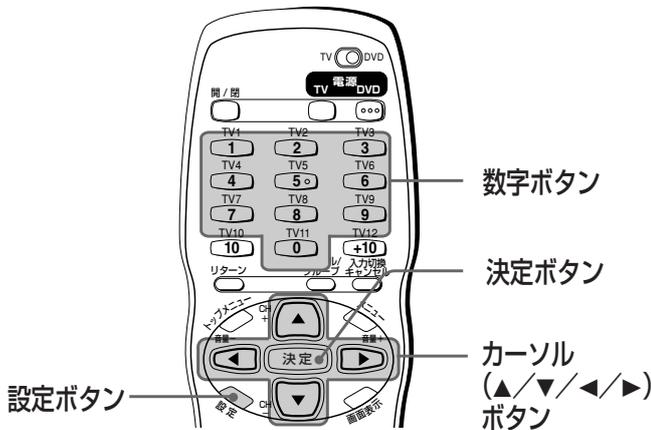
TV/DVD切替スイッチについて

TV DVD

カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン、入力切替/キャンセルボタン、数字ボタンを使って本機を操作するときは、リモコンのTV/DVD切替スイッチを「DVD」側に切り換えます。

はじめに設定する

DVDビデオ で使える機能です



《ディスク停止中、またはディスクが入っていないときに》

1 設定ボタンを押す

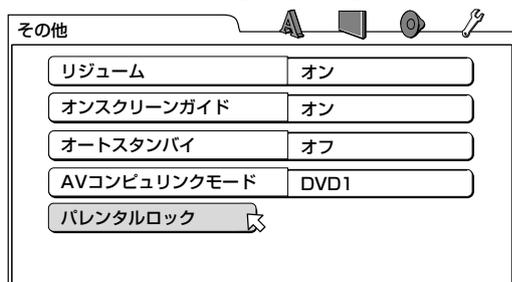
初期設定画面が表示されます。

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って「その他設定画面」にする

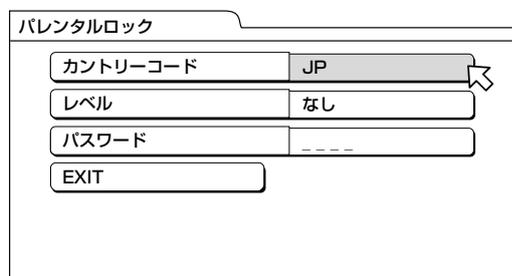
「その他設定画面」が表示されます。

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使って を [パレンタルロック] を合わせ、決定ボタンを押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

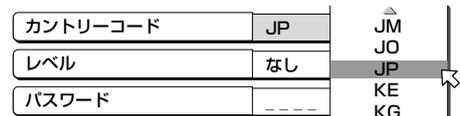


↓ 決定ボタンを押す



4 が [カントリーコード] を指しているときに、決定ボタンを押す

カントリーコードのプルダウンメニューが表示されます。



5 カーソル(▲/▼)ボタンを使ってカントリーコードを選び、決定ボタンを押す

カントリーコードが設定され、 が [レベル] に移動します。

カントリーコード一覧 59 ページ

6 が [レベル] を指しているときに、決定ボタンを押す

レベルのプルダウンメニューが表示されます。



7 カーソル(▲/▼)ボタンを使ってレベルを選び、決定ボタンを押す

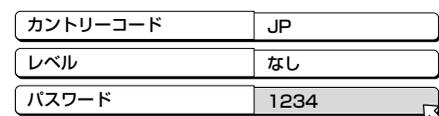
1~8の中から選びます。セットレベル「なし」が視聴制限を全くしない設定です。設定したレベル値以上のレベルのDVDビデオが再生できなくなります。

したがって設定したレベル数値が小さいほど、制限が厳しくなります。

レベルが設定され、 が [パスワード] に移動します。

8 数字ボタン(1~9,0)を使って任意のパスワード(4ケタの数字)を入力する

パスワードを間違えたら決定ボタンを押す前に入力し直してください。



9 決定ボタンを押す

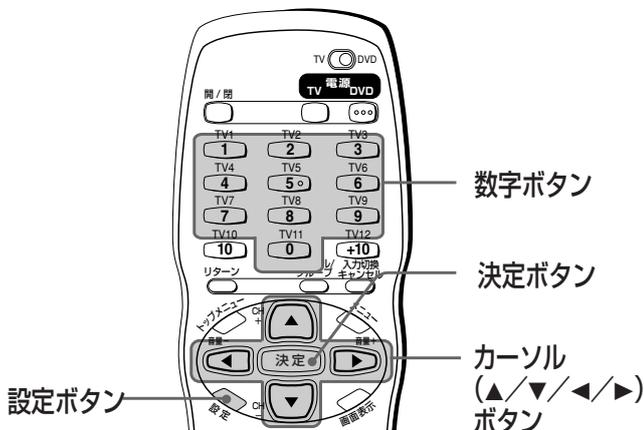
パスワードが設定されます。

が [EXIT] に移動します。もう一度決定ボタンを押すとその他の設定画面に戻ります。

設定を変更する

DVDビデオ
で使える機能です

一度設定したパレンタルロックの設定(カントリーコード、レベル、パスワード)を変更することができます。



《ディスク停止中、またはディスクが入っていないときに》

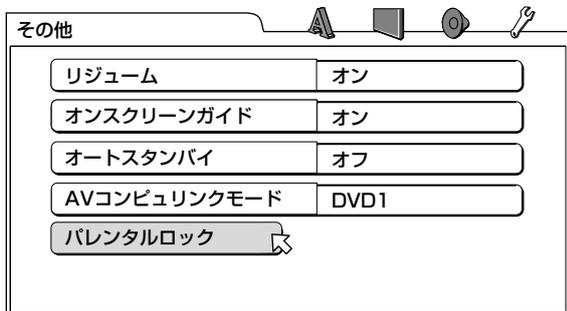
1 設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

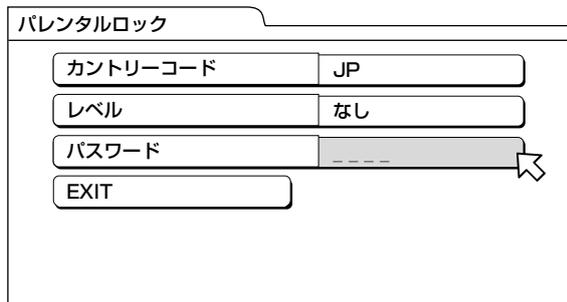
2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って「その他設定画面」にする

「その他設定画面」が表示されます。

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使って [] が [パレンタルロック] に合わせ、決定ボタンを押す



↓ 決定ボタンを押す



4 数字ボタン(1~9,0)を使って今までのパスワードを入力し、決定ボタンを押す

[] が [カントリーコード] に移動します。

パスワードについて

- 今までのパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。今までのパスワードが無効になり、新しくパスワードを再設定できるようになります。
- パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき [] が [EXIT] に移動しますので、決定ボタンを押してもう一度最初からやり直してください。

5 [] が [カントリーコード] を指しているときに、決定ボタンを押す

カントリーコードのプルダウンメニューが表示されます。カントリーコードを変更した場合、[レベル] も変更してください。

カントリーコード	JP	JM
レベル	なし	JO
パスワード	----	JP
		KE
		KG

6 カーソル(▲/▼)ボタンを使ってカントリーコードを選び、決定ボタンを押す

カントリーコードが設定され、[] が [レベル] に移動します。

カントリーコード一覧 (P.59) ページ

7 [] が [レベル] を指しているときに、決定ボタンを押す

セットレベルのプルダウンメニューが表示されます。

カントリーコード	GB	なし
レベル	なし	1
パスワード	----	2
		3
		4
		5

8 カーソル(▲/▼)ボタンを使ってレベルを選び、決定ボタンを押す

セットレベルが設定され、[] がパスワードに移動します。

→ (P.58) ページにつづく

初期設定を
変更する

視聴制限を設定する (つづき)

57 ページからつづき

9 数字ボタン(1~9、0)を使って新しいパスワード(4ケタの数字)を入力する

パスワードを間違えたら決定ボタンを押す前に入力し直してください。

カントリーコード	GB
レベル	5
パスワード	----

パスワードの入力

ここで入力したパスワードが新しいパスワードになります。パスワードを変更したくない場合は同じパスワードを入力してください。

カントリーコードやレベルを変更する場合も、必ずこの操作を行ってください。この操作を行わないと、カントリーコードやレベルが変更されません。

10 決定ボタンを押す

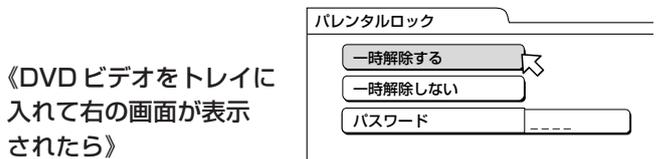
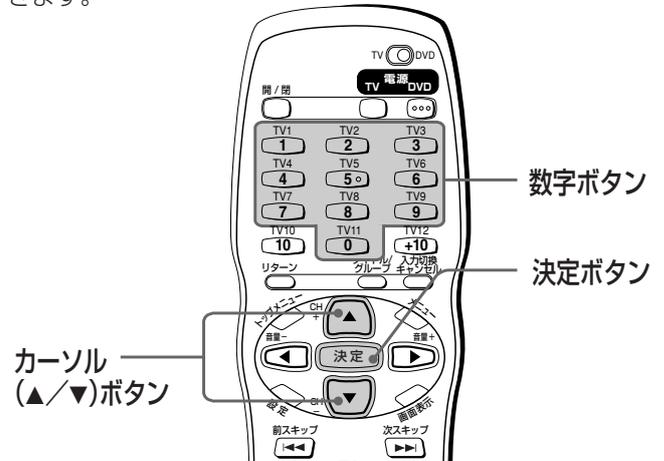
パスワードが設定されます。

⏏ が[EXIT]に移動します。もう一度決定ボタンを押すとその他の設定画面に戻ります。

パレンタルロックを一時解除する

DVDビデオ で使える機能です

パレンタルロックを厳しく設定しているときには、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除することができます。



《DVDビデオをトレイに入れて右の画面が表示されたら》

1 カーソル(▲/▼)ボタンを使って⏏を[一時解除する]に合わせ、決定ボタンを押す

2 決定ボタンを押す

[一時解除する]を選ぶと、⏏が[パスワード]に移動します。

[一時解除しない]を選んだときは、このディスクを再生することはできません。開/閉ボタンを押してディスクを取り出してください。

3 設定されているパスワードを数字ボタン(1~9、0)を使って入力する

4 決定ボタンを押す

パレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

パスワードを間違えている場合、決定ボタンを押した後に「違います。やり直してください」と表示されますので、手順3に戻ってもう一度入力してください。

〈お知らせ〉

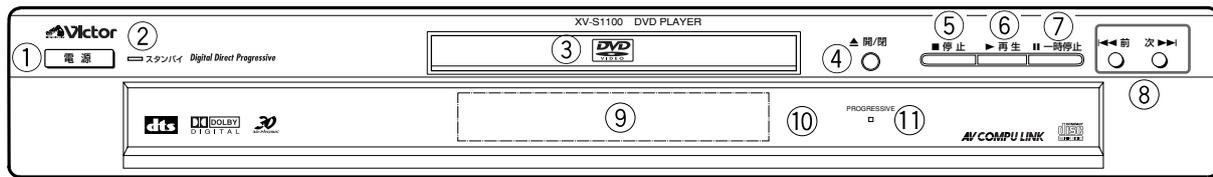
- パスワードの入力を3回間違えると、⏏は[いいえ]に移動し、カーソル(▲/▼)ボタンは動かなくなります。決定ボタンを押してパレンタルロック画面から抜け、ディスクを取り出してください。

カントリーコード一覧

AD	Andorra	ET	Ethiopia	LC	Saint Lucia	SC	Seychelles
AE	United Arab Emirates	FI	Finland	LI	Liechtenstein	SD	Sudan
AF	Afghanistan	FJ	Fiji	LK	Sri Lanka	SE	Sweden
AG	Antigua and Barbuda	FK	Falkland Islands (Malvinas)	LR	Liberia	SG	Singapore
AI	Anguilla	FM	Micronesia (Fedelated States of)	LS	Lesotho	SH	Saint Helena
AL	Albania	FO	Faroe Islands	LT	Lithuania	SI	Slovenia
AM	Armenia	FR	France	LU	Luxembourg	SJ	Svalbard and Jan Mayen
AN	Netherlands Antilles	FX	France, Metropolitan	LV	Latvia	SK	Slovakia
AO	Angola	GA	Gabon	LY	Libyan Arab Jamahiriya	SL	Sierra Leone
AQ	Antarctica	GB	United Kingdom	MA	Morocco	SM	San Marino
AR	Argentina	GD	Grenada	MC	Monaco	SN	Senegal
AS	American Samoa	GE	Georgia	MD	Moldova, Republic of	SO	Somalia
AT	Austria	GF	French Guiana	MG	Madagascar	SR	Suriname
AU	Australia	GH	Ghana	MH	Marshall Islands	ST	Sao Tome and Principe
AW	Aruba	GI	Gibraltar	ML	Mali	SV	El Salvador
AZ	Azerbaijan	GL	Greenland	MM	Myanmar	SY	Syrian Arab Republic
BA	Bosnia and Herzegovina	GM	Gambia	MN	Mongolia	SZ	Swaziland
BB	Barbados	GN	Guinea	MO	Macau	TC	Turks and Caicos Islands
BD	Bangladesh	GP	Guadeloupe	MP	Northern Mariana Islands	TD	Chad
BE	Belgium	GQ	Equatorial Guinea	MQ	Martinique	TF	French Southern Territories
BF	Burkina Faso	GR	Greece	MR	Mauritania	TG	Togo
BG	Bulgaria	GS	South Georgia and the South Sandwich Islands	MS	Montserrat	TH	Thailand
BH	Bahrain	GT	Guatemala	MT	Malta	TJ	Tajikistan
BI	Burundi	GU	Guam	MU	Mauritius	TK	Tokelau
BJ	Benin	GW	Guinea-Bissau	MV	Maldives	TM	Turkmenistan
BM	Bermuda	GY	Guyana	MW	Malawi	TN	Tunisia
BN	Brunei Darussalam	HK	Hong Kong	MX	Mexico	TO	Tonga
BO	Bolivia	HM	Heard Island and McDonald Islands	MY	Malaysia	TP	East Timor
BR	Brazil	HN	Honduras	MZ	Mozambique	TR	Turkey
BS	Bahamas	HR	Croatia	NA	Namibia	TT	Trinidad and Tobago
BT	Bhutan	HT	Haiti	NC	New Caledonia	TV	Tuvalu
BV	Bouvet Island	HU	Hungary	NE	Niger	TW	Taiwan, Province of China
BW	Botswana	ID	Indonesia	NF	Norfolk Island	TZ	Tanzania, United Republic of
BY	Belarus	IE	Ireland	NG	Nigeria	UA	Ukraine
BZ	Belize	IL	Israel	NI	Nicaragua	UG	Uganda
CA	Canada	IN	India	NL	Netherlands	UM	United States Minor Outlying Islands
CC	Cocos (Keeling) Islands	IO	British Indian Ocean Territory	NO	Norway	US	United States
CF	Central African Republic	IQ	Iraq	NP	Nepal	UY	Uruguay
CG	Congo	IR	Iran (Islamic Republic of)	NR	Nauru	UZ	Uzbekistan
CH	Switzerland	IS	Iceland	NU	Niue	VA	Vatican City State (Holy See)
CI	Côte d'Ivoire	IT	Italy	NZ	New Zealand	VC	Saint Vincent and the Grenadines
CK	Cook Islands	JM	Jamaica	OM	Oman	VE	Venezuela
CL	Chile	JO	Jordan	PA	Panama	VG	Virgin Islands (British)
CM	Cameroon	JP	Japan	PE	Peru	VI	Virgin Islands (U.S.)
CN	China	KE	Kenya	PF	French Polynesia	VN	Viet Nam
CO	Colombia	KG	Kyrgyzstan	PG	Papua New Guinea	VU	Vanuatu
CR	Costa Rica	KH	Cambodia	PH	Philippines	WF	Wallis and Futuna Islands
CU	Cuba	KI	Kiribati	PK	Pakistan	WS	Samoa
CV	Cape Verde	KM	Comoros	PL	Poland	YE	Yemen
CX	Christmas Island	KN	Saint Kitts and Nevis	PM	Saint Pierre and Miquelon	YT	Mayotte
CY	Cyprus	KP	Korea, Democratic People's Republic of	PN	Pitcairn	YU	Yugoslavia
CZ	Czech Republic	KR	Korea, Republic of	PR	Puerto Rico	ZA	South Africa
DE	Germany	KW	Kuwait	PT	Portugal	ZM	Zambia
DJ	Djibouti	KY	Cayman Islands	PW	Palau	ZR	Zaire
DK	Denmark	KZ	Kazakhstan	PY	Paraguay	ZW	Zimbabwe
DM	Dominica	LA	Lao People's Democratic Republic	QA	Qatar		
DO	Dominican Republic	LB	Lebanon	RE	Réunion		
DZ	Algeria			RO	Romania		
EC	Ecuador			RU	Russian Federation		
EE	Estonia			RW	Rwanda		
EG	Egypt			SA	Saudi Arabia		
EH	Western Sahara			SB	Solomon Islands		
ER	Eritrea						
ES	Spain						

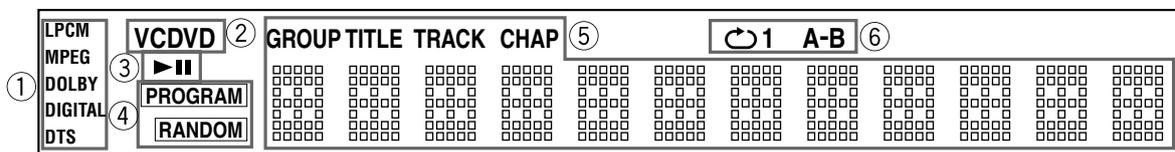
各部の名称

本体前面



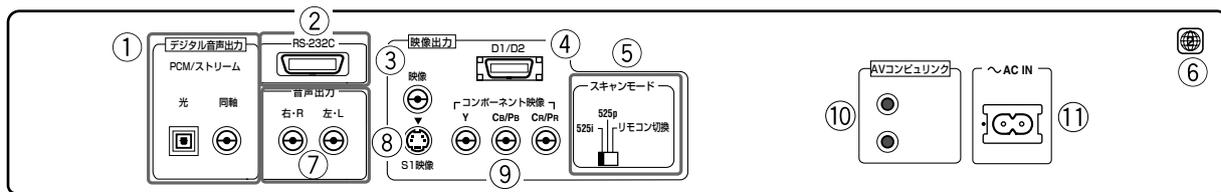
名称	参照ページ	名称	参照ページ
① 電源ボタン	12 18 19	⑦ 一時停止ボタン	18~20
② スタンバイランプ	14	⑧ ◀◀前、次▶▶ボタン	20 21
③ ディスクトレイ	18 19	⑨ 表示窓(下の説明を参照してください)	
④ ▲開/閉ボタン	18 19	⑩ リモコン受光部	15
⑤ ■停止ボタン	18 19	⑪ プログレッシブランプ	12
⑥ ▶再生ボタン	18 19		

表示窓



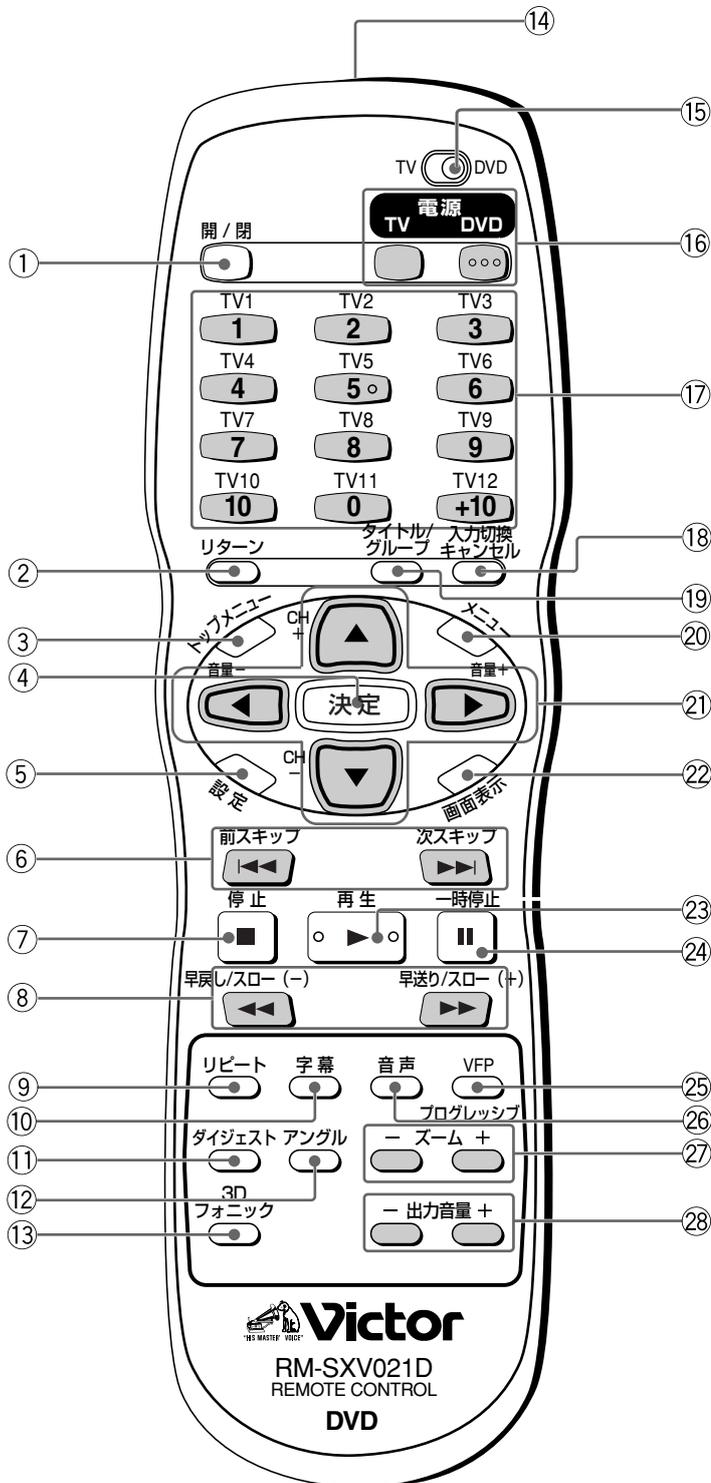
- ① **オーディオ記録方式表示** ⑨
再生中のディスクのオーディオ記録方式を表示します。
- ② **ディスクタイプ表示**
セットしているディスクのタイプを表示します。DVDビデオのときは「DVD」、ビデオCDのときは「VCD」が点灯します。オーディオCDやMP3/JPEGディスクのときは「CD」が点灯します。
- ③ **▶(再生)/|| (一時停止)表示**
再生中は「▶」、一時停止中は「||」が点灯します。
- ④ **プログラム/ランダム表示** ③①
プログラム再生モード中やランダム再生モード中、それぞれの表示が点灯します。
- ⑤ **マルチ情報ウィンドウ**
グループ/タイトル/トラック/チャプター番号、時間、状態などを表示します。
- ⑥ **リピートモード表示** ③② ③③ ④④ ④⑨
現在のリピートモードを表示します。

本体背面



名称	参照ページ	名称	参照ページ
① デジタル音声出力(PCM/ストリーム)端子	13	⑦ アナログ音声出力端子	10 11 13
② RS-232C端子	14	⑧ S1映像出力端子	10
③ 映像出力端子	10	⑨ コンポーネント映像出力端子	11
④ D1/D2映像出力端子	11	⑩ AVコンピュリンク端子	62
⑤ スキャンモード切換スイッチ	10~12	⑪ ~AC IN(電源)端子	14
⑥ リージョン番号表示	7		

リモコン (RM-SXV021D)



名称	参照ページ
① 開/閉ボタン	18 19
② リターンボタン	26
③ トップメニューボタン	25 26
④ 決定ボタン	17 22 25 28 ~ 31 33 ~ 35 37 39 42 43 46 50 56 ~ 58
⑤ 設定ボタン	17 22 50 56 57
⑥ ◀◀前スキップ/▶▶次スキップ ボタン	20 21 42 43 46 47
⑦ ■停止ボタン	18 19 23 42
⑧ ◀◀早戻し/スロー(+), ▶▶早送り/ スロー(-)ボタン	20
⑨ リピートボタン	32 44 49
⑩ 字幕ボタン	34
⑪ ダイジェストボタン	29
⑫ アングルボタン	24 35
⑬ 3Dフォニックボタン	38
⑭ リモコン信号送信部	15
⑮ TV/DVD切換スイッチ	16 ~ 18 22 24 25 30 32 34 36 39 42 45 50 56
⑯ TV電源ボタン	16
DVD電源ボタン	12 18 19
⑰ 数字ボタン	16 21 26 ~ 28 30 44 48 56 ~ 58
⑱ 入力切替/キャンセルボタン	16 30
⑲ タイトル/グループボタン	27 44 48
⑳ メニューボタン	25
㉑ カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン	17 22 24 25 28 ~ 31 33 ~ 39 43 44 46 47 49 50 56 ~ 58
CH+, CH-ボタン	16
音量+, 音量-ボタン	16
㉒ 画面表示ボタン	24 28 30 31 33 39
㉓ ▶再生ボタン	18 19 23 24 26 30 35 42 43 47
㉔ ◻一時停止ボタン	18 19 20 36 42
㉕ VFPボタン	37
プログレッシブボタン	12
㉖ 音声ボタン	34
㉗ ズーム(+, -)ボタン	36 49
㉘ 出力音量(+, -)ボタン	24

リモコン

AV コンピューリンクの活用

テレビ、ビデオカセットレコーダー、DVD プレーヤー、レシーバーなどいくつかの機器をつないで、再生するための接続をしても、操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものが AV コンピューリンク機能です。

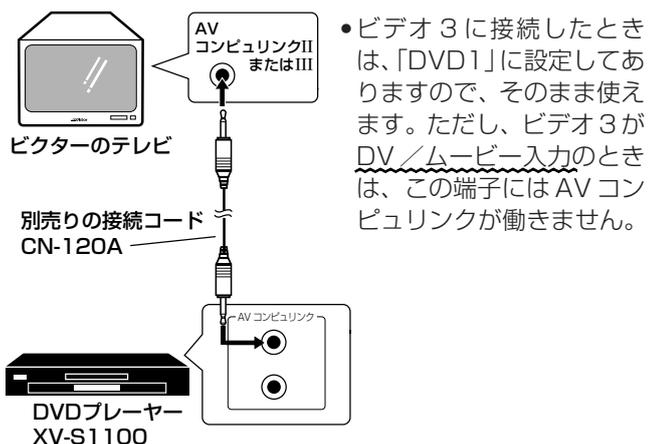
接続と設定をする

モノラルミニプラグ付きの接続コードを使用し、各機器の AV コンピューリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPU LINK 端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。

この機能を使うときは、モノラルミニプラグ付きの接続コード:CN-120A をお買い求めのうえご使用ください。

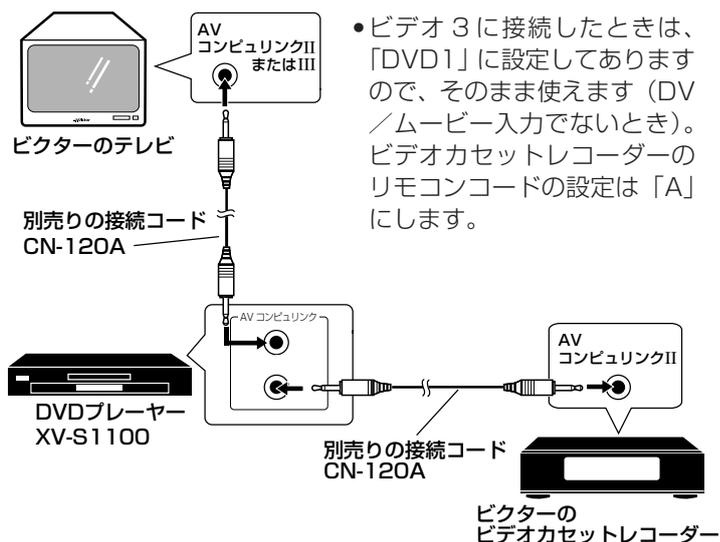
- AV コンピューリンクモードの設定 (DVD1 ~ DVD3 の切り換え) は、「その他設定画面」(☞ 55 ページ) で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

■ テレビとの AV コンピューリンク接続



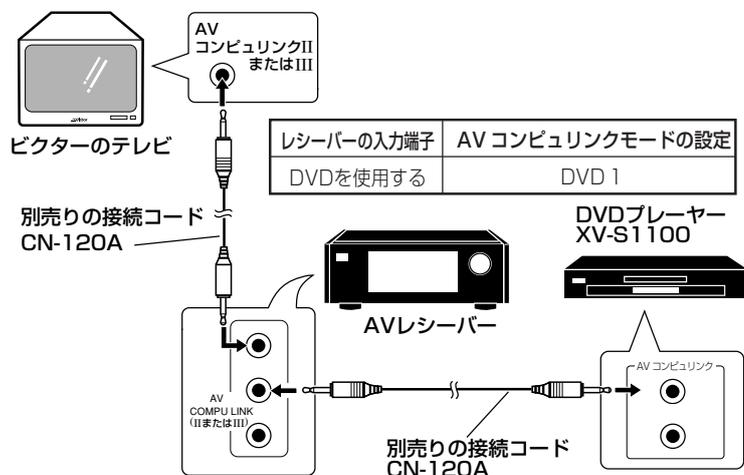
テレビの入力端子	AV コンピューリンクモードの設定
ビデオ 1 のとき	DVD 2
ビデオ 2 のとき	DVD 3

■ テレビおよびビデオカセットレコーダーとの AV コンピューリンク接続



テレビの入力端子	AV コンピューリンクモードの設定	ビデオカセットレコーダーのリモコンコードの設定
ビデオ 1 のとき	DVD 2	B
ビデオ 2 のとき	DVD 3	A

■ テレビおよびレシーバーとの AV コンピューリンク接続



ご注意

- 本機の映像出力端子 (映像、S1 映像、コンポジット映像、D1/D2) を使用中に AV コンピューリンク接続をするときは、接続する機器 (レシーバー、テレビなど) の取扱説明書も併せてお読みください。

操作方法

ソース機器 (DVD プレーヤーやビデオカセットレコーダーなどの再生する機器のことをいいます) を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやレシーバーの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

- 1 テレビの主電源スイッチを「入」にする
- 2 ソース機器にディスク、またはビデオカセットを入れる
- 3 ソース機器の ▶ 再生ボタンを押す

次の動作が自動的に行われます。

- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切り換えがソース機器を接続している外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2、またはビデオ 3) になります。
- レシーバーの電源が「入」になります。
- レシーバーのソース切り換えが再生ボタンを押した機器に切り換わります。

Q & A (よくあるご質問)

Q (ご質問)	A (回答)
---------	--------

ディスクについて

海外で購入したDVD ビデオやビデオCDのディスクを再生することができますか？	DVDビデオの場合は、リージョン番号(ローカル番号)が「ALL」、または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCまたはPALであれば再生できます(PALディスクは、信号をNTSCに方式変換して再生します)。 ビデオCDの場合は、映像方式がNTSC であれば再生できます。 ディスクのジャケットをご確認ください。
リージョン番号(ローカル番号)がないDVD ビデオを再生することができますか？	リージョン番号(ローカル番号)はディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。
JPEG以外の静止画が収録されたCD-R/RWディスクは再生できますか？	再生できません。

音声について

Dolby Digital EXと印刷されたディスクは再生できますか？	ドルビーデジタルと再生互換があるため、再生できます。 ただし、本来の効果を得心たい場合は、対応のサラウンドデコーダー／デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のデジタル音声出力端子を用いてつなぐ必要があります。その際、本機の音声設定画面の中の[デジタルOUT]設定を「ストリーム／PCM」に設定してください。
DTS ESと印刷されたディスクは再生できますか？	本機のアナログAUDIO OUTではお楽しみ頂けませんが、DTS ES対応のサラウンドデコーダー／デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のデジタル音声出力端子を用いてつなげばお楽しみいただけます。その際、本機の音声設定画面の中の[デジタルOUT]設定を「ストリーム／PCM」に設定してください。
THXと印刷されているディスクは、どういうディスクですか？本機で再生できますか？	再生できます。 「THX」は、米国ルーカスフィルム社が設けた、高品位な映像・音声収録、または再生における独自の部門及び基準の名称で、その基準に適合したディスクや機器を表すものであり、収録フォーマット自体をさすものではありません。
MP3とオーディオCDの両方のフォーマットが一枚のディスクに録音されているときは、両方とも再生できますか？	そのような場合は、データCDフォーマットで収録されているため、オーディオCDのトラックは再生できません。MP3のトラックのみ再生できます。
ドルビーデジタルのディスクには、5.1chサラウンドとドルビーサラウンドという2種類のサラウンド音声が入っていますが、どう違いますか？	いずれもアメリカ・ドルビー研究所が開発したサラウンド音声の規格です。 ドルビーサラウンドは、サラウンド成分(2ch)を、通常のアナログステレオ音声(左／右)に重ねて記録し、ドルビーサラウンド、およびドルビープロロジックデコーダーによって音声を分離・再生します。 ドルビーデジタルは、最大でフロント左、フロント右、センター、リア左、リア右、LFE(Low Frequency Effect: サブウーハーなどの低音信号用)の計6ch分の音声をデジタル化、圧縮した上で独立して記録し、ドルビーデジタルデコーダーによって再生します。 収録状況にもよりますが、一般的にはドルビーデジタルのほうがより優れた音場効果が得られます。

映像について

DVD VIDEOやビデオ CDの映像に、細かいモザイクのようなものが出ますが、これは故障ですか？	デジタル収録された動画特有のもの(ブロックノイズ)であり、本機の故障ではありません。
---	--

その他

本取扱説明書の操作通りに機能しません。	コンテンツ作成者の意図や構造上の制約等により、本機の操作を受け付けられない場合があります。
DVDビデオの映像をビデオテープに録画することはできますか？	ほとんどのDVDビデオ はコピー禁止処理がされてるので、ビデオテープへの録画はできません。
本機で録画はできますか？	録画はできません。

故障かな？と思う前に

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に以下の点検をしてください。

症 状	確認してください	参照ページ
-----	----------	-------

電源について

電源が入らない	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	14
勝手に電源が切れる	節電のためにオートスタンバイ機能が設定されています。再度電源を入れてください。	55

操作について

各ボタンの操作ができない	ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。	—
	落雷や静電気などの影響で、本機が正常に動作しないことがあります。いったん電源を切り、電源コードを接続し直してください。	14、19
リモコンが働かない	リモコンを本機の受光部に向け、約5m以内で障害物を避けて操作してください。	15
	乾電池が消耗していたら乾電池を交換してください。	15
	乾電池の極性(+、-)を確かめて正しくセットしてください。	15
	リモコン受光部に直射日光が当たらないようにして操作してください。	15
本機のリモコンでテレビが操作できない	本機のリモコンでテレビが操作できるように設定してください。	16
	TV/DVD切換スイッチを「TV」側にしてください。	16
DVDが操作できない	TV/DVD切換スイッチを「DVD」側にしてください。	—
再生ができない	DVDビデオの場合、本機とお使いのディスクのリージョン番号(ローカル番号)が異なっていると、再生できません。	7
	本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	7
	本機を寒いところから急に暖かいところへ移動すると、内部に露が付くことがあります。1~2時間待ち、乾いてからお使いください。	—
	ディスクを正しくセットしてください。	18、19
	初期設定の視聴制限[パレンタルロック]が設定されていると、セットレベルによっては見られないディスクがあります。	56~58
「言語」初期設定の設定項目が切り換えられない	再生中は[画面表示言語]以外の切り換えはできません。	51
音声/字幕言語の切り換えができない	複数の言語が収録されていないディスクでは切り換えができません。	34、51
	音声ボタン、字幕ボタンでは切り換えできなくても、初期設定画面で切り換えることのできるディスクもあります。	51
字幕が出ない	字幕の入っていないDVDビデオでは表示されません。	34
	初期設定で字幕言語が[オフ]になっている場合は、字幕言語を選択してください。	51
	A-BリピートのAポイント、Bポイントの前後では字幕が表示されないことがあります。	—
アングルが変えられない	複数のアングルが収録されている場面でのみ切り換えることができます。	35

電源について

症 状	確認してください	参照ページ
-----	----------	-------

音声について

音が出ない	オーディオコードを正しく接続してください。	10 ~ 13
	接続した機器の音量(ボリューム)を確認してください。	—
	接続した機器の入力切り換えを確認してください。	—
	表示窓に「NO AUDIO」と表示されたら、不法なコピーディスクの可能性があります。ディスクをお買い上げになった店で確認してください。	—
音がひずむ	ディスクの汚れを落としてください。	9
	テレビの設定を確認してください。	—
デジタル音声出力を使って音が出ない	ディスクの規格上、デジタル信号が出力できない場合があります。(サンプリング周波数88.2kHz以上のディスク(➡ 54 ページ)このような場合は、アナログ接続でお使いください。	—
テレビやビデオとくらべて音が小さい	ディスクの規格上、小さい音で収録されています。接続した機器の音量(ボリューム)を上げてください。	—
	また、別の機器に切り換える場合は、あらかじめ接続された機器の音量を下げてください。	—
	本機のアナログ音声出力の音量調整が小さくなっています。リモコンの出力音量(+)ボタンを使って音量を上げてください。	24

映像について

映像が出ない (画面サイズがおかしい)	テレビの電源を入れてください。	—
	再生できるディスクであるかを確認の上、ディスクを交換してください。	7
	入力を「テレビ」に切り換えてください。	—
	ビデオコードを正しく接続してください。	10 ~ 11
	[TVタイプ]の設定をお使いのテレビに合わせてください。	52
	ワイドテレビでお楽しみの場合、初期設定画面の上下が切れてしまうことがあります。このような場合はテレビ側で表示サイズを切り換えてください。	—
映像が乱れる	スキャンモードをお使いのテレビに合わせて正しく設定してください。	11 12
	[プログレッシブモード]の設定を変えてください。	53
	本機とテレビの間にビデオデッキを接続していませんか。本機とテレビは直接接続してください。また、テレビデオに接続したときも映像が乱れることがあります。	10
	ディスクの汚れを落としてください。	9
	テレビの設定を確認してください。	—

その他

画面に  が表示される	行った操作が禁止されているときに表示されます。	—
画面に「リージョンコードエラー！」が表示される	本機とお使いのディスクのリージョン番号(ローカル番号)が異なっていると表示されます。このディスクを再生することはできません。	7

以上の項目に当てはまらないときは、本機以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。それでもなお異常のあるときは、「保証とアフターサービス」(➡ **66** ページ)の項をお読みの上、修理を依頼してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）	補修用性能部品の最低保有期間
<p>保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。</p> <p style="text-align: center;">保証期間</p> <p style="text-align: center;">お買い上げの日から1年間</p>	<p>この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。</p> <p>補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。</p>

修理に関するご相談やご不明な点は
<p>修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（67ページ）をご覧ください。最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。</p>

修理を依頼されるときは																											
<p>64ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。</p>																											
保証期間中は	保証期間が過ぎているときは																										
<p>修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。</p>	<p>修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。</p>																										
ご連絡していただきたい内容	修理料金の仕組み																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>品名</td> <td>DVDプレーヤー</td> </tr> <tr> <td>型名</td> <td>XV-S1100</td> </tr> <tr> <td>お買い上げ日</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>故障の状況</td> <td>できるだけ具体的に</td> </tr> <tr> <td>ご住所</td> <td>付近の目印等も併せてお知らせください</td> </tr> <tr> <td>お名前</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問ご希望日</td> <td></td> </tr> </table>	品名	DVDプレーヤー	型名	XV-S1100	お買い上げ日	年 月 日	故障の状況	できるだけ具体的に	ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください	お名前		電話番号		訪問ご希望日		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>技術料</td> <td>故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">+</td> </tr> <tr> <td>部品代</td> <td>修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">+</td> </tr> <tr> <td>出張料</td> <td>製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。</td> </tr> </table>	技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。	+		部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。	+		出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
品名	DVDプレーヤー																										
型名	XV-S1100																										
お買い上げ日	年 月 日																										
故障の状況	できるだけ具体的に																										
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください																										
お名前																											
電話番号																											
訪問ご希望日																											
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。																										
+																											
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。																										
+																											
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>便利メモ</td> <td>お買い上げ店名</td> <td>☎ () -</td> </tr> </table>	便利メモ	お買い上げ店名	☎ () -																								
便利メモ	お買い上げ店名	☎ () -																									

お願い

- 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 長期間の連続使用を目的とされる場合には、良好な状態を維持してご愛用いただくため、消耗品（ベルト、モーター、ピックアップ等）の定期的な保守、点検が必要になります。

ビクターサービス窓口案内

(ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

都府県名	窓口名	TEL	☎	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F	
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割2-4-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市龜ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台町鶴巻6-1
福島	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイッソンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(027)255-6982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
	茨城	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
	【出張修理専門】のご相談窓口			
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首領サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4

都府県名	窓口名	TEL	☎	所在地
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春日町九之坪鶴田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂崎3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	西春日井郡西春日町九之坪鶴田121-1
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
	石川 S.S.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1	
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
奈良 S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2	
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16	
堺 S.C.	(072)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ	
【業務用機器専門】のご相談窓口				
大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28	
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16	
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
	広島 S.S.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
広島	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
山口	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	【出張修理専門】のご相談窓口			
	山陰ビクター販売(株)サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1	
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町宇神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大瀬町4-1-2
	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市北見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-5-9
	延岡 S.S.	(0982)35-7707	882-0857	延岡市数領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(098)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 1201

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

「お客様」

用語集

英字・数字

ch (チャンネル)

出力される音声の位置や種類を表します。ドルビーデジタル5.1chの場合を例にとると、フロント(L(左)/R(右))、リア(L/R)、センター及びサブウーハーの6つありますが、サブウーハーは出力される音声全体に占める低音の割合から、1chと数えず0.1chで数えられます。

DTS (Digital Theater System)

サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1chです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

D端子

映像信号(Y、Cb、Cr)と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を一つのコネクタで接続できる端子です。映像フォーマットの対応度に応じていくつかの規格があり、本機はD1/D2端子を備え、D1~D4端子付きのデジタルテレビに接続することができます。

Dレンジコントロール

大きな音を押さえ気味にし、小さな音を持ち上げる機能です。大音量シーンでテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聴きとることができます。

JPEG (Joint Photographic coding Experts Group)

静止画情報圧縮フォーマットの一つで、インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。

MPEG (Moving Picture Experts Group)

動画情報圧縮フォーマットの一つで、音声信号も含まれます。いくつかの規格があり、ビデオCDではMPEG-1、DVDビデオではMPEG-2が用いられています。

MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)

音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。このMP3フォーマットで記録したCD-R/CD-RWディスクを、本取扱説明書では「MP3ディスク」と呼んでいます。

NTSC

日本やアメリカで採用されているテレビ/ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式(PALあるいはSECAM)を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありませぬ。

S映像信号

映像信号形式の一つで、信号を明るさの要素(輝度:Y)と色(C)の要素に分けて伝送するため、鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これに、テレビ側でフルモード(縦長の映像)を自動判別信号を加えたのがS1映像信号です。

VFP(ビデオ ファイン プロセッシング)機能

映像の微妙なチューニング(調整)を可能にする当社独自の機能です。ソフトやお部屋の状態など、お好みに応じ映像の明るさやコントラスト、中間の明るさが選べるガンマ補正や、色ずれを補正するY/Cディレイなどの項目が調節できます。これまで難しかった映画フィルムの質感にも迫る、なめらかで階調が深い映像表現の追求も可能にしました。

3Dフォニック

従来のステレオ2スピーカー(前面の2スピーカー)のみで、迫力あるデジタル立体音場の「ドルビーデジタル」を再生する当社独自の技術です。当社の立体音像定位技術「3D-PHONIC」を応用することにより、前面のステレオ2スピーカーのみでリスナーを自然に取り巻くような立体的サラウンド音場効果をつくりだし、リアスピーカー、センタースピーカーやアンプの追加、配置、配線、調整が不要なシンプルな構成で「ドルビーデジタル」サラウンドを再生します。

525i/525p

映像信号の走査線数と走査方式の略称を表します。525iは走査線525本のインターレース方式、525pは走査線525本のプログレッシブ方式を指します。

あ

アスペクト比

表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横:縦の比は4:3、ワイドテレビ、およびHDテレビの横:縦の比は16:9の比率をもっています。

インターレーススキャン(飛び越し走査)

従来のテレビ/ビデオで使われている映像方式です。動画は1秒間に約30枚の連続した画面からできていますが、一つの画面(フレーム)はさらに2分割されたうえ、互い違いに「間引き」されています。この分割された画面(フィールド)を交互に送り出すことで、各々の画面を補い、一つの画面を作っています。

エンコード

アナログ音声信号を圧縮デジタル音声信号に変換すること。一般的には、信号をある規則に合わせて変換する過程や操作をさします。

か

カーソル

一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

コンボジット映像信号

映像信号形式の一つで、従来から使われています。信号の明るさの要素(輝度)と色の要素を周波数多重技術で複合し、これに色の基準となるバースト信号、同期信号を加えたものを一つの信号線で伝送します。

コンポーネント映像信号

ビデオ信号方式の一つで、光の3原色の信号(G/B/R)や、それを規準により効率よく返還された映像信号(色差信号:Y/Cb/Cr)をさします。各々別々の信号線で伝送するため、高画質で伝送することができます。

さ

サラウンド

視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作り出すシステムをいいます。

サンプリング周波数

アナログ音声をデジタル信号に変換する場合、もともになるアナログ信号を、1秒間に何回という割合で細かく区切ります。この過程を「サンプリング」といい、サンプリングに使われる周波数をさします。

た

タイトル

DVDビデオの構成単位で、カテゴリやジャンル別での大きなくりを指します。一般にDVDビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダイナミックレンジ

音声レベルの1番大きい部分と1番小さいレベルの差をいいます。

ダウンミックス

サラウンド方式(3チャンネル以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター

DVDビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり(チャプター)で区切った単位です。

デコード

圧縮されたデジタル音声信号を、アナログ音声信号に戻すこと。一般的には、ある規則に合わせて変換された信号を、もとの信号に戻す過程や操作をさします。

転送レート

1秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のこと。DVDビデオでは可変転送レート方式を採用し、信号を効率よく記録しています。

トラック

CDやMP3ディスクの記録単位で、主に一つの楽曲をさします。

ドルビーサラウンド／ドルビープロロジック

サラウンド方式の一つ。ドルビーサラウンドはフロント・リア計4ch分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のデコーダーを通し再生時にはもとの4chに戻します。2ch記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。これにデコーダー側の処理で方向性強調回路(音の出ているチャンネルのレベルを下げたり、逆に特定チャンネルの音量レベルを上げる)を取り入れて立体感を強調し、さらにセリフを中心に再生するセンタースピーカーを加え、その結果各チャンネルの分離精度(=セパレーション)を向上させたのがドルビープロロジックです。

ドルビーデジタル

サラウンド方式の一つ。最大フロント3ch、リア2ch、およびサブウーハー0.1chの5.1chまで対応しています。

は

パレンタルロック

年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVDビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくなったり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

パンスキャン

映画などの横長の画像をアスペクト比4:3のテレビに映し出す方法の一つ。横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

ビットストリーム

ドルビーデジタルなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のこと。一般的には各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

プログレッシブスキャン(順次走査)

映像の各フレーム情報を「間引き」せず、各フィールドごとに完全な映像を持つビデオ方式。映像情報が従来の方式(インターレース)に比べて倍になるため、チラツキの少ない高密度の映像が得られます。

ま

メニュー

DVDビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ら

リアPCM 音声

アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式。

リジューム再生

一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リージョン番号(再生可能地域管理)

あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を6つの地域に分け、これに番号(リージョン番号)をつけ識別します。ディスクに設定されたリージョン番号と、DVDプレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

レターボックス

映画などの横長の画像、アスペクト比4:3のテレビに欠けることなく映し出す方法。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。画面が文字通りレターボックス(郵便受け)に似ていることから名付けられています。

用語索引

ボタンについては、**60** ~ **61** ページの「各部の名称」をご覧ください。

英字・数字

A-Bリピート	33
AVコンピュリンク	55 62
AVコンピュリンクモード	55 62
Dolby	6
DTS	6 9 13 54 68
DVDメニュー	25
D端子	11 68
Dレンジコントロール	54 68
JPEG	45 53 68
MP3	42 53 68
MPEG	68
NTSC	7 68
S端子	10
S(S1)映像信号	68
TVタイプ	17 52
VFP	37 68
3Dフォニック	38 68

ア

アナログダウンミックス	54
アングル	35 40
インターレーススキャン	11 12 68
オートスタンバイ	55
オープニング画面	18
オンスクリーンガイド	19 34 35 55
音声言語	34 40 51

カ

画質	37
画面表示	24 39
画面表示言語	51
簡単セットアップ	17
カントリーコード	56 ~ 59
くり返し再生	32 33 44 49
グループ	42 ~ 49
言語コード	34 40 51
コンポーネント映像信号	11 68
コンジット映像信号	68

サ

字幕言語	34 40 51
スクリーンセーバー	19 53
ストロボ再生	36
スライドショー再生	47 ~ 49
スローモーション再生	20
ズーム再生	36 49

タ

タイトル	8 21 24 27 ~ 29 32 33 40 69
タイムサーチ	28 40 41
ダイジェスト	29
ダイレクト再生	21
チャプター	8 21 24 29 32 33 40 69
チャプターサーチ	40
ちょっと見バック	19 24
デジタルOUT	17 54
転送レート	24 69
トラック	8 21 24 26 29 ~ 33 41 ~ 44
ドルビーサラウンド	54 69
ドルビーデジタル	9 13 38 54 69
ドルビープロロジック	69

ハ

パレンタルロック	55 ~ 58 69
パンスキャン	17 52 69
ファイル	42 43 45 ~ 49
プレイバックコントロール(PBC)	8 26 69
プログラム再生	30 41
プログレッシブスキャン	7 11 12 53 69
プログレッシブモード	11 12 53

マ

メニュー言語	51
メーカーコード表	16

ラ

ランダム再生	31 41
リジューム再生	22 23 55 69
リニアPCM	9 54 69
リピート	32 40 41 44 49
リージョン番号(リージョンコード)	7 18 69
レターボックス	17 52 69

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD
映像信号方式	JEITA 標準、NTSC カラーテレビジョン方式 (525i/525p 選択可)
電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	電源「入」時 13 W 「切」(スタンバイ) 時 1.5W
質量	2.5 kg
外形寸法	(幅) 435 mm × (高さ) 68 mm × (奥行) 267.5 mm

ビデオ出力

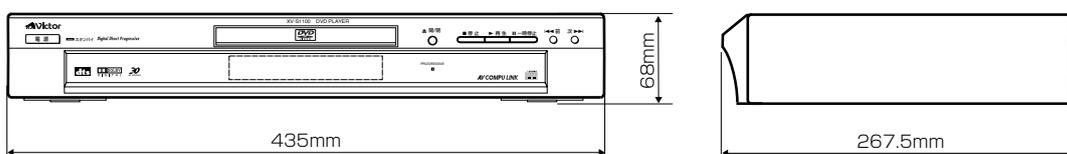
VIDEO OUT (コンポジット映像出力)	1.0 V(p-p) / 75 Ω
S1-VIDEO (S1 映像出力)	Y 出力 : 1.0 V(p-p) / 75 Ω C 出力 : 0.286 V(p-p) / 75 Ω
COMPONENT、D1/D2 (コンポーネント映像出力)	Y 出力 : 1.0 V(p-p) / 75 Ω Cb/Pb、Cr/Pr 出力 : 0.7 V(p-p) / 75 Ω
水平解像度	500 本以上

オーディオ出力

ANALOG (アナログ音声出力)	2.0 Vrms / 10 k Ω
DIGITAL (デジタル音声出力)	
OPTICAL (光)	- 21 dBm ~ - 15 dBm (ピーク)
COAXIAL (同軸)	0.5 V(p-p)/75 Ω

オーディオ特性

周波数特性	CD (サンプリング周波数 44.1 kHz) : 2 Hz ~ 20 kHz DVD (サンプリング周波数 48 kHz) : 2 Hz ~ 22 kHz* * DTS、ドルビーデジタルのビットストリーム信号は 2 Hz ~ 20 kHz DVD (サンプリング周波数 96 kHz/88.2kHz) : 2 Hz ~ 44 kHz
ダイナミックレンジ	16 ビット : 98 dB 以上 20 ビット / 24 ビット : 106 dB 以上 (JEITA)
ワウ・フラッター	測定限界 (± 0.002% W.PEAK) 以下 (JEITA)
全高調波ひずみ率	0.002% 以下 (JEITA)



- 付属品は、**6** ページをご覧ください。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- JEITA は、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

別売りアクセサリ

- | | |
|------------------|----------------------------|
| ・ オーディオ／ビデオコード | : VX-35G (モノラル音声テレビとの接続用) |
| | : VX-315E (モノラル音声テレビとの接続用) |
| ・ オーディオコード | : CN-510E |
| ・ 光デジタルケーブル | : XN-110SA |
| ・ Sビデオコード | : VC-S110E |
| ・ BNC プラグ変換アダプター | : VZ-90 |
| ・ コンポーネントビデオコード | : VX-DS120 (D端子) |

別売りアクセサリは、お買い上げの販売店でお求めください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

67 ページの「ビクターサービス
窓口案内」をご覧ください。

東京 ☎ (03) 5684-9311
FAX (03) 5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪 ☎ (06) 6765-4161
FAX (06) 6765-4891
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット
〒242-8514 神奈川県大和市下鶴間1644 ☎ 046-278-1743